

令和4年度  
当初予算の概要

成田市

## 令和 4 年度当初予算編成方針

我が国の経済は、海外経済の改善もあり、輸出や生産を中心に景気の持ち直しの動きが続いているものの、サービス消費などの一部で弱さが増すなど、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、依然として厳しい状況が続いている。

こうした中、国は経済の回復に最優先で取り組むこととしており、グリーン、デジタル、地方活性化、子供・子育てへの重点的な資源配分を行うほか、歳出全般において徹底した見直しを行うこと等により、生産性向上と賃金所得の拡大を通じた経済の好循環の実現を目指している。

感染拡大の防止策を講じつつ、ワクチン接種を促進する中で、これら各施策の効果により、経済の持ち直しの動きが続くことが期待されるが、緊急事態宣言が複数回にわたり発出されるなど、今後も、感染再拡大が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意していく必要がある。

これまで本市では、市民の暮らしを守る基礎自治体として、既存の枠や計画にとらわれず、思い切った財政措置を行うことにより、本市独自の支援策など、多岐にわたる感染症対策を迅速かつ集中的に進めてきたところである。令和 4 年度においても、感染症対策に万全を期す中で、アフターコロナを見据えた施策を積極的に推進していかなければならない。

このような状況において、本市の財政は、令和 3 年度の財政力指数が 1.30 と算定されるなど全国有数の財政力を有しており、令和 2 年度決算における各種財政指標から財政の健全性、弾力性は維持されているものの、経常収支比率や将来負担比率が上昇傾向にある。

今後の状況を考えると、まず、歳入面においては、景気の持ち直しの動きがある中でも、感染症拡大の長期化に伴い、短期的には、個人市民税及び法人市民税の大幅な増収は見込めない状況である。普通交付税の不交付団体である本市は、市税収入の変動により財政運営に直接的な影響を受けやすく、また、今後の感染症の収束時期によっては、市税に加え、国・県からの交付金等も減収となる可能性があり、景気の動向についても注視していかなければならない。

一方、歳出面においては、高齢化の進行及び子育て施策の拡充等に伴う扶助費や大規模事業の進捗による公債費などの義務的経費が増加傾向にあり、また、投資的経費では、公共施設等の長寿命化や更新を行うに当たり多額の財政負担が見込まれる状況であり、次世代に対し過大な負担を残すことの無いよう留意していく必要がある。

加えて、成田空港の更なる機能強化と環境対策に向けた取組、新駅構想と新たなまちづくり、安心して子どもを産み、子育てができる環境づくりなど、SDGsの視点を踏まえ、本市が将来にわたって発展を続けていくために取り組むべき課題に着実に対応するとともに、脱炭素社会の実現やデジタルトランスフォーメーションの推進など、新たな行政課題にも取り組んでいかなければならない。

これらの山積する課題に対応するため、さらには、感染症の影響から早期に脱し、本市が魅力あるまちとして持続的に発展していくため、財源対策として市債や基金の活用等を視野に入れつつも、各種財政指標にも留意した財政運営を行っていく必要がある。そのため、今後の財政運営に当たっては、職員一人ひとりが市民ニーズを的確に把握するとともに今後の財政見通しについても認識し、新たな施策の有効性を十分吟味することはもちろんのこと、必要性や費用対効果などの観点から施策の全般を再検証し、優先順位付けを徹底するなど、これまで以上の効率化及び合理化により経費の削減を進めていかなければならない。

そこで、当初予算の編成に当たっては、行政改革推進計画の措置事項を確実に実践し、一層の経費節減に努めるとともに、「NARITAみらいプラン」で描く「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まち なりた」という将来都市像の実現に向け、事業の選択と集中を行うことにより、限られた財源を重点的かつ効率的に配分する予算編成を行うこととする。

# 《 目 次 》

<b>1</b>	<b>当初予算総括表</b> .....	1
	(1) 会計別予算額 .....	1
	(2) 当初予算規模の推移 .....	2
	(3) 市税の推移 .....	2
	(4) 財政力指数の推移 .....	2
	(5) 積立基金の状況 .....	2
	(6) 市債残高の推移 .....	3
	(7) 特別会計等への繰出金, 負担金・出資金 .....	3
<b>2</b>	<b>一般会計予算</b> .....	4
	(1) 歳入 .....	4
	(2) 歳出 .....	6
<b>3</b>	<b>一般会計予算</b>	
	<b>N A R I T A</b> みらいプランとの比較 .....	8
<b>4</b>	<b>主要事業</b> ..... (目次)	9
	《一般会計》 .....	14
	《国民健康保険特別会計 (事業勘定)》 .....	116
	《          "          (施設勘定)》 .....	119
	《公設地方卸売市場特別会計》 .....	120
	《介護保険特別会計》 .....	123
	《農業集落排水事業特別会計》 .....	128
	《後期高齢者医療特別会計》 .....	130
	《水道事業会計》 .....	131
	《簡易水道事業会計》 .....	133
	《下水道事業会計》 .....	135
<b>5</b>	<b>空港周辺対策事業一覧</b> .....	137
<b>6</b>	<b>地方消費税交付金 (社会保障財源化分) 充前一覧</b> ..	138
<b>7</b>	<b>目的税 (入湯税・都市計画税) 充前一覧</b> .....	139

# 1 当初予算総括表

## (1) 会計別予算額

(単位：千円)

会計別		区分	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	増減額	増減率(%)
一 般 会 計			62,400,000	61,200,000	1,200,000	2.0
特 別 会 計	国民健康保険	事業勘定	12,802,343	12,589,990	212,353	1.7
		施設勘定	107,269	113,634	△ 6,365	△ 5.6
	公設地方卸売市場		913,764	724,988	188,776	26.0
	介護保険		7,904,330	7,599,354	304,976	4.0
	農業集落排水事業		208,683	217,889	△ 9,206	△ 4.2
	後期高齢者医療		1,396,496	1,305,188	91,308	7.0
	小 計		23,332,885	22,551,043	781,842	3.5
	地方 公営 企業 会計	水道事業		3,441,300	3,530,803	△ 89,503
簡易水道事業		545,878	512,414	33,464	6.5	
下水道事業		5,065,531	5,149,069	△ 83,538	△ 1.6	
小 計		9,052,709	9,192,286	△ 139,577	△ 1.5	
合 計			94,785,594	92,943,329	1,842,265	2.0

## (2) 当初予算規模の推移

(単位：千円)

区 分 \ 年 度	H30	R1	R2	R3	R4
一 般 会 計	59,000,000	60,600,000	62,800,000	61,200,000	62,400,000
伸 び 率 ( % )	△ 3.0	2.7	3.6	△ 2.5	2.0
特 別 会 計 等	30,933,756	37,636,040	32,941,651	31,743,329	32,385,594
伸 び 率 ( % )	△ 2.0	21.7	△ 12.5	△ 3.6	2.0
合 計	89,933,756	98,236,040	95,741,651	92,943,329	94,785,594
伸 び 率 ( % )	△ 2.6	9.2	△ 2.5	△ 2.9	2.0

※令和元年度以降の特別会計等の額のうち、下水道事業会計の額は、収益的支出及び資本的支出を合計した額です。

## (3) 市税の推移

(単位：千円)

区 分 \ 年 度	H30	R1	R2	R3	R4
当 初 予 算	32,501,174	33,363,002	33,715,141	31,885,801	32,904,529
伸 び 率 ( % )	1.4	2.7	1.1	△ 5.4	3.2

## (4) 財政力指数の推移

年 度	H30	R1	R2	R3	R4 (見込)
指 数	1.296	1.309	1.328	1.295	1.282

## (5) 積立基金の状況

(単位：千円)

区 分 \ 年 度	H30	R1	R2	R3 (見込)	R4 (見込)
総 額	9,767,392	9,160,612	6,980,023	7,351,460	4,776,340
うち財政調整基金	7,861,964	7,287,899	5,166,640	5,836,009	3,506,009

※令和3年度は決算見込、令和4年度は、当初予算額をもとに見込んだ金額です。

## (6) 市債残高の推移

(単位：千円)

会計別 \ 年度	H30	R1	R2	R3 (見込)	R4 (見込)
一般会計	49,423,363	48,005,890	49,499,088	49,257,592	47,801,444
公設地方卸売市場	629,700	2,240,000	6,271,700	11,685,618	12,112,324
農業集落排水事業	1,090,395	1,007,036	921,901	840,652	765,046
水道事業	8,382,087	8,341,558	8,101,918	8,733,021	9,911,952
簡易水道事業	1,952,166	1,840,537	1,741,905	1,643,655	1,548,344
下水道事業	4,968,738	4,940,979	4,786,978	5,343,591	5,692,851
合計	66,446,449	66,376,000	71,323,490	77,504,129	77,831,961

## (7) 特別会計等への繰出金，負担金・出資金

(単位：千円)

会計別 \ 区分	当初予算規模	令和4年度繰出金等	令和3年度繰出金等	増減額	増減率 (%)
国民健康保険(事業勘定)	12,802,343	1,516,626	1,547,568	△ 30,942	△ 2.0
国民健康保険(施設勘定)	107,269	13,664	0	13,664	皆増
公設地方卸売市場	913,764	206,815	301,388	△ 94,573	△ 31.4
介護保険	7,904,330	1,200,168	1,159,750	40,418	3.5
農業集落排水事業	208,683	160,283	167,850	△ 7,567	△ 4.5
後期高齢者医療	1,396,496	244,442	233,315	11,127	4.8
水道事業	3,441,300	116,597	151,677	△ 35,080	△ 23.1
簡易水道事業	545,878	272,259	241,065	31,194	12.9
下水道事業	5,065,531	416,011	428,271	△ 12,260	△ 2.9
合計	32,385,594	4,146,865	4,230,884	△ 84,019	△ 2.0

## 2 一般会計予算

### (1) 歳入

(単位:千円)

科 目	年度別	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率 (%)
		当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)		
市 税		32,904,529	52.7	31,885,801	52.1	1,018,728	3.2
地 方 譲 与 税		631,677	1.0	557,903	0.9	73,774	13.2
利 子 割 交 付 金		10,000	0.0	12,000	0.0	△ 2,000	△ 16.7
配 当 割 交 付 金		103,000	0.2	94,000	0.2	9,000	9.6
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		125,000	0.2	67,000	0.1	58,000	86.6
法 人 事 業 税 交 付 金		505,000	0.8	496,000	0.8	9,000	1.8
地 方 消 費 税 交 付 金		3,792,000	6.1	3,611,000	5.9	181,000	5.0
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金		230,000	0.4	208,000	0.4	22,000	10.6
環 境 性 能 割 交 付 金		72,000	0.1	62,000	0.1	10,000	16.1
地 方 特 例 交 付 金		106,682	0.2	363,573	0.6	△ 256,891	△ 70.7
地 方 交 付 税		283,000	0.4	206,000	0.3	77,000	37.4
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		19,871	0.0	18,823	0.0	1,048	5.6
分 担 金 及 び 負 担 金		803,793	1.3	822,868	1.4	△ 19,075	△ 2.3
使 用 料 及 び 手 数 料		936,975	1.5	933,703	1.5	3,272	0.4
国 庫 支 出 金		7,326,101	11.7	7,089,789	11.6	236,312	3.3
県 支 出 金		3,293,147	5.3	3,309,555	5.4	△ 16,408	△ 0.5
財 産 収 入		87,789	0.1	86,560	0.2	1,229	1.4
寄 附 金		233,229	0.4	139,321	0.2	93,908	67.4
繰 入 金		2,596,240	4.2	3,003,027	4.9	△ 406,787	△ 13.5
繰 越 金		800,000	1.3	800,000	1.3	0	0.0
諸 収 入		3,741,267	6.0	3,624,377	5.9	116,890	3.2
市 債		3,798,700	6.1	3,808,700	6.2	△ 10,000	△ 0.3
歳 入 合 計		62,400,000	100.0	61,200,000	100.0	1,200,000	2.0

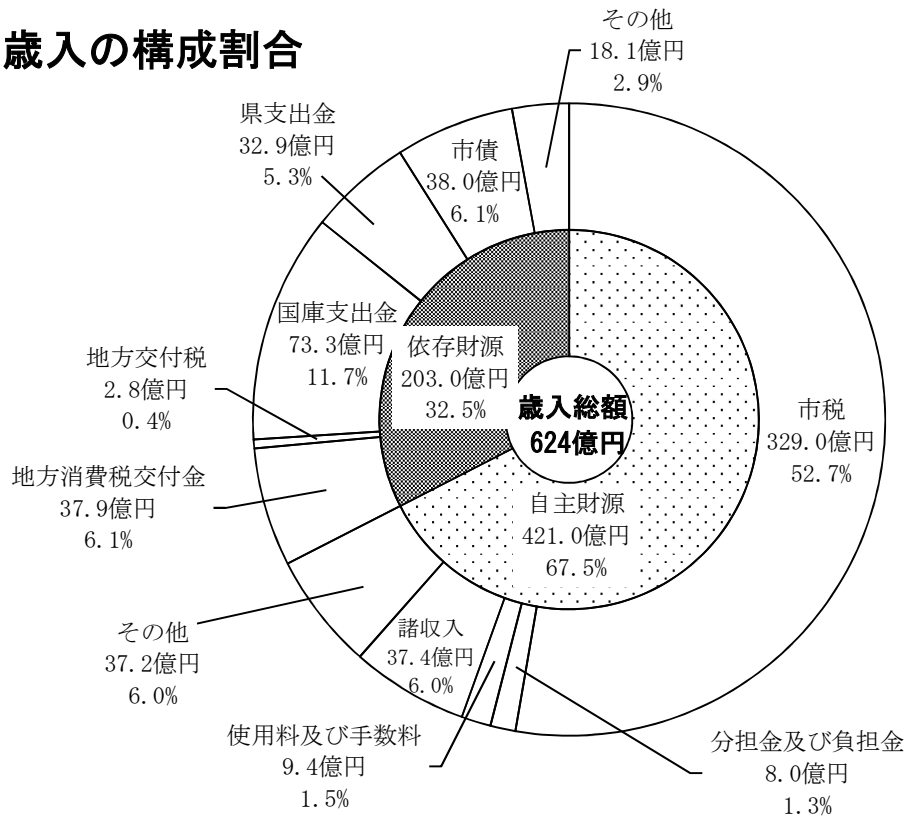
### [市税]

(単位:千円)

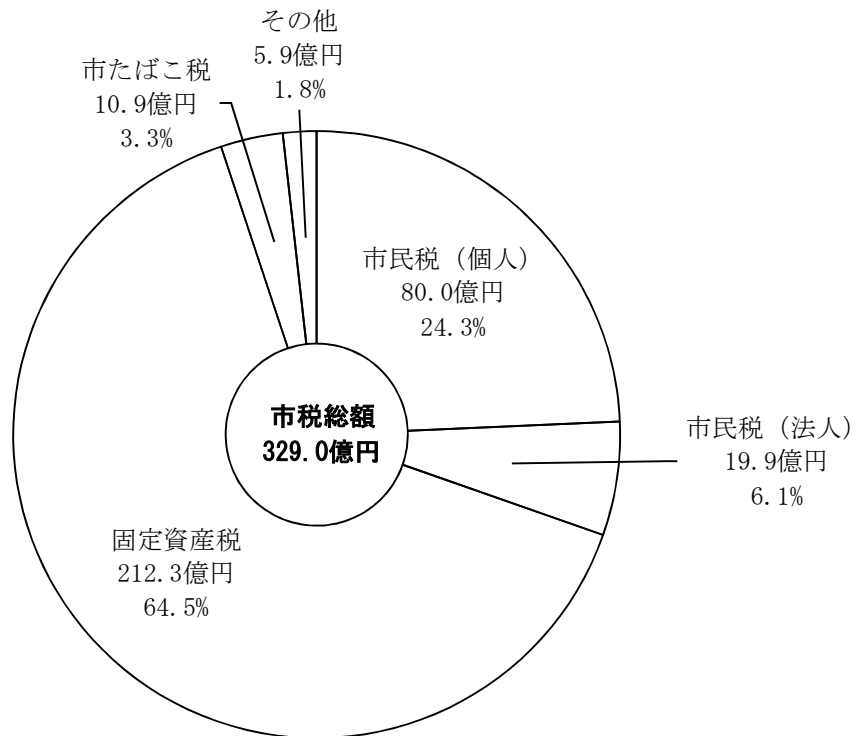
税 目	年度別	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率 (%)
		当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)		
市 民 税		9,995,327	30.4	8,930,201	28.0	1,065,126	11.9
個 人		8,005,861	24.3	7,624,379	23.9	381,482	5.0
法 人		1,989,466	6.1	1,305,822	4.1	683,644	52.4
固 定 資 産 税		21,231,888	64.5	21,398,289	67.1	△ 166,401	△ 0.8
軽 自 動 車 税		366,978	1.1	336,541	1.1	30,437	9.0
市 た ば こ 税		1,087,710	3.3	1,003,397	3.1	84,313	8.4
鉱 産 税		436	0.0	480	0.0	△ 44	△ 9.2
入 湯 税		8,409	0.0	8,012	0.0	397	5.0
都 市 計 画 税		213,781	0.7	208,881	0.7	4,900	2.3
合 計		32,904,529	100.0	31,885,801	100.0	1,018,728	3.2



## ○歳入の構成割合



## ○市税内訳



## (2) 歳出

(単位:千円)

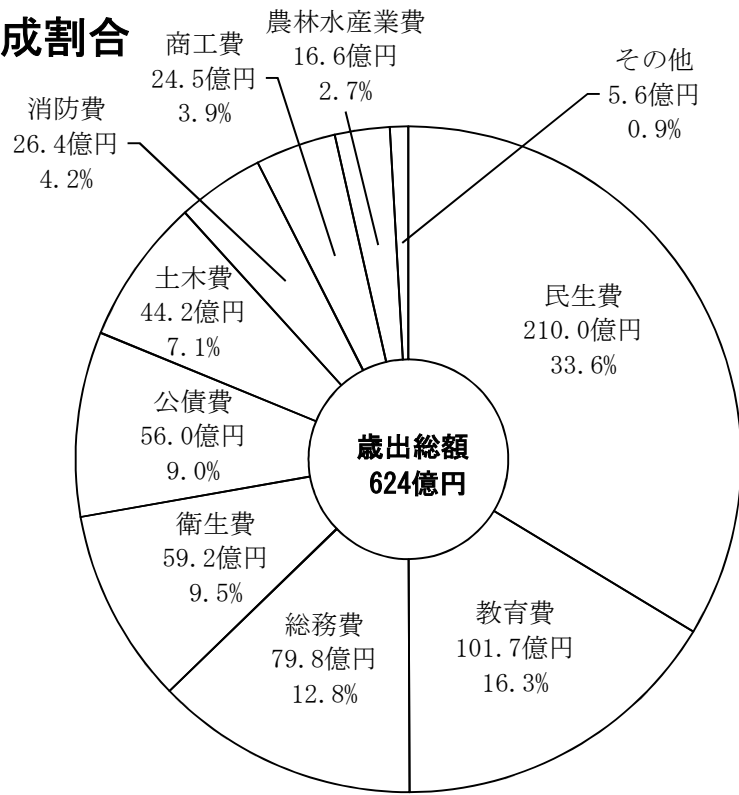
科目	年度別	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率 (%)
		当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)		
議 会 費		415,116	0.7	418,091	0.7	△ 2,975	△ 0.7
総 務 費		7,983,765	12.8	7,710,078	12.6	273,687	3.5
民 生 費		21,001,756	33.6	20,535,099	33.6	466,657	2.3
衛 生 費		5,917,703	9.5	5,518,248	9.0	399,455	7.2
労 働 費		47,731	0.1	46,371	0.1	1,360	2.9
農 林 水 産 業 費		1,660,494	2.7	1,571,024	2.6	89,470	5.7
商 工 費		2,446,301	3.9	1,990,729	3.2	455,572	22.9
土 木 費		4,417,526	7.1	4,351,067	7.1	66,459	1.5
消 防 費		2,639,605	4.2	2,634,917	4.3	4,688	0.2
教 育 費		10,171,392	16.3	10,052,854	16.4	118,538	1.2
災 害 復 旧 費		2,000	0.0	2,000	0.0	0	0.0
公 債 費		5,596,610	9.0	6,269,521	10.2	△ 672,911	△ 10.7
諸 支 出 金		1	0.0	1	0.0	0	0.0
予 備 費		100,000	0.1	100,000	0.2	0	0.0
歳 出 合 計		62,400,000	100.0	61,200,000	100.0	1,200,000	2.0

## [性質別内訳]

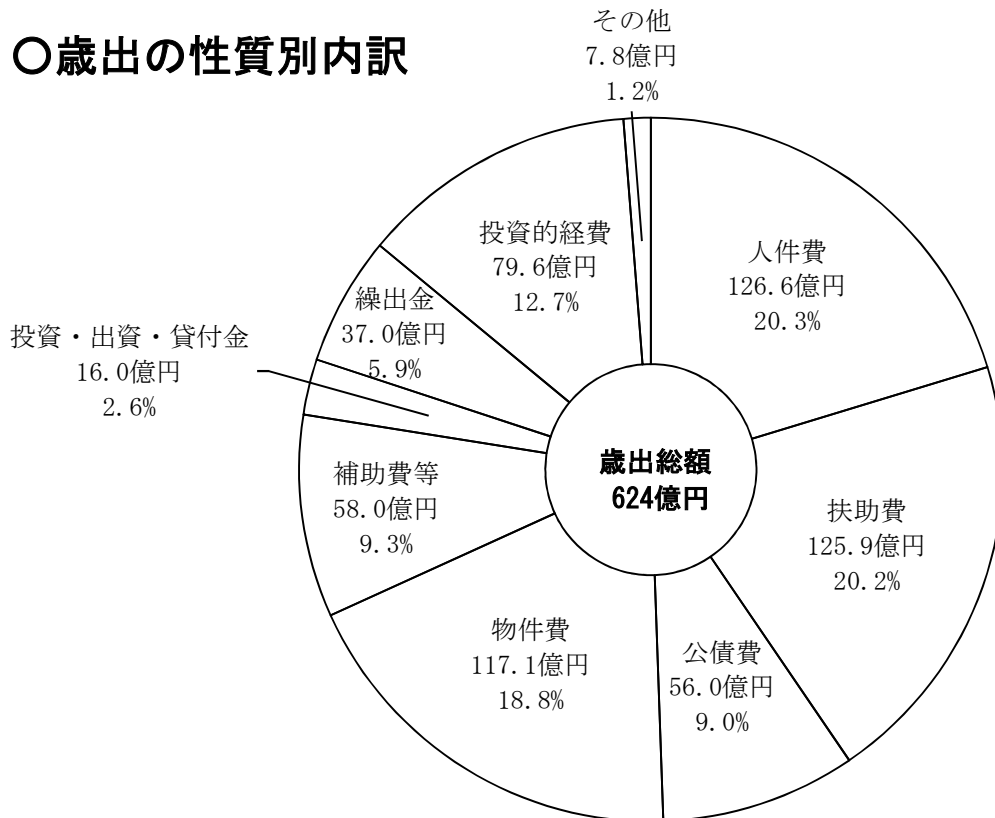
(単位:千円)

区分	年度別	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率 (%)
		当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)		
義 務 的 経 費	人 件 費	12,657,525	20.3	12,487,408	20.4	170,117	1.4
	扶 助 費	12,588,106	20.2	12,052,659	19.7	535,447	4.4
	公 債 費	5,596,610	9.0	6,269,521	10.3	△ 672,911	△ 10.7
	小 計	30,842,241	49.5	30,809,588	50.4	32,653	0.1
物 件 費		11,707,843	18.8	10,956,841	17.9	751,002	6.9
維 持 補 修 費		663,933	1.1	681,825	1.1	△ 17,892	△ 2.6
補 助 費 等		5,796,429	9.3	5,240,267	8.6	556,162	10.6
積 立 金		21,128	0.0	66,638	0.1	△ 45,510	△ 68.3
投 資 ・ 出 資 ・ 貸 付 金		1,604,441	2.6	1,670,996	2.7	△ 66,555	△ 4.0
繰 出 金		3,706,754	5.9	3,759,527	6.1	△ 52,773	△ 1.4
投 資 的 経 費		7,957,231	12.7	7,914,318	12.9	42,913	0.5
予 備 費		100,000	0.1	100,000	0.2	0	0.0
歳 出 合 計		62,400,000	100.0	61,200,000	100.0	1,200,000	2.0

### ○歳出の構成割合



### ○歳出の性質別内訳



### 3 一般会計予算 N A R I T Aみらいプランとの比較

#### (1) 歳入

(単位:千円)

科目	年度別	令和4年度				差額
		当初予算額	構成比 (%)	ローリング後 計画額	構成比 (%)	
市 税		32,904,529	52.7	33,261,685	52.8	△ 357,156
地 方 譲 与 税		631,677	1.0	591,354	1.0	40,323
利 子 割 交 付 金		10,000	0.0	12,000	0.0	△ 2,000
配 当 割 交 付 金		103,000	0.2	94,000	0.2	9,000
株式等譲渡所得割交付金		125,000	0.2	89,500	0.1	35,500
法 人 事 業 税 交 付 金		505,000	0.8	496,000	0.8	9,000
地 方 消 費 税 交 付 金		3,792,000	6.1	3,361,000	5.3	431,000
ゴルフ場利用税交付金		230,000	0.4	208,000	0.3	22,000
環境性能割交付金		72,000	0.1	86,675	0.1	△ 14,675
地 方 特 例 交 付 金		106,682	0.2	100,937	0.2	5,745
地 方 交 付 税		283,000	0.4	206,000	0.3	77,000
交通安全対策特別交付金		19,871	0.0	18,823	0.0	1,048
国 庫 支 出 金		7,326,101	11.7	7,080,456	11.2	245,645
県 支 出 金		3,293,147	5.3	3,180,955	5.1	112,192
市 債		3,798,700	6.1	4,459,500	7.1	△ 660,800
そ の 他		9,199,293	14.8	9,753,115	15.5	△ 553,822
歳 入 合 計		62,400,000	100.0	63,000,000	100.0	△ 600,000

#### (2) 歳出

(単位:千円)

科目	年度別	令和4年度				差額
		当初予算額	構成比 (%)	ローリング後 計画額	構成比 (%)	
議 会 費		415,116	0.7	431,342	0.7	△ 16,226
総 務 費		7,983,765	12.8	8,489,917	13.5	△ 506,152
民 生 費		21,001,756	33.6	20,651,689	32.8	350,067
衛 生 費		5,917,703	9.5	5,740,838	9.1	176,865
労 働 費		47,731	0.1	46,371	0.1	1,360
農 林 水 産 業 費		1,660,494	2.7	1,501,002	2.4	159,492
商 工 費		2,446,301	3.9	1,957,486	3.1	488,815
土 木 費		4,417,526	7.1	4,677,879	7.4	△ 260,353
消 防 費		2,639,605	4.2	2,578,329	4.1	61,276
教 育 費		10,171,392	16.3	11,224,461	17.8	△ 1,053,069
災 害 復 旧 費		2,000	0.0	2,000	0.0	0
公 債 費		5,596,610	9.0	5,602,939	8.9	△ 6,329
諸 支 出 金		1	0.0	1	0.0	0
予 備 費		100,000	0.1	95,746	0.1	4,254
歳 出 合 計		62,400,000	100.0	63,000,000	100.0	△ 600,000

## 4 主要事業

### 目 次

#### 《一般会計》

・アフターコロナに向けた経済対策等関連事業	14
第2款 総務費	
・コミュニティバス運行事業	16
・運転免許証返納者支援事業（新規）	17
・防災啓発事業（一部新規）	18
・防災行政無線整備事業	19
・防災用品備蓄事業	20
・急傾斜地崩壊対策事業	21
・崖地整備費補助事業	22
・防犯灯維持管理事業	23
・地域安全対策事業	24
・総合計画策定事業（一部新規）	25
・スポーツツーリズム推進事業	26
・国家戦略特区推進事業	27
・航空機騒音地域補助事業	28
・共同利用施設整備事業（新規）	29
・民家防音家屋等維持管理費補助事業	30
第3款 民生費	
・成年後見支援センター運営事業（一部新規）	31
・生活困窮者自立支援事業	32
・障害者地域生活支援事業	33
・障害者施設利用支援事業	34
・介護人材確保対策事業	35
・介護ロボット導入支援事業（新規）	36
・児童ホーム管理運営事業	37
・児童ホーム整備事業	38
・子ども医療費助成事業	39
・高校生等医療費助成事業（新規）	40
・地域型保育給付事業	41
・児童手当支給事業	42

・私立保育園等運営委託事業	43
・保育園運営事業（一部新規）	44
・保育園整備事業	45
・保育士確保・処遇改善促進事業	46
・生活保護扶助費	47

#### 第4款 衛生費

・地域医療対策事業	48
・いずみ聖地公園拡張整備事業	49
・予防接種事業（一部新規）	50
・結核・がん検診事業	51
・母子保健事業（一部新規）	52
・健康増進計画策定事業	53
・がん患者等支援事業（新規）	54
・公害対策事業	55
・環境基本計画推進事業	56
・地球温暖化対策推進事業（一部新規）	57
・八富成田斎場管理運営事業（一部新規）	58
・成田富里いずみ清掃工場維持管理事業	59
・リサイクルプラザ維持管理運営事業	60
・新清掃工場関連付帯施設整備事業	61
・浄化センター整備事業	62

#### 第5款 労働費

・雇用促進奨励金交付事業	63
--------------	----

#### 第6款 農林水産業費

・水田農業構造改革対策事業	64
・有害鳥獣駆除事業（一部新規）	65
・園芸振興対策推進事業	66
・集団営農用機械施設整備事業	67
・森林保全事業	68
・農地・水保全管理事業	69

#### 第7款 商工費

・中小企業等緊急支援事業	70
--------------	----

・商店街共同施設設置等支援事業（一部新規）	71
・中小企業資金融資事業	72
・観光に関する経費（一部新規）	73
・観光PR事業（一部新規）	74
・成田ブランド推進戦略事業	75
・消費生活センター運営事業	76

## 第8款 土木費

・建築物耐震化促進事業	77
・道路等補修事業	78
・橋りょう補修事業	79
・生活道路整備事業	80
・幹線道路整備事業	81
・東関東自動車道スマートインターチェンジ連絡道路整備事業	82
・準用河川整備事業	83
・都市計画策定事業	84
・（仮称）東和田南部土地区画整理事業	85
・都市公園管理事業	86
・住区基幹公園整備事業	87
・市営住宅維持管理事業	88

## 第9款 消防費

・消防車両・装備強化整備事業	89
・消防団に関する経費（一部新規）	90
・消防団拠点施設整備事業	91
・消防水利整備事業	92

## 第10款 教育費

・学校支援地域本部事業	93
・英語科研究推進事業	94
・小学校就学援助費支給事業	95
・小中学校教育情報化推進事業	96
・小学校スクールバス運行事業	97
・小学校長寿命化改良事業	98
・小学校仮設校舎整備事業	99
・本城小学校増築事業（新規）	100

・平成小学校増築事業	101
・大栄地区小中一体型校舎建設事業	102
・中学校就学援助費支給事業	103
・私立幼稚園幼児教育振興事業	104
・大栄幼稚園管理運営事業	105
・公民館施設維持管理事業（一部新規）	106
・図書館施設維持管理事業（一部新規）	107
・文化財保存展示施設管理運営事業（新規）	108
・国際文化会館施設整備事業（一部新規）	109
・文化芸術センター管理運営事業	110
・各種競技大会誘致事業	111
・運動公園等整備事業	112
・東小学校跡地パークゴルフ場・複合施設整備事業	113
・学校給食事業（一部新規）	114
・学校給食施設整備事業	115

## 《国民健康保険特別会計（事業勘定）》

・国民健康保険（事業勘定）に関する経費	116
・一般被保険者療養給付費	117
・保健衛生普及費	118

## 《国民健康保険特別会計（施設勘定）》

・国民健康保険（施設勘定）に関する経費	119
---------------------	-----

## 《公設地方卸売市場特別会計》

・公設地方卸売市場事業に関する経費（一部新規）	120
・一般管理に関する経費（一部新規）	121
・施設整備事業（一部新規）	122

## 《介護保険特別会計》

・介護保険に関する経費	123
・介護サービス給付費	124
・介護予防サービス給付費	125



- ・ 包括的支援に関する経費 ..... 126
- ・ 介護予防普及啓発事業 ..... 127

### 《農業集落排水事業特別会計》

- ・ 農業集落排水事業に関する経費 ..... 128
- ・ 維持管理費 ..... 129

### 《後期高齢者医療特別会計》

- ・ 後期高齢者医療に関する経費 ..... 130

### 《水道事業会計》

- ・ 上水道事業（収益的支出） ..... 131
- ・ 上水道事業（資本的支出） ..... 132

### 《簡易水道事業会計》

- ・ 簡易水道事業（収益的支出） ..... 133
- ・ 簡易水道事業（資本的支出） ..... 134

### 《下水道事業会計》

- ・ 下水道事業（収益的支出） ..... 135
- ・ 下水道事業（資本的支出） ..... 136

# 《一般会計》

事業名	アフターコロナに向けた経済対策等関連事業		
部課名	経済部 商工課 他	予算書ページ	
事業の概要等			
アフターコロナに向けた経済対策と生活支援施策及び社会状況に対応した施策を展開する。			
<b>【経済対策，生活支援】</b>			(千円)
事業名	概要	金額	
スポーツツーリズム推進事業 (26頁)	東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用し、ホストタウンや事前キャンプを受け入れたチームとの交流、パラスポーツ体験会やアイルランド関連イベントなどの事業を行う。	14,000	
高校生等医療費助成事業 (40頁)	現在、中学3年生までを対象としている「子ども医療費助成事業」に加え、高校生相当年齢の子どもを対象とする高校生等医療費助成制度を創設する。	39,040	
水田農業構造改革対策事業 (64頁)	水田を有効活用した主食用米以外の麦、大豆、新規需要米等の転作作物の生産を行う農業者に対し、取組面積等に応じて市単独で補助金を交付する。	238,420	
園芸振興対策推進事業 (66頁)	園芸機械の導入に係る園芸振興対策推進事業補助金を増額する。	40,000	
集団営農用機械施設整備事業 (67頁)	共同利用等による機械施設の導入に係る集団営農用機械施設整備事業補助金を増額する。	70,000	
中小企業等緊急支援事業 (70頁)	令和3年度に引き続き、プレミアム付商品券の発行を行う。	380,391	
観光に関する経費 (73頁)	成田伝統芸能まつり「春の陣」を開催するほか、「関東の山車人形展」等を開催し、観光客の誘致を促進する。	22,000	
成田ブランド推進戦略事業 (75頁)	成田市御案内人の市川海老蔵丈の市内大型イベントへの出演などイベント開催との相乗効果により誘客と情報発信を強化し、成田ブランドの醸成を図る。	11,000	
各種競技大会誘致事業 (111頁)	宝くじスポーツフェア ドリームベースボールを開催するほか、全日本女子硬式クラブ野球選手権大会などを誘致する。	1,450	
学校給食事業 (114頁)	多子世帯における子育てに対する経済的負担の軽減を図るため、成田市立小学校、中学校又は義務教育学校における第3子以降の学校給食を無料とする。	歳入 △58,000	
<b>【社会状況に応じた緊急対策】</b>			(千円)
事業名	概要	金額	
運転免許証返納者支援事業 (17頁)	70歳以上の市民が運転免許証を返納した場合、希望者に対し10,000円相当分の交通系ICカードを交付する。	4,165	
生活道路整備事業 (80頁)・幹線道路整備事業 (81頁)	通学路の安全対策として、新たに歩道の設置や道路の拡幅整備等を推進する。	33,500	
小学校スクールバス運行事業 (97頁)	令和3年度にスクールバスの運行経路の点検を行ったところ、一部の区間に危険な箇所が確認されたことから、運行経路の見直しを実施し、令和4年度においても、見直し後の経路にて運行する。	207,098	

**【感染症対策, デジタル・トランスフォーメーション】**

(千円)

事業名	概要	金額
防災用品備蓄事業 (20頁)	避難所における感染症対策として、令和3年度に引き続き、避難所用間仕切りテントを計画的に配備する。	5,281
介護ロボット導入支援事業 (36頁)	介護ロボットの導入に係る費用の一部を補助することにより、介護人材の負担軽減及び労働環境の改善を図る。	2,700
保育園運営事業 (44頁)	保育士の事務的負担の軽減、保護者の利便性の向上を図るため、園務管理システムを導入する。	4,925
予防接種事業 (50頁)	令和3年度に引き続き、妊婦及び生後6カ月から中学3年生までのインフルエンザ予防接種費の一部を助成する。	39,132
八富成田斎場管理運営事業 (58頁)	現行の斎場管理システムを更新し、インターネット予約にも対応した新システムを導入する。	7,500
電子自治体推進事業 (掲載なし)	各種手続のデジタル化を簡単かつ効率的に進めるため、新たな電子申請システムを導入するほか、職員のテレワークを本格導入するため、端末の確保及びシステムの構築を行う。また、業務上必要なビジネスチャットのライセンス数を追加する。	26,543
会計管理費 (掲載なし)	迅速かつ適切な執行管理、ペーパーレス化等を図り、効率的な事務の執行、職員の働き方改革、省資源化等に資するため、財務会計版の電子決裁を導入する。	1,254
介護施設等整備事業 (掲載なし)	介護施設等の整備をしようとする事業者に対し、整備に要する費用の一部を補助し、介護サービスの基盤整備を図る。 令和4年度は、県の交付金を活用し、小規模多機能型居宅介護事業所における簡易陰圧装置の導入に係る費用の一部を補助する。	4,336
手話通訳者等設置事業 (掲載なし)	聴覚障がい者のコミュニケーションの円滑化及び情報取得を支援するため、手話通訳者の配置、手話奉仕員の養成などを行う。 令和4年度は、新たに遠隔手話通訳用のタブレット端末を導入し、手話通訳体制を強化する。	11,105
中学校施設維持整備事業 (掲載なし)	体育館の熱中症対策として、早期開設避難所でもある下総みどり学園をモデル校とし、屋内運動場にスポットエアコンを整備する。	42,400
図書整備事業 (掲載なし)	24時間365日いつでも書籍を借りることができるよう、令和3年度に引き続き、電子書籍サービスの整備を進める。	3,300



**【ゼロカーボン】**

(千円)

事業名	概要	金額
地球温暖化対策推進事業 (57頁)	住宅用省エネルギー設備等を新たに設置・購入した市民に、その費用を補助する。令和4年度は、新たに電気自動車及び電気自動車充放電設備の購入に係る費用を補助する。	22,100
商店街共同施設設置等支援事業 (71頁)	脱炭素化社会の実現に向けて、商店街等が管理する装飾街路灯のLED化を推進するため、装飾街路灯の新設に伴う費用に対する補助等を拡充する。	33,268
小学校太陽光発電導入事業・小学校長寿命化改良事業 (掲載なし)	省エネや環境学習に資するとともに、災害時の避難場所としても活用されることから、小中学校等に太陽光発電設備及び蓄電池設備を整備する。	105,750

※各施策の主なものを抜粋し、金額は、関連する経費を抽出したもの。


## 第2款 総務費

事業名		51-01 コミュニティバス運行事業			 	
部課名		市民生活部 交通防犯課		予算書ページ	128	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）	
款	02	総務費	基本目標	02	魅力ある機能的なまちづくり	
項	01	総務管理費	基本施策	02	道路ネットワークと交通環境を整える	
目	09	交通安全対策費	施策の方向	02	公共交通の利便性向上を図ります。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		154,328千円	H30決算額		154,460千円	R1決算額 155,964千円
R2決算額		154,201千円	R3当初予算額		150,727千円	R4計画額 149,174千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	147,003千円				26,500	120,503



事業の概要等	
<p>路線バス廃止等による市内の交通不便地域の解消を図るため、7ルートでコミュニティバスを運行し、交通の利便性向上を図る。</p>	
○委託料	146,678千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバス運行委託料</li> <li>・バス停標識製作設置委託料</li> <li>・その他</li> </ul>	
○その他	325千円
<p>【コミュニティバス概要】</p> <p>運行ルート：7ルート（8台）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠山ルート</li> <li>・大室循環ルート</li> <li>・水掛ルート</li> <li>・豊住ルート</li> <li>・しもふさ循環ルート</li> <li>・津富浦ルート</li> <li>・北須賀ルート</li> </ul> <p>※新生成田市場の開場に伴い、津富浦ルートは令和4年1月から、北須賀ルートは令和4年4月からルートの変更を実施する。</p>	

特定財源の内訳	
○雑入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバス乗車料金</li> </ul>
	26,500千円

事業名		75-01 運転免許証返納者支援事業					
部課名		市民生活部 交通防犯課	予算書ページ	128			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）		
款	02	総務費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり		
項	01	総務管理費	基本施策	02	犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる		
目	09	交通安全対策費	施策の方向	03	交通安全対策の強化に努めます。		
新規・継続の別		新規	補助・単独の別	単独	事務事業評価	—	
根拠法令要綱等							
H29決算額		0千円	H30決算額		0千円	R1決算額	0千円
R2決算額		0千円	R3当初予算額		0千円	R4計画額	0千円


R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	4,165千円					4,165

事業の概要等	
<p>全国的に高齢運転者による交通事故が社会問題になっていることを受け、高齢運転者の自主的な運転免許証の返納を促進し、交通事故の防止に資するため、運転免許証を返納した70歳以上の市民を対象として、希望される方に、交通系ICカードを交付する。</p>	
○需用費	4,040千円
・印刷製本費	
○役務費	125千円
・通信運搬費	
【概要】	
・対象者	令和4年4月1日以降に全種類の運転免許証を自主的に返納した高齢者の内、70歳以上の希望者
・交付物	無記名式の交通系ICカード10,000円相当（利用可能額9,500円＋デポジット500円）をチャージしたもの
・交付回数	1人につき1回のみ
特定財源の内訳	

事業名		10-05 防災啓発事業			 	
部課名		総務部 危機管理課		予算書ページ	130	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	02	総務費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり	
項	01	総務管理費	基本施策	01	災害などに強いまちをつくる	
目	10	防災対策費	施策の方向	01	地域防災力の向上を図ります。	
新規・継続の別	一部新規		補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額	1,687千円		H30決算額	815千円		R1決算額 688千円
R2決算額	1,244千円		R3当初予算額	797千円		R4計画額 18,537千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
	24,886千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
		7,975				16,911

事業の概要等	
<p>災害に強いまちづくりを実現するため、防災意識の高揚及び防災知識の普及・啓発を図る。 風水害や土砂災害等の被害を軽減するためには、自分の住むまちの「災害の危険性」を知ることが重要であることから、令和4年度は、最新の災害危険区域や避難所等をわかりやすく地図上に示すほか、新たな避難情報や防災対策等を掲載した防災マップを更新する。</p>	
○委託料	24,090千円
・防災マップ作成委託料	
○その他	796千円
<p><b>【防災マップの概要】</b>          マップ構成：防災学習、洪水・土砂災害・地震災害ハザードマップ          作成部数：115,000部          配布対象：市内全世帯          現在のマップからの変更点：         <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のマップを作成した平成27年度以降に追加や変更のあった洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域、避難情報等に対応する。</li> <li>・これまで地区ごとに用意していた防災マップを、全地区共通で利用することができるように、全市の地図情報等を1冊にまとめる。</li> </ul> </p>	
特定財源の内訳	
○国庫補助金	7,975千円
・社会資本整備総合交付金	

事業名		25-10 防災行政無線整備事業			  		
部課名		総務部 危機管理課		予算書ページ	131		
予算科目			施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）		
款	02	総務費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり		
項	01	総務管理費	基本施策	01	災害などに強いまちをつくる		
目	10	防災対策費	施策の方向	01	地域防災力の向上を図ります。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等							
H29決算額	16,455千円		H30決算額	20,103千円		R1決算額	16,663千円
R2決算額	12,602千円		R3当初予算額	12,350千円		R4計画額	330,826千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
	170,159千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
						170,159


事業の概要等	
<p>災害時において、市民及び関係機関に防災関係情報を迅速に伝達し、市民の安全・安心を確保するため、無線設備の整備及び保守を行う。</p> <p>本市では、防災行政無線の放送が聞き取りにくい騒音地域の方に対し、無償でアナログ波対応の戸別受信機を貸与しているが、今後アナログ波が使用できなくなることから、令和4年度は、希望者に対してデジタル波対応の戸別受信機に更新を行う。</p>	
○委託料	167,490千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災行政無線保守点検委託料</li> <li>戸別受信機設置委託料</li> <li>その他</li> </ul>	
○使用料及び賃借料	561千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>移動無線センター利用料</li> </ul>	
○その他	2,108千円
<p>【戸別受信機設置委託の概要】</p> <p>対象地区：中郷，豊住，遠山，久住，下総，大栄地区で騒防法第1種区域及び隣接区域内</p> <p>契約金額（令和4年度）：157,850千円</p> <p>委託内容：戸別受信機納品，更新作業</p>	
<p>【今後のスケジュール】</p> <p>令和4年4月～ 戸別受信機納品，更新作業</p>	
特定財源の内訳	

事業名		30-20 防災用品備蓄事業			  		
部課名		総務部 危機管理課		予算書ページ	133		
予算科目			施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）		
款	02	総務費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり		
項	01	総務管理費	基本施策	01	災害などに強いまちをつくる		
目	10	防災対策費	施策の方向	01	地域防災力の向上を図ります。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等							
H29決算額	5,750 千円		H30決算額	3,139 千円		R1決算額	11,390 千円
R2決算額	13,642 千円		R3当初予算額	19,670 千円		R4計画額	6,000 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	10,828 千円	2,185	2,850	0	0	5,793



事業の概要等	
<p>本市では、地震等の大規模な災害が発生した場合を想定し、計画的に備蓄品や災害時に必要となる資機材等を購入している。</p> <p>また、避難所における感染症対策を進めるため、これまでに避難所用間仕切りテントを購入し指定避難所に配備を進めており、令和4年度は更に追加購入するほか、計画に基づき、高齢者や女性、アレルギー対応等の様々なニーズに配慮した備蓄品の購入を進める。</p>	
○需用費	5,547 千円
・消耗品費	
ライスクッキー、アルファ米、粉ミルク 等	
○備品購入費	5,281 千円
・避難所用間仕切りテント	
【避難所用間仕切りテントの配備計画】	
・計画数：指定避難所に各40張の配備	
・令和3年度までの配備数：早期開設避難所に各20張、その他の指定避難所に各10張	
・令和4年度配備予定数：その他の指定避難所に各5張追加配備	
特定財源の内訳	
○国庫補助金	・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,185 千円
○県補助金	・地域防災力向上総合支援補助金 2,850 千円



事業名		55-01 急傾斜地崩壊対策事業			 	
部課名		土木部 土木課		予算書ページ	133	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	02	総務費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり	
項	01	総務管理費	基本施策	01	災害などに強いまちをつくる	
目	10	防災対策費	施策の方向	02	自然災害対策の推進を図ります。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律					
H29決算額	80,125 千円		H30決算額	92,880 千円		R1決算額 116,504 千円
R2決算額	141,001 千円		R3当初予算額	169,000 千円		R4計画額 119,600 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	206,600 千円		50,000	127,500	6,420	22,680

事業の概要等	
<p>急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命、財産を守るため、急傾斜地崩壊対策事業を行う。</p> <p>令和4年度は、新たに急傾斜地崩壊危険区域として3カ所の指定を予定しており、これを加えた市内71カ所の指定区域のうち、整備中の2カ所と新規指定する3カ所の合計5カ所の工事を実施する。</p> <p>また、今後新たに区域の指定を受けるため、2カ所の実施設計及び地質調査を実施する。</p>	
○需用費	3,000 千円
・修繕料	
○委託料	15,400 千円
・実施設計委託料（押畑4）	
・地質調査委託料（伊能2）	
・草刈委託料	
○工事請負費	143,000 千円
・急傾斜地崩壊対策工事（一坪田2，寺台2，荒海2，成毛2，八代2）【成田市施工】	
○負担金補助及び交付金	45,200 千円
・急傾斜地崩壊対策事業負担金（北須賀和田2，柴田2，八代1）【千葉県施工】	
特定財源の内訳	
○分担金	・急傾斜地崩壊対策事業分担金 6,420 千円
○県補助金	・急傾斜地崩壊対策事業補助金 50,000 〃
○市債	・急傾斜地崩壊対策事業債 127,500 〃

事業名		60-01 崖地整備費補助事業			 		
部課名		土木部 土木課		予算書ページ	134		
予算科目			施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）		
款	02	総務費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり		
項	01	総務管理費	基本施策	01	災害などに強いまちをつくる		
目	10	防災対策費	施策の方向	02	自然災害対策の推進を図ります。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	成田市崖地整備事業補助金交付規則						
H29決算額	34,826千円		H30決算額	25,446千円		R1決算額	11,250千円
R2決算額	63,580千円		R3当初予算額	15,000千円		R4計画額	11,250千円


R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	30,000千円					30,000

事業の概要等	
<p>崖崩れ等の災害から、市民の生命・財産を守るため、個人が行う崖地整備に対し、工事費の一部を補助する。</p> <p>○負担金補助及び交付金 <span style="float: right;">30,000千円</span>  ・崖地整備事業補助金</p> <p><b>【崖地整備費補助事業概要】</b>  補助対象工事費：擁壁の設置費，法面の整備費，施工上最低限必要となる既存構造物の解体工事費  補助額：補助対象工事費の3分の2（騒音地域は10分の9）以内  補助限度額：7,500千円（騒音地域は11,250千円）</p>	
特定財源の内訳	

事業名		15-05 防犯灯維持管理事業			 	
部課名		市民生活部 交通防犯課	予算書ページ	140		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	02	総務費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり	
項	01	総務管理費	基本施策	02	犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる	
目	14	防犯対策費	施策の方向	01	市内の防犯体制の強化に努めます。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	改善・見直し
根拠法令要綱等						
H29決算額	98,552千円		H30決算額	116,900千円		R1決算額 245,747千円
R2決算額	100,495千円		R3当初予算額	106,532千円		R4計画額 90,514千円



R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	94,484千円					94,484

事業の概要等	
<p>市管理の防犯灯（令和3年度において、区・自治会等から市へ移管を受けた防犯灯を含む。）について、E S C O事業の活用により適正な維持管理を行うことで、生活環境の整備及び犯罪の未然防止を図る。</p> <p>令和4年度からは、令和3年度に選定したE S C O事業者により、防犯灯の一括管理を実施する。</p>	
○需用費	28,623千円
・光熱水費	
○役務費	44千円
・通信運搬費	
○委託料	57,942千円
・LED防犯灯一括整備・管理委託料	
○負担金補助及び交付金	7,875千円
・防犯灯維持管理費補助金	
【債務負担行為の設定】	
事項：LED防犯灯一括整備・管理委託料	
期間：令和3年度から令和13年度まで	
限度額：667,520千円	
※防犯灯設置状況：15,185灯	
※E S C O事業：市と契約する事業者が、防犯灯LED化工事（令和3年度実施済）やその後の管理を実施し、市は防犯灯LED化による電気料等の削減分で、事業者へ委託費を支払う事業。	

事業名		23-05 地域安全対策事業					
部課名		市民生活部 交通防犯課	予算書ページ	141			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）		
款	02	総務費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり		
項	01	総務管理費	基本施策	02	犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる		
目	14	防犯対策費	施策の方向	01	市内の防犯体制の強化に努めます。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	成田市防犯まちづくり推進条例，第4次成田市防犯まちづくり推進計画						
H29決算額	30,652千円		H30決算額	31,756千円		R1決算額	29,965千円
R2決算額	27,639千円		R3当初予算額	27,885千円		R4計画額	27,885千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	28,632千円		1,000			27,632

事業の概要等							
<p>犯罪を防止し，市民等が安全に，かつ，安心して暮らせる地域社会の実現を図るため，「成田市防犯まちづくり推進条例」及び「第4次成田市防犯まちづくり推進計画」に基づき，青色回転灯を装着したパトロール車による巡回活動並びに防犯カメラの新規設置及び更新，管理等を行い，児童等の安全確保と犯罪抑止対策を推進する。</p>							
○委託料						19,783千円	
・通学路防犯広報啓発活動委託料							
・防犯カメラ保守点検委託料他							
○使用料及び賃借料						2,260千円	
・共架料金							
・庁用車借上料							
○工事請負費						4,200千円	
・防犯カメラ設置工事							
○その他						2,389千円	
【防犯カメラ設置状況】							
	年度	～令和2年度		令和3年度		令和4年度（予定） ※更新4基含む	合計
地区							
犯罪抑止重点地区	ウイング土屋 付近 他	45基	成田山参道付近 (更新)	4基	成田山参道付近 (更新)	4基	45基
その他	ニュータウン 内交差点 他	50基	ニュータウン内 交差点	1基	新規設置 (箇所検討中)	1基	52基
特定財源の内訳							
○県補助金	・防犯カメラ等設置事業補助金					1,000千円	

事業名		10-05 総合計画策定事業			 	
部課名		企画政策部 企画政策課		予算書ページ	163	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	06	市民サービスを充実させ、持続可能な自治体運営を行う（自治体経営）	
款	02	総務費	基本目標	02	経営的な視点に立った効率的なまちづくり	
項	07	企画費	基本施策	01	市民満足度を重視した行政サービスの向上を図る	
目	01	企画総務費	施策の方向	01	市民満足度を重視した行政経営に取り組みます。	
新規・継続の別		一部新規	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		1,089千円	H30決算額		998千円	R1決算額 12,056千円
R2決算額		847千円	R3当初予算額		1,074千円	R4計画額 4,410千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	5,434千円					5,434

事業の概要等	
<p>成田市総合計画「NARITAみらいプラン」第2期基本計画の計画期間が令和5年度で終了することから、人口や財政推計等による現状の課題分析を行うとともに、市民意識調査や市民ワークショップ等を実施し、新たな基本施策や取組方針等を掲げた第3期基本計画を策定する。</p> <p>併せて、毎年度事業の見直しを図っている実施計画についてローリングを行い、第8次実施計画を策定する。</p>	
○報酬	278千円
・総合計画審議会委員報酬12人分	
○委託料	4,114千円
・第3期基本計画策定支援委託料	
・電算処理委託料	
○その他	1,042千円
<p><b>【第3期基本計画策定支援委託概要】</b></p> <p>令和4年度：基礎調査（人口、財政推計及び課題分析等）、基本計画骨子案作成</p> <p>令和5年度：市民意識調査（令和4年度末から令和5年度当初に実施）、基本計画の策定及び印刷</p>	
<p><b>【債務負担行為の設定】</b></p> <p>事項：第3期基本計画策定支援委託料</p> <p>期間：令和5年度</p> <p>限度額：9,086千円</p>	
特定財源の内訳	

事業名		10-41 スポーツツーリズム推進事業			  	
部課名		シティプロモーション部 スポーツ振興課	予算書ページ	164		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）	
款	02	総務費	基本目標	01	空港を生かした活気あふれるまちづくり	
項	07	企画費	基本施策	02	空港を活用し新たな成田の魅力を発信する	
目	01	企画総務費	施策の方向	01	スポーツツーリズムを推進します。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		4,011 千円	H30決算額		9,222 千円	R1決算額 22,143 千円
R2決算額		7,433 千円	R3当初予算額		127,908 千円	R4計画額 10,156 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	15,089 千円					15,089

事業の概要等	
<p>本市の優れたスポーツ資源と、ツーリズム（旅行・観光）を融合させたスポーツツーリズムを推進し、スポーツを介した観光客の取込みを図るとともに、スポーツを通じた共生社会を推進する。</p> <p>令和4年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用し、ホストタウンや事前キャンプを受け入れたチームとの交流を行う。</p> <p>また、アイルランドパラリンピック委員会と締結したレガシー協定を踏まえ、8月18日から24日までの期間を共生社会ウィークとして設定し、パラスポーツ体験会やアイルランド関連イベントなどの各種事業を行うほか、パラスポーツの大会誘致により、スポーツツーリズムを推進するとともに、共生社会実現へ向け、市民への意識醸成を図る。</p>	
○委託料	15,000 千円
・スポーツツーリズム推進委託料	
○その他	89 千円
【スポーツツーリズム推進委託概要】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホストタウンや事前キャンプ受け入れチームとの交流イベントの開催</li> <li>・パラスポーツ体験会、アイルランド関連イベントなどの共生社会推進イベントの開催</li> <li>・パラスポーツの大会誘致</li> <li>・スポーツツーリズムフェスなどの地域の関連機関と連携したスポーツツーリズム推進イベントの開催</li> </ul>	
特定財源の内訳	

事業名		74-05 国家戦略特区推進事業			  	
部課名		企画政策部 国家戦略特区推進課	予算書ページ	166		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）	
款	02	総務費	基本目標	02	魅力ある機能的なまちづくり	
項	07	企画費	基本施策	03	大学を活用したまちづくりを推進する	
目	01	企画総務費	施策の方向	01	大学との連携を図ります。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		1,793,520 千円	H30決算額	758,202 千円	R1決算額	27,234 千円
R2決算額		16,025 千円	R3当初予算額	117,087 千円	R4計画額	793,999 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	491,281 千円					491,281

事業の概要等	
<p>国家戦略特区の規制緩和により開学した国際医療福祉大学医学部の附属病院について、医師等の養成のための教育施設としての機能やその公共性・公益性を考慮して、施設等に係る固定資産税相当額を同大学に対して補助金として交付するほか、借り受けた土地に係る賃料支払い等を行う。</p> <p>また、国家戦略特区における規制緩和の活用について調査し、内閣府に提案を行う。</p>	
○旅費	80 千円
○需用費	35 千円
・消耗品費	30 千円
・食糧費	5 〃
○委託料	191 千円
・草刈委託料	
○使用料及び賃借料	5,556 千円
・土地借上料	
・OA機器借上料	
○負担金補助及び交付金	485,419 千円
・国際医療福祉大学成田病院立地補助金	454,923 千円
・国際医療福祉大学成田病院関係施設立地補助金	30,496 〃
特定財源の内訳	

事業名		10-05 航空機騒音地域補助事業			  	
部課名		空港部 空港地域振興課	予算書ページ	169		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	02	総務費	基本目標	02	空港と共生し安心して暮らせるまちづくり	
項	07	企画費	基本施策	01	空港と共生する生活環境を整える	
目	02	空港対策費	施策の方向	01	航空機騒音対策の充実を図ります。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	成田市航空機騒音地域補助金交付規則					
H29決算額	159,542千円		H30決算額	160,096千円		R1決算額 164,567千円
R2決算額	178,760千円		R3当初予算額	181,114千円		R4計画額 182,356千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
	179,249千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源 179,249

事業の概要等	
<p>騒特法に基づき土地利用の規制がされる地域及び航空機騒音の障害が生ずる地域の資産の所有者に対し、用益の制限による損失及び維持管理費の一部を補助する。</p> <p>補助対象資産は、騒特法防止地区及び防止特別地区内の土地、家屋並びに成田国際空港に係る騒防法第一種区域の住家とその宅地とし、これらの資産に係る固定資産税、都市計画税の50%相当額を最大30万円まで補助する。</p>	
○負担金補助及び交付金	175,351千円
・航空機騒音地域補助金	
交付予定件数 4,912件	
○その他	3,898千円
特定財源の内訳	



事業名		40-15 共同利用施設整備事業			  		
部課名		空港部 空港対策課		予算書ページ	170		
予算科目			施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）		
款	02	総務費	基本目標	02	空港と共生し安心して暮らせるまちづくり		
項	07	企画費	基本施策	02	空港周辺地域の振興を図る		
目	02	空港対策費	施策の方向	02	学習や集会などに利用する施設の適切な維持管理に努めます。		
新規・継続の別	新規		補助・単独の別	単独	事務事業評価	—	
根拠法令要綱等	成田市集会施設等の設置及び管理に関する条例						
H29決算額	3,203 千円		H30決算額	0 千円		R1決算額	0 千円
R2決算額	0 千円		R3当初予算額	0 千円		R4計画額	3,239 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	4,814 千円					4,814




事業の概要等	
<p>空港周辺の住民生活の安全と福祉活動の向上のため、防音集会所を整備する。令和4年度は、小泉地区への防音集会所建設に向けて、実施設計及び地質調査を行う。</p>	
○委託料	4,814 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計委託料</li> <li>・地質調査委託料</li> </ul>	
【施設概要】	
所在地：小泉地先	
構造：木造平家建	
延床面積：約80㎡	
特定財源の内訳	

事業名		60-01 民家防音家屋等維持管理費補助事業			  		
部課名		空港部 空港対策課		予算書ページ	172		
予算科目			施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）		
款	02	総務費	基本目標	02	空港と共生し安心して暮らせるまちづくり		
項	07	企画費	基本施策	01	空港と共生する生活環境を整える		
目	02	空港対策費	施策の方向	01	航空機騒音対策の充実を図ります。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	成田市民家防音家屋等維持管理費補助金交付規則						
H29決算額	669,119千円		H30決算額	668,906千円		R1決算額	672,576千円
R2決算額	686,481千円		R3当初予算額	713,399千円		R4計画額	742,172千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	725,230千円					725,230



事業の概要等	
<p>成田国際空港に係る騒防法第一種区域及び第一種区域に隣接する区域の防音家屋の所有者等に対し、家屋及び空調施設の維持管理費の一部を補助する。</p>	
○負担金補助及び交付金	720,034千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民家防音家屋等維持管理費補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>交付予定件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民家防音家屋維持管理費 4,341 件</li> <li>・1室・2室の防音家屋維持管理費 122 〃</li> <li>・空調施設維持管理費 4,976 〃</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
○その他	5,196千円
特定財源の内訳	

### 第3款 民生費

事業名		53-01 成年後見支援センター運営事業		  	
部課名		福祉部 高齢者福祉課	予算書ページ	178	
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）
款	03	民生費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり
項	01	社会福祉費	基本施策	02	高齢者が安心して生活できる体制を整える
目	01	社会福祉総務費	施策の方向	02	高齢者の多様な生活支援ニーズに対応したサービスを提供します。
新規・継続の別	一部新規		補助・単独の別	単独	事務事業評価
根拠法令要綱等	成年後見制度の利用の促進に関する法律，成年後見制度利用促進基本計画				
H29決算額	0千円		H30決算額	0千円	
R2決算額	0千円		R3当初予算額	140千円	
			R4計画額	7,000千円	


R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	1,272千円					1,272

事業の概要等	
<p>認知症などで判断能力が低下した高齢者や障がいにより判断能力が十分でない方が、必要なときに成年後見制度を利用できるように支援するため、令和4年度から高齢者福祉課内に権利擁護支援の中核機関となる成年後見支援センターを設置する。</p> <p>同センターは、成年後見制度に関する相談支援や制度を利用する際の申立支援のほか、後見人等の支援を行い、誰もが尊厳をもったその人らしい生活を継続することができるよう、制度利用促進の体制整備を図る。</p>	
○報酬	1,042千円
・社会福祉士報酬	
○報償費	78千円
・成年後見制度利用促進会議委員謝礼	
○旅費	52千円
○需用費	100千円
・印刷製本費	
特定財源の内訳	

事業名		73-01 生活困窮者自立支援事業		 	
部課名		福祉部 社会福祉課	予算書ページ	180	
予算科目		施策の体系			
会計	01 一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	03 民生費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり	
項	01 社会福祉費	基本施策	04	生活の安定を確保して自立・就労を支援する	
目	01 社会福祉総務費	施策の方向	02	生活困窮者の生活安定・自立に向けた支援を充実します。	
新規・継続の別	継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	生活困窮者自立支援法				
H29決算額	37,006 千円	H30決算額	37,726 千円	R1決算額	44,187 千円
R2決算額	80,512 千円	R3当初予算額	77,128 千円	R4計画額	77,128 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源
	65,526 千円	47,091			18,435

事業の概要等	
<p>生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者の自立を促進するため、必須事業として生活困窮者自立相談支援事業、生活困窮者住居確保給付金の支給を、また、任意事業として就労準備支援事業、家計改善支援事業及び学習支援事業を実施する。</p> <p>なお、生活困窮者自立相談支援事業、就労準備支援事業及び家計改善支援事業については、暮らしサポート成田において生活上の様々な相談を受け必要な支援を行う。</p>	
○報償費	90 千円
・講師謝礼 学習支援事業（任意事業）	
○委託料	45,997 千円
・生活困窮者自立支援事業委託料 自立相談支援事業（必須事業） 就労準備支援事業（任意事業） 家計改善支援事業（任意事業）	
○使用料及び賃借料	2,442 千円
・施設借上料	
○扶助費	16,776 千円
・住居確保給付金（必須事業）	
○その他	221 千円
特定財源の内訳	
○国庫負担金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立相談支援事業費負担金 18,239 千円</li> <li>・住居確保給付金負担金 12,582 〃</li> </ul>
○国庫補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労準備支援事業費補助金 5,893 〃</li> <li>・家計改善支援事業費補助金 10,330 〃</li> <li>・子どもの学習支援事業費補助金 47 〃</li> </ul>

事業名		20-05 障害者地域生活支援事業		  	
部課名		福祉部 障がい者福祉課	予算書ページ	183	
予算科目		施策の体系			
会計	01 一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	03 民生費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり	
項	01 社会福祉費	基本施策	03	障がいのある人の自立した生活を支援する	
目	02 障害者福祉費	施策の方向	01	多様なニーズに対応した障がい福祉サービスを提供します。	
新規・継続の別	継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	障害者総合支援法，身体障害者福祉法，知的障害者福祉法，精神保健及び精神障害者福祉に関する法律，児童福祉法，成田市精神障害者福祉ホーム運営費補助金交付規則，成田市身体障害者等補装具等自己負担金助成規則，成田市障害者総合支援法施行細則他				
H29決算額	720,684千円	H30決算額	804,055千円	R1決算額	943,638千円
R2決算額	973,651千円	R3当初予算額	1,023,296千円	R4計画額	1,034,706千円


R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	1,173,304千円	528,235	275,333		2,208	367,528

事業の概要等																									
障がい者が自立した生活を送ることができるよう福祉サービスの提供，補装具や日常生活用具等の給付等により，生活支援の拡充を行う。																									
○扶助費	1,152,748千円																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>扶助費の内訳</th> <th>支給予定人数</th> <th>支給予定額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害児通所等給付費</td> <td>477人</td> <td>426,292千円</td> </tr> <tr> <td>共同生活援助等給付費</td> <td>156〃</td> <td>319,133〃</td> </tr> <tr> <td>身体障害者児補装具給付費</td> <td>228〃</td> <td>25,607〃</td> </tr> <tr> <td>心身障害者児日常生活用具給付費</td> <td>248〃</td> <td>33,440〃</td> </tr> <tr> <td>地域生活支援事業給付費</td> <td>219〃</td> <td>86,850〃</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,923〃</td> <td>261,426〃</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,251〃</td> <td>1,152,748〃</td> </tr> </tbody> </table>	扶助費の内訳	支給予定人数	支給予定額	障害児通所等給付費	477人	426,292千円	共同生活援助等給付費	156〃	319,133〃	身体障害者児補装具給付費	228〃	25,607〃	心身障害者児日常生活用具給付費	248〃	33,440〃	地域生活支援事業給付費	219〃	86,850〃	その他	2,923〃	261,426〃	合計	4,251〃	1,152,748〃	
扶助費の内訳	支給予定人数	支給予定額																							
障害児通所等給付費	477人	426,292千円																							
共同生活援助等給付費	156〃	319,133〃																							
身体障害者児補装具給付費	228〃	25,607〃																							
心身障害者児日常生活用具給付費	248〃	33,440〃																							
地域生活支援事業給付費	219〃	86,850〃																							
その他	2,923〃	261,426〃																							
合計	4,251〃	1,152,748〃																							
○その他	20,556千円																								
特定財源の内訳																									
○負担金	・ 障害者配食サービス利用者負担金 2,208千円																								
○国庫負担金	・ 障害者総合支援給付費等負担金 503,823〃																								
○国庫補助金	・ 地域生活支援事業費補助金 24,412〃																								
○県負担金	・ 障害者総合支援給付費等負担金 251,912〃																								
○県補助金	・ 地域生活支援事業費補助金他 23,421〃																								

事業名		20-20 障害者施設利用支援事業		  	
部課名		福祉部 障がい者福祉課	予算書ページ	186	
予算科目		施策の体系			
会計	01 一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	03 民生費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり	
項	01 社会福祉費	基本施策	03	障がいのある人の自立した生活を支援する	
目	02 障害者福祉費	施策の方向	01	多様なニーズに対応した障がい福祉サービスを提供します。	
新規・継続の別	継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	障害者総合支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、成田市知的障害者生活ホーム運営事業補助金交付規則、成田市障害者通所施設交通費助成規則、成田市障害者総合支援法施行細則				
H29決算額	1,141,129 千円	H30決算額	1,189,624 千円	R1決算額	1,238,150 千円
R2決算額	1,305,677 千円	R3当初予算額	1,278,155 千円	R4計画額	1,314,123 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源
	1,373,523 千円	680,276	343,209		350,038

事業の概要等																
<p>障がい者の自立した生活を支援するため、入所施設運営費補助、施設入所及び通所サービスの利用に対する介護給付や通所に要する交通費の助成を行う。</p>																
○負担金補助及び交付金	6,143 千円															
・知的障害者生活ホーム運営事業補助金	1 施設 876 千円															
・強度行動障害者支援事業補助金	2 " 5,267 "															
○扶助費	1,364,905 千円															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>扶助費の内訳</th> <th>支給予定人数</th> <th>支給予定額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設入所等給付費</td> <td>108 人</td> <td>226,271 千円</td> </tr> <tr> <td>施設通所等給付費</td> <td>462 "</td> <td>1,134,281 "</td> </tr> <tr> <td>心身障害者福祉施設通所交通費助成金</td> <td>140 "</td> <td>4,353 "</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>710 "</td> <td>1,364,905 "</td> </tr> </tbody> </table>		扶助費の内訳	支給予定人数	支給予定額	施設入所等給付費	108 人	226,271 千円	施設通所等給付費	462 "	1,134,281 "	心身障害者福祉施設通所交通費助成金	140 "	4,353 "	合計	710 "	1,364,905 "
扶助費の内訳	支給予定人数	支給予定額														
施設入所等給付費	108 人	226,271 千円														
施設通所等給付費	462 "	1,134,281 "														
心身障害者福祉施設通所交通費助成金	140 "	4,353 "														
合計	710 "	1,364,905 "														
○その他	2,475 千円															
特定財源の内訳																
○国庫負担金	・障害者総合支援給付費等負担金 680,276 千円															
○県負担金	・ " 340,138 "															
○県補助金	・知的障害者生活ホーム運営事業費補助金 438 "															
	・強度行動障害加算事業補助金 2,633 "															

事業名		61-01 介護人材確保対策事業					
部課名		福祉部 高齢者福祉課	予算書ページ	194			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）		
款	03	民生費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり		
項	01	社会福祉費	基本施策	02	高齢者が安心して生活できる体制を整える		
目	03	老人福祉費	施策の方向	03	在宅サービス・施設サービス基盤の充実を図ります。		
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	—	
根拠法令要綱等		成田市介護職員定着支援補助金交付規則，成田市介護職員初任者研修受講料等補助金交付規則					
H29決算額		0千円	H30決算額		0千円	R1決算額	0千円
R2決算額		0千円	R3当初予算額		13,860千円	R4計画額	13,860千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	12,900千円		375			12,525

### 事業の概要等

超高齢社会の進行に伴い、介護サービスへの需要が高まる中、全国的に介護人材の不足が深刻化していることから、介護職員の定着支援のための補助や、介護資格取得費用の補助を通じて、市内の介護事業所における処遇改善及び介護人材の確保を図る。

○負担金補助及び交付金 12,900千円

- ・介護職員定着支援補助金（通称「介護版なりた手当」） 11,900千円  
 市内の介護事業所で身体介助に従事している常勤の正規職員に対し、勤務した就業年数に応じ補助金を交付する。  


就業年数	年額	令和4年度支給見込者数
1年	20,000円	50人
3〃	60,000〃	55〃
6〃	80,000〃	45〃
9〃	100,000〃	40〃

- ・介護職員初任者研修受講料等補助金 1,000千円  
 介護職員初任者研修を修了し、市内の介護事業所で就労している職員に対し、当該研修の受講費用の一部を補助する。  
 上限額 100,000円 × 10人

### 特定財源の内訳

○県補助金 375千円



- ・介護人材確保対策事業費補助金

事業名		85-01 介護ロボット導入支援事業				
部課名		福祉部 高齢者福祉課		予算書ページ	194	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	03	民生費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり	
項	01	社会福祉費	基本施策	02	高齢者が安心して生活できる体制を整える	
目	03	老人福祉費	施策の方向	03	在宅サービス・施設サービス基盤の充実を図ります。	
新規・継続の別	新規		補助・単独の別	単独	事務事業評価	—
根拠法令要綱等	成田市介護ロボット導入支援補助金交付規則					
H29決算額	0千円		H30決算額	0千円		R1決算額 0千円
R2決算額	0千円		R3当初予算額	0千円		R4計画額 1,400千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	2,700千円					2,700

事業の概要等	
<p>超高齢社会の進行に伴い、介護サービスへの需要が高まっていることから、介護ロボットの導入費用の一部を補助することにより、市内の介護事業所における介護人材の負担軽減及び労働環境の改善を図る。</p>	
○負担金補助及び交付金	2,700千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護ロボット導入支援補助金</li> </ul>	
<p><b>【補助対象事業所】</b> 地域密着型サービス事業所</p>	
<p><b>【補助対象経費】</b> 移乗介護や夜間の見守り業務等を支援する介護ロボットの導入費用</p>	
<p><b>【補助率、補助金上限額】</b> 補助率：1/2 補助金上限額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①移乗介護又は入浴支援に係る介護ロボット 1台につき100万円</li> <li>②上記①以外の介護ロボット 1台につき30万円</li> <li>③見守りに係る介護ロボットの導入に伴う通信環境の整備 1事業所につき150万円</li> </ul>	
特定財源の内訳	



事業名		15-01 児童ホーム管理運営事業			 	
部課名		健康こども部 保育課		予算書ページ	200	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	03	民生費	基本目標	01	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	
項	02	児童福祉費	基本施策	02	安定した子育てを支える基盤を整える	
目	01	児童福祉総務費	施策の方向	01	充実した保育サービスを提供します。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等		児童福祉法、成田市児童ホームの設置及び管理に関する条例				
H29決算額		278,413 千円	H30決算額		286,009 千円	R1決算額 290,986 千円
R2決算額		302,256 千円	R3当初予算額		340,015 千円	R4計画額 339,528 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	340,805 千円	64,781	64,781		83,371	127,872

事業の概要等											
<p>保護者の就労等により放課後に留守家庭となる児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援する。</p>											
○報酬										245,470 千円	
・児童ホーム支援員報酬										243,079 千円	
・児童ホーム巡回指導員報酬										2,391 〃	
○職員手当等										28,053 千円	
○その他										67,282 〃	
【児童ホーム別支援員数及び定員】										(単位：人)	
名称	支援員数	定員	名称	支援員数	定員	名称	支援員数	定員	名称	支援員数	定員
中台	3	40	加良部第二	3	40	神宮寺	3	50	下総	4	50
三里塚	4	50	橋賀台	3	40	向台	2	35	八生	2	25
三里塚第二	3	40	公津の杜	3	50	向台第二	2	35	公津	3	35
玉造	3	40	公津の杜第二	3	50	吾妻第一	3	50	本城第一	4	40
平成	3	50	公津の杜第三	3	50	吾妻第二	3	50	本城第二	3	40
平成第二	3	30	美郷台	7	50	吾妻第三	3	40	大栄第一	4	40
成田	3	40	久住	4	50	新山第一	2	40	大栄第二	3	40
成田第二	2	40	久住第二	3	40	新山第二	2	40	合計	103	1,415
加良部	3	50	豊住	2	15	遠山	2	40			

特定財源の内訳		
○使用料	・児童ホーム保育料	82,827 千円
○国庫補助金	・子ども・子育て支援交付金	64,781 〃
○県補助金	・子ども・子育て支援補助金	64,781 〃
○雑入	・本人負担雇用保険料	544 〃

事業名		20-01 児童ホーム整備事業			 	
部課名		健康こども部 保育課	予算書ページ	201		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	03	民生費	基本目標	01	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	
項	02	児童福祉費	基本施策	02	安定した子育てを支える基盤を整える	
目	01	児童福祉総務費	施策の方向	01	充実した保育サービスを提供します。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	拡大
根拠法令要綱等		児童福祉法，成田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
H29決算額		133,011 千円	H30決算額	82,461 千円	R1決算額	7,314 千円
R2決算額		34,355 千円	R3当初予算額	97,745 千円	R4計画額	25,508 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	32,625 千円	4,942	4,942	6,300		16,441

事業の概要等	
<p>児童ホームの待機児童解消や保育環境改善のため、児童ホームの整備を図る。  令和4年度は、中台小学校校舎の大規模改修に併せて中台児童ホームの改修工事を行う。  令和4年度～令和5年度継続事業（総事業費 34,860千円）  また、待機児童の解消を図るため、久住小学校の増築に併せて（仮称）久住第三児童ホームの整備にかかる地質調査を行うとともに、平成児童ホームの増設にかかる実施設計を行う。</p>	
○委託料	14,910 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中台児童ホーム建設工事監理委託料（継続費）</li> <li>・平成児童ホーム実施設計委託料，測量調査委託料，地質調査委託料</li> <li>・（仮称）久住第三児童ホーム地質調査委託料</li> </ul>	
○工事請負費 ・中台児童ホーム建設工事（継続費）	17,165 千円
○その他	550 千円
【債務負担行為の設定】	
事項：（仮称）久住第三児童ホーム借上料 期間：令和4年度から令和14年度まで 限度額：43,080千円（令和4年度 0千円）	
【児童ホーム施設概要】	
○中台児童ホーム（設置場所：中台小学校 校舎内） 延床面積：約120㎡ 定員：40人 構造：鉄筋コンクリート造	
○平成第二児童ホーム・（仮称）平成第三児童ホーム（設置場所：平成小学校 敷地内） 延床面積：約300㎡（2階建て） 定員：40人×2ルーム 構造：未定	
○（仮称）久住第三児童ホーム（設置場所：久住小学校 敷地内） 延床面積：約120㎡ 定員：40人 構造：軽量鉄骨造	
特定財源の内訳	
○国庫補助金	・子ども・子育て支援整備交付金 4,776千円 ・子ども・子育て支援交付金 166千円
○県補助金	・子ども・子育て支援整備補助金 4,776 〃 ・子ども・子育て支援補助金 166 〃
○市債	・児童ホーム整備事業債 6,300 〃

事業名		60-05 子ども医療費助成事業				
部課名		健康こども部 子育て支援課	予算書ページ	204		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	03	民生費	基本目標	01	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	
項	02	児童福祉費	基本施策	01	子どもの健やかな成長を支援する	
目	01	児童福祉総務費	施策の方向	02	子育て家庭への支援体制の充実を図ります。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等		成田市子ども医療費助成規則				
H29決算額		514,167千円	H30決算額	507,040千円	R1決算額	487,738千円
R2決算額		387,657千円	R3当初予算額	469,604千円	R4計画額	460,685千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	452,138千円		126,507			325,631

事業の概要等

保護者の経済的負担を軽減するとともに、子育て支援体制の充実を図るため、市内に居住し、健康保険に加入している中学3年生までの児童の保護者に対し、児童にかかる医療費（保険診療分）から自己負担金（住民税所得割課税世帯は入・通院200円、非課税世帯は0円）を控除した額を助成する。


- 扶助費 429,076千円
  - ・子ども医療費
- その他 23,062千円

【助成見込件数】

	件数（件）	延日数（日）
入院	1,276	8,333
通院	151,734	201,184
調剤	93,214	113,346


特定財源の内訳

○県補助金 ・子ども医療費助成事業補助金 126,507千円

事業名		60-10 高校生等医療費助成事業					
部課名		健康こども部 子育て支援課	予算書ページ	205			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）		
款	03	民生費	基本目標	01	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		
項	02	児童福祉費	基本施策	01	子どもの健やかな成長を支援する		
目	01	児童福祉総務費	施策の方向	02	子育て家庭への支援体制の充実を図ります。		
新規・継続の別		新規	補助・単独の別	単独	事務事業評価	—	
根拠法令要綱等		成田市高校生等医療費等の助成に関する規則					
H29決算額		0千円	H30決算額		0千円	R1決算額	0千円
R2決算額		0千円	R3当初予算額		0千円	R4計画額	0千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	39,040千円					39,040

事業の概要等	
<p>現在、中学校3年生までの児童を対象としている「子ども医療費助成事業」に加え、子どもの保健対策の充実を図るとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和4年度より、高校生相当年齢の子ども（以下「高校生等」という。）を対象とする高校生等医療費助成制度を創設し、市内に居住し、健康保険に加入している高校生等の保護者等に対し、高校生等にかかる医療費（保険診療分）から自己負担金（住民税所得割課税世帯は入・通院200円、非課税世帯は0円）を控除した額を助成する。</p>	
○扶助費	36,160千円
・高校生等医療費	
○その他	2,880千円
<p><b>【制度概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象者 本市に居住し、健康保険に加入している高校生等の保護者等</li> <li>・助成見込件数 高校生等の人口（令和3年3月末時点） 3,756人 利用見込件数 13,860件</li> <li>・助成方法 償還払い方式により実施（4月受診分から適用）</li> </ul>	
特定財源の内訳	

事業名		70-01 地域型保育給付事業				
部課名		健康こども部 保育課	予算書ページ	206		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	03	民生費	基本目標	01	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	
項	02	児童福祉費	基本施策	02	安定した子育てを支える基盤を整える	
目	01	児童福祉総務費	施策の方向	01	充実した保育サービスを提供します。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	児童福祉法，子ども・子育て支援法					
H29決算額	256,965 千円		H30決算額	322,575 千円		R1決算額 356,938 千円
R2決算額	389,478 千円		R3当初予算額	455,972 千円		R4計画額 497,562 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）						
	518,998 千円	国庫支出金	271,582	県支出金	98,799	地方債	その他財源	一般財源

### 事業の概要等

待機児童の解消を図り、地域の実情に応じた多様な保育を提供するため、地域型保育事業所（小規模保育・事業所内保育・家庭的保育）の運営を支援・補助し、地域型保育事業の実施を促進する。

○負担金補助及び交付金 518,998 千円

- ・地域型保育給付費 487,237 千円
- ・特定地域型保育事業所運営費補助金 4,587 〃
- ・予備保育士設置費補助金 22,228 〃
- ・延長保育事業費補助金 600 〃
- ・一時預かり事業費補助金 584 〃
- ・保育士宿舍借上げ支援事業費補助金 3,762 〃

（単位：人）


【小規模保育事業所別延児童数（見込）】					
ハレルヤ保育園	231	わくわく保育園 成田園	207	ことり保育園 公津の杜園	141
こひつじくらぶ	125	キッズルームひまわり	174	わくわく保育園 並木町園	200
ひまわり保育園	227	ことり保育園 スカイトウン園	164	わくわく保育園 久住園	205
キートスベビーケア公津の杜	156	キートスベビーケア美郷台	156	森の保育所（1月～）	21

（単位：人）

【事業所内保育事業所延児童数（見込）】		【家庭的保育事業所別延児童数（見込）】			
なかよし保育園	144	おうちほいくわたぼうし	31	森の保育所（4月～12月）	45
		家庭的保育にこ	32		

### 特定財源の内訳

- 国庫負担金 ・子どものための教育・保育給付交付金 268,679 千円
- 国庫補助金 ・保育対策総合支援事業費補助金 2,508 〃
- ・子ども・子育て支援交付金 395 〃
- 県負担金 ・子どものための教育・保育給付費負担金 98,404 〃
- 県補助金 ・子ども・子育て支援補助金 395 〃

事業名		05-01 児童手当支給事業				
部課名		健康こども部 子育て支援課	予算書ページ	206		
予算科目		施策の体系				
会計	01 一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）		
款	03 民生費	基本目標	01	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		
項	02 児童福祉費	基本施策	01	子どもの健やかな成長を支援する		
目	02 児童措置費	施策の方向	02	子育て家庭への支援体制の充実を図ります。		
新規・継続の別	継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	児童手当法					
H29決算額	2,176,839千円	H30決算額	2,148,254千円	R1決算額	2,095,702千円	
R2決算額	2,039,202千円	R3当初予算額	2,012,817千円	R4計画額	2,009,744千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	1,949,300千円	1,345,757	296,351			307,192

事業の概要等		
<p>次代の社会を担う児童の健やかな成長と子育て家庭等の生活の安定に資するため、児童を養育している父母等に手当を支給する。</p> <p>令和4年度は、児童手当法の一部改正に伴い、特例給付が支給される者のうち、主たる生計維持者の所得が一定の額以上の者については、令和4年10月支給分（6月から9月分）から特例給付の支給対象外となる。</p> <p>また、現況届について令和4年分から一律の提出義務が見直されたことに伴い、受給者の現況を公簿等で確認できる者について、現況届の提出を不要とする。</p>		
○扶助費		1,938,462千円
・児童手当		
○その他		10,838千円
【児童1人当たりの支給月額及び延児童見込数】		
年齢等	児童1人当たりの支給月額	延児童見込数（人）
3歳未満	15,000円	26,485
3歳以上	第1・2子（10,000円）	90,960
	第3子以降（15,000円）	12,475
中学生	10,000円	39,527
所得が制限限度額以上、上限限度額未満の世帯（特例給付）	5,000円	9,838
合計		179,285

特定財源の内訳		
○国庫負担金	・児童手当交付金	1,345,757千円
○県負担金	・児童手当負担金	296,351 〃

事業名		10-01 私立保育園等運営委託事業						
部課名		健康こども部 保育課		予算書ページ	207			
予算科目			施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）			
款	03	民生費	基本目標	01	安心して子どもを産み育てられるまちづくり			
項	02	児童福祉費	基本施策	02	安定した子育てを支える基盤を整える			
目	02	児童措置費	施策の方向	02	私立保育園等の運営・保育サービスを支援します。			
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続		
根拠法令要綱等		児童福祉法，子ども・子育て支援法						
H29決算額	1,319,178千円		H30決算額	1,390,315千円		R1決算額	1,398,319千円	
R2決算額	1,603,710千円		R3当初予算額	1,881,336千円		R4計画額	1,881,336千円	

R4予算額	事業費		財源内訳（千円）				
	2,168,973千円	1,005,024	475,620		128,608	559,721	
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源		

### 事業の概要等

児童の健全な育成を図るため、保護者の就労・出産・疾病等で保育を必要とする乳幼児を対象に、私立保育園に保育を委託するとともに、認定こども園に給付費を支給し、運営を支援する。

- 委託料 1,380,153千円
  - ・私立保育園運営委託料
- 負担金補助及び交付金 788,820千円
  - ・認定こども園等給付費

#### 【市内私立保育園別延児童数（見込）】 (単位：人)

名称	延児童数	名称	延児童数	名称	延児童数	名称	延児童数
成田保育園	1,473	三里塚第一保育園	1,707	三里塚第二保育園	1,606	キートスチャイルドケア美郷台	773
つのぶえ保育園	525	月かげ保育園	316	公津の杜保育園	2,219	三里塚みらい保育園	939
大室保育園	204	宗吾保育園	1,013	あい・あい保育園本三里塚園	729	あい・あい保育園久住園	647
あい・あい保育園西三里塚園	621	キートスチャイルドケア公津の杜	552				

#### 【市内私立認定こども園別延児童数（見込）】 (単位：人)

名称	延児童数	名称	延児童数	名称	延児童数	名称	延児童数
成田国際こども園保育園部分	1,129	成田国際こども園幼稚園部分	74	ハレルヤこども園保育園部分	1,315	ハレルヤこども園幼稚園部分	128
はくと幼稚園保育園部分	298	はくと幼稚園幼稚園部分	864	玉造幼稚園保育園部分	780	玉造幼稚園幼稚園部分	2,340
めぶき保育園なりた保育園部分	626	めぶき保育園なりた幼稚園部分	108				


#### 【市内私立幼稚園別延児童数（見込）】 (単位：人)

名称	延児童数
三里塚幼稚園	396

【市外保育園別延児童数（見込）】 私立保育園等：24園（434人），公立保育園等：10園（200人）

### 特定財源の内訳

- 負担金
  - ・保育所運営費保護者負担金 128,608千円
- 国庫負担金
  - ・子どものための教育・保育給付交付金 1,005,024 〃
- 県負担金
  - ・子どものための教育・保育給付費負担金 475,620 〃

事業名		05-01 保育園運営事業				
部課名		健康こども部 保育課	予算書ページ	210		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	03	民生費	基本目標	01	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	
項	02	児童福祉費	基本施策	02	安定した子育てを支える基盤を整える	
目	04	保育所費	施策の方向	01	充実した保育サービスを提供します。	
新規・継続の別		一部新規	補助・単独の別	単独	事務事業評価	拡大
根拠法令要綱等		児童福祉法，子ども・子育て支援法，成田市保育所設置条例				
H29決算額		819,534 千円	H30決算額	827,538 千円	R1決算額	837,191 千円
R2決算額		840,702 千円	R3当初予算額	928,821 千円	R4計画額	925,997 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	925,974 千円				138,231	787,743


事業の概要等	
<p>児童福祉法及び子ども・子育て支援法に基づき、保育を必要とする乳幼児を保護者に代わり保育するため、市立保育園13園を適正に運営し、乳幼児の健全な育成を図る。</p> <p>令和4年度は、保育の質のさらなる向上に向けて、園務管理システムを導入することにより、登降園管理や保育日誌、シフト表の作成などの保育士の事務負担を軽減するとともに、園児一人ひとりと向きあう時間の充実を図る。加えて、保護者と保育園との双方向の連絡機能を活用することで、保護者の利便性の向上を図る。</p>	
○報酬	334,717 千円
・保育士報酬	298,355 千円
・看護師報酬	23,790 〃
・その他	12,572 〃
○職員手当等	52,428 千円
○委託料	256,083 〃
○使用料及び賃借料	10,906 〃
・園務管理システム借上料	
・その他	
○その他	271,840 千円
特定財源の内訳	
○負担金	・保育所運営費保護者負担金 59,169 千円 ・年末保育保護者負担金 34 〃 ・時間外保育保護者負担金 2,035 千円 ・保育所運営費市町村負担金 16,201 〃
○使用料	・行政財産使用料 24 〃
○雑入	・保育園職員給食費負担金 20,814 〃 ・保育園副食費保護者負担金 34,942 〃 ・給食従業員給食費負担金 3,780 千円 ・本人負担雇用保険料 947 〃 ・光熱水費等実費収入 285 〃



事業名		10-01 保育園整備事業				
部課名		健康こども部 保育課	予算書ページ	212		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	03	民生費	基本目標	01	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	
項	02	児童福祉費	基本施策	02	安定した子育てを支える基盤を整える	
目	04	保育所費	施策の方向	01	充実した保育サービスを提供します。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	拡大
根拠法令要綱等		児童福祉法				
H29決算額		493,760 千円	H30決算額	556,244 千円	R1決算額	1,665 千円
R2決算額		1,509 千円	R3当初予算額	11,878 千円	R4計画額	20,072 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	30,233 千円			10,900		19,333

事業の概要等	
<p>多様な保育ニーズに対応するため、市立保育園施設・設備等の整備・管理を行い、児童の保育環境の向上に資するとともに、保育サービスを充実させる。</p> <p>令和4年度は、老朽化が進んでいる松崎保育園の再整備にかかる実施設計と地質調査を実施する。また、再整備に伴い、整備用地の既存施設の解体等の工事を行う。</p>	
○委託料	15,577 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・松崎保育園実施設計委託料</li> <li>・松崎保育園地質調査委託料</li> <li>・その他</li> </ul>	
○工事請負費	13,689 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・松崎保育園整備用地既存施設解体等工事</li> </ul>	
○その他	967 千円
【松崎保育園再整備の概要（予定）】	
場所	施設種別
八生公民館敷地内	小規模保育事業所 国家戦略特区制度の活用
	開園予定日
	令和6年4月1日
特定財源の内訳	
○市債	・保育園整備事業債 10,900 千円

事業名		15-05 保育士確保・処遇改善促進事業				
部課名		健康こども部 保育課	予算書ページ	213		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	03	民生費	基本目標	01	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	
項	02	児童福祉費	基本施策	02	安定した子育てを支える基盤を整える	
目	04	保育所費	施策の方向	01	充実した保育サービスを提供します。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	成田市特定教育・保育施設運営費等補助金交付規則，成田市特定地域型保育事業所運営費等補助金交付規則					
H29決算額	41,507千円		H30決算額	69,600千円		R1決算額 71,548千円
R2決算額	84,858千円		R3当初予算額	93,760千円		R4計画額 94,410千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	98,534千円		37,981			60,553

事業の概要等

全国的に課題となっている保育士確保への対応と保育士の処遇改善を図るため、千葉県の保育士処遇改善費補助事業を活用し、市内の私立保育園等に対し、給与の上乗せ補助等を行い、保育士を確保しやすい環境を整え、待機児童の解消を図る。

○負担金補助及び交付金 98,534千円

- ・保育士処遇改善費補助金（通称「なりた手当」）

**【補助金の概要】**


- ・市内の私立保育園等で常勤の保育士として勤務した月数に応じ補助  
月額（上限額） 20,000円 支給見込者数 327人
- ・市内の私立保育園等で常勤の保育士として勤務した年数に応じ補助

区分	年額	支給見込者数
1年以上 3年以下	36,000円	146人
4年以上 6年以下	72,000円	51人
7年以上 9年以下	108,000円	18人
10年以上 12年以下	144,000円	15人
13年以上	180,000円	53人

特定財源の内訳

○県補助金 37,981千円

- ・保育士処遇改善事業費補助金

事業名		10-01 生活保護扶助費			 		
部課名		福祉部 社会福祉課		予算書ページ	219		
予算科目			施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）		
款	03	民生費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり		
項	03	生活保護費	基本施策	04	生活の安定を確保して自立・就労を支援する		
目	02	扶助費	施策の方向	02	生活困窮者の生活安定・自立に向けた支援を充実します。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	生活保護法						
H29決算額	2,132,519 千円		H30決算額	2,082,232 千円		R1決算額	2,118,323 千円
R2決算額	2,157,381 千円		R3当初予算額	2,244,990 千円		R4計画額	2,325,351 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	2,330,616 千円	1,747,961	120,638			462,017


事業の概要等		
<p>健康で文化的な最低限度の生活を保障するため、生活保護法に基づき、生活困窮者を保護し、被保護者に対し、それぞれ必要な援助を行う。</p>		
○扶助費		2,330,616 千円
・生活扶助費	577,563 千円	
・住宅扶助費	295,210 〃	
・教育扶助費	4,453 〃	
・介護扶助費	72,316 〃	
・医療扶助費	1,350,490 〃	
・出産扶助費	306 〃	
・生業扶助費	1,696 〃	
・葬祭扶助費	3,032 〃	
・施設事務費	24,885 〃	
・委託事務費	665 〃	
特定財源の内訳		
○国庫負担金	・生活保護費負担金	1,747,961 千円
○県負担金	・	120,638 〃

## 第4款 衛生費

事業名		20-01 地域医療対策事業			
部課名	健康こども部 健康増進課	予算書ページ	221		
予算科目		施策の体系			
会計	01 一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	04 衛生費	基本目標	03	健康で笑顔あふれるまちづくり	
項	01 保健衛生費	基本施策	02	地域医療体制の充実を図る	
目	01 保健衛生総務費	施策の方向	01	地域医療サービスと救急医療体制の充実を図ります。	
新規・継続の別	継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	医療法，千葉県保健医療計画				
H29決算額	444,818 千円	H30決算額	427,439 千円	R1決算額	434,375 千円
R2決算額	604,888 千円	R3当初予算額	495,151 千円	R4計画額	661,905 千円


R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	675,125 千円					675,125

事業の概要等	
<p>地域医療の円滑な推進を図るため、「救急医療体制整備事業負担金」等を交付し、現在の救急医療体制を維持するとともに、安心できる地域医療体制の確保を図る。さらに、市民に提供する医療の質を高めることを目的に、成田赤十字病院が整備する高度医療機器に係る経費の一部を補助する。</p> <p>また、優秀な看護師等の養成を目的として、市内の看護学校等に対し看護教員の研修に係る経費の一部を補助するとともに、看護師不足に対応するため、将来市内の病院に看護師等として勤務を希望する学生に対し、無利子で修学資金の貸付を行い、市内における看護師等の確保及び地域医療環境の充実を図る。</p>	
○負担金補助及び交付金	495,167 千円
・第二次救急医療機関運営事業負担金	7,764 千円
・印旛市郡小児初期急病診療所運営費負担金	1,837 〃
・救急医療体制整備事業負担金	200,000 〃
・医療機器整備補助金	236,316 〃
対象：成田赤十字病院	
対象経費：高度医療機器整備費用に係る経費の一部	
・看護学校等運営費補助金	500 千円
・地域医療体制拡充補助金	48,750 〃
○貸付金	179,400 千円
・看護師等修学資金貸付金	
対象：看護学校等に在学し、将来市内の病院に看護師等として勤務する学生	
貸付額：月額5万円以内	
○その他	558 千円
特定財源の内訳	

事業名		70-01 いずみ聖地公園拡張整備事業				
部課名		環境部 環境計画課		予算書ページ	226	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	04	衛生費	基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり	
項	01	保健衛生費	基本施策	03	ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める	
目	01	保健衛生総務費	施策の方向	02	環境衛生対策の充実を図ります。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	墓地、埋葬等に関する法律					
H29決算額	9,850 千円		H30決算額	84,240 千円		R1決算額 8 千円
R2決算額	5,051 千円		R3当初予算額	1,891 千円		R4計画額 22,042 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	22,042 千円					22,042



事業の概要等	
<p>近年、墓地の形式に対する考え方が多様化している中で、市民からも承継を必要としない合葬式墓地の整備要望が寄せられている。</p> <p>令和4年度は、合葬式墓地の整備に係る実施設計及び地質調査等を実施する。</p> <p>○委託料 <span style="float: right;">22,042 千円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合葬式墓地実施設計委託料</li> <li>・合葬式墓地地質調査委託料</li> <li>・測量調査委託料</li> </ul> <p>【合葬式墓地概要】 （想定規模）納骨壇：最大2,000体，合葬室：7,000体</p>	
特定財源の内訳	

事業名		10-10 予防接種事業				
部課名		健康こども部 健康増進課	予算書ページ	227		
予算科目		施策の体系				
会計	01 一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）		
款	04 衛生費	基本目標	03	健康で笑顔あふれるまちづくり		
項	01 保健衛生費	基本施策	01	子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する		
目	02 予防費	施策の方向	02	感染症予防対策を推進します。		
新規・継続の別	一部新規	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	予防接種法, 予防接種法施行令, 予防接種法施行規則					
H29決算額	335,617 千円	H30決算額	340,898 千円	R1決算額	318,544 千円	
R2決算額	419,066 千円	R3当初予算額	397,078 千円	R4計画額	396,570 千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	477,333 千円	22,525	15			454,793

事業の概要等																																											
<p>予防接種法により、感染の恐れのある疾病の発生及びまん延を防ぐために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。</p> <p>令和4年度より、子宮頸がんの原因となる感染を予防するHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンの積極的勧奨を再開するため、接種対象者やその保護者に対して、HPVワクチンの有効性や安全性、副反応などの情報をお知らせするとともに、予防接種を受ける機会を提供する。</p>																																											
○委託料	467,470 千円																																										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種委託料</li> <li>・風しん抗体検査委託料</li> <li>・電算処理委託料</li> </ul>																																											
○その他	9,863 千円																																										
【予防接種の種類及び年間接種回数（見込）】（単位：回）																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予防接種名</th> <th>接種回数</th> <th>予防接種名</th> <th>接種回数</th> <th>予防接種名</th> <th>接種回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不活化ポリオ</td> <td>12</td> <td>日本脳炎</td> <td>6,300</td> <td>Hib（ヒブ）</td> <td>3,675</td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td>3,700</td> <td>麻しん風しん混合</td> <td>1,950</td> <td>小児の肺炎球菌</td> <td>3,700</td> </tr> <tr> <td>二種混合</td> <td>1,100</td> <td>BCG</td> <td>707</td> <td>HPV（ヒトパピローマウイルス）</td> <td>3,550</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td>1,725</td> <td>B型肝炎</td> <td>2,850</td> <td>問診のみ（見合わせ）</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>ロタウイルス</td> <td>1,870</td> <td>高齢者インフルエンザ</td> <td>22,625</td> <td>高齢者問診のみ（見合わせ）</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>高齢者肺炎球菌</td> <td>927</td> <td>インフルエンザ（任意）</td> <td>19,566</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	予防接種名	接種回数	予防接種名	接種回数	予防接種名	接種回数	不活化ポリオ	12	日本脳炎	6,300	Hib（ヒブ）	3,675	四種混合	3,700	麻しん風しん混合	1,950	小児の肺炎球菌	3,700	二種混合	1,100	BCG	707	HPV（ヒトパピローマウイルス）	3,550	水痘	1,725	B型肝炎	2,850	問診のみ（見合わせ）	110	ロタウイルス	1,870	高齢者インフルエンザ	22,625	高齢者問診のみ（見合わせ）	40	高齢者肺炎球菌	927	インフルエンザ（任意）	19,566			
予防接種名	接種回数	予防接種名	接種回数	予防接種名	接種回数																																						
不活化ポリオ	12	日本脳炎	6,300	Hib（ヒブ）	3,675																																						
四種混合	3,700	麻しん風しん混合	1,950	小児の肺炎球菌	3,700																																						
二種混合	1,100	BCG	707	HPV（ヒトパピローマウイルス）	3,550																																						
水痘	1,725	B型肝炎	2,850	問診のみ（見合わせ）	110																																						
ロタウイルス	1,870	高齢者インフルエンザ	22,625	高齢者問診のみ（見合わせ）	40																																						
高齢者肺炎球菌	927	インフルエンザ（任意）	19,566																																								
<p>※高齢者インフルエンザは自己負担額1,500円 ※高齢者肺炎球菌は4,123円を上限として助成</p> <p>※インフルエンザ任意接種は、生後6カ月から中学3年生まで及び妊婦を対象に2,000円を上限として助成。ただし、13歳未満の助成回数は2回とする。</p>																																											

特定財源の内訳	
○国庫補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 16,188 千円</li> <li>・感染症予防事業費等補助金 6,337 千円</li> </ul>
○県補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風しんワクチン接種補助事業費補助金 15 〃</li> </ul>

事業名		10-25 結核・がん検診事業			 	
部課名		健康こども部 健康増進課	予算書ページ	228		
予算科目		施策の体系				
会計	01 一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）		
款	04 衛生費	基本目標	03	健康で笑顔あふれるまちづくり		
項	01 保健衛生費	基本施策	01	子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する		
目	02 予防費	施策の方向	03	健康づくりを推進します。		
新規・継続の別	継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	健康増進法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
H29決算額	117,768 千円	H30決算額	114,750 千円	R1決算額	117,186 千円	
R2決算額	103,714 千円	R3当初予算額	134,108 千円	R4計画額	134,169 千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	128,747 千円	525				128,222

事業の概要等	
<p>日本人の死亡原因の第1位であるがんを早期に発見し早期治療を可能とするため、がん検診を実施するとともに、正しい健康知識の普及啓発を図る。</p> <p>令和4年度も受診率の向上を図るため、一定年齢の未受診者に対し個別通知による受診勧奨を行う。</p>	
○委託料	125,515 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・結核及び肺がん検診委託料</li> <li>・大腸がん検診委託料</li> <li>・胃がん検診委託料</li> <li>・子宮頸がん検診委託料</li> <li>・乳がん検診委託料</li> <li>・問診票発送等支援業務委託料</li> </ul>	
○その他	3,232 千円
特定財源の内訳	
○国庫補助金	・感染症予防事業費等補助金 525 千円

事業名		10-01 母子保健事業				
部課名		健康こども部 健康増進課	予算書ページ	231		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	04	衛生費	基本目標	01	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	
項	01	保健衛生費	基本施策	01	子どもの健やかな成長を支援する	
目	03	保健衛生普及費	施策の方向	02	子育て家庭への支援体制の充実を図ります。	
新規・継続の別		一部新規	補助・単独の別	補助	事務事業評価	拡大
根拠法令要綱等	母子保健法，児童福祉法					
H29決算額	153,851千円	H30決算額	141,561千円	R1決算額	135,610千円	
R2決算額	136,211千円	R3当初予算額	154,698千円	R4計画額	155,486千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	149,725千円	9,162	4,082		1,984	134,497



事業の概要等		
<p>妊娠，出産，子育ての各過程において，妊婦健診の助成，乳児健康診査の実施，入院を必要とする未熟児の医療費給付などを通して，子育て支援策の充実を図る。</p> <p>こんには赤ちゃん事業では，訪問時にエジンバラ産後うつ病質問票を確認することで，産婦の心理状態を把握し，支援を必要とする産婦の早期発見及び早期支援を図る。</p> <p>また，産後ケア事業では，産院等に宿泊して支援を受ける短期入所型の利用が可能な産科医療機関の拡充に努めるなど，産後の育児支援の充実を図る。</p>		
○委託料		108,029千円
・妊婦・乳児一般健康診査委託料		
・こんには赤ちゃん事業委託料		
・産後ケア事業委託料		
・その他		
○扶助費		22,446千円
・未熟児養育医療費	9,856千円	
・妊婦健康診査費用助成金	12,518	〃
・新生児聴覚検査費用助成金	72	〃
○その他		19,250千円
特定財源の内訳		
○負担金	・未熟児養育医療扶養義務者負担金	1,948千円
○国庫負担金	・未熟児養育医療費負担金	3,953
○国庫補助金	・子ども・子育て支援交付金	3,604
	・母子保健衛生費補助金	1,605
○県負担金	・未熟児養育医療費負担金	1,976
○県補助金	・子ども・子育て支援補助金	2,106
○雑入	・健康教室等参加者負担金	36



事業名		40-25 健康増進計画策定事業					
部課名		健康こども部 健康増進課	予算書ページ	233			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）		
款	04	衛生費	基本目標	03	健康で笑顔あふれるまちづくり		
項	01	保健衛生費	基本施策	01	子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する		
目	03	保健衛生普及費	施策の方向	03	健康づくりを推進します。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	—	
根拠法令要綱等	健康増進法						
H29決算額	0千円		H30決算額	0千円		R1決算額	0千円
R2決算額	0千円		R3当初予算額	0千円		R4計画額	1,582千円


R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	1,943千円					1,943

事業の概要等	
<p>「健康増進計画」は、平成29年度から令和8年度までの10年計画となっており、進行管理として、取組の進捗や目標の達成状況の評価と新たな課題の整理を行い、施策の見直しを行うこととされている。令和4年度は、市民意識調査等による指標の達成状況の確認及び国・県における計画との整合性を図り、総合的に現状の課題を分析するなど、健康増進計画の中間見直しを実施する。</p>	
○需用費	10千円
・消耗品費	5千円
・印刷製本費	5
○役務費	382千円
・通信運搬費	342千円
・手数料	40
○委託料	1,551千円
・健康増進計画見直し業務委託料	
・電算処理委託料	
特定財源の内訳	

事業名		60-01 がん患者等支援事業			 	
部課名		健康こども部 健康増進課	予算書ページ	235		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	04	衛生費	基本目標	03	健康で笑顔あふれるまちづくり	
項	01	保健衛生費	基本施策	01	子どもから高齢者までみんなの健康づくりを支援する	
目	03	保健衛生普及費	施策の方向	01	社会生活に必要な心身機能の維持・向上を図ります。	
新規・継続の別	新規		補助・単独の別	単独	事務事業評価	—
根拠法令要綱等	がん対策基本法，成田市がん患者ウィッグ及び胸部補整具購入費等助成規則，成田市免疫消失児等任意予防接種費助成規則					
H29決算額	0千円		H30決算額	0千円		R1決算額 0千円
R2決算額	0千円		R3当初予算額	0千円		R4計画額 1,570千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	1,460千円					1,460

事業の概要等	
<p>がん対策基本法の趣旨を踏まえ，令和4年度より，がん患者への支援を目的として，ウィッグの購入またはレンタル及び胸部補整具の購入に要する費用を助成することで，がん患者の精神的・経済的な負担を軽減するとともに，療養生活の質の向上を図り，就労継続などの社会参加を支援する。</p> <p>また，骨髄移植その他の医療行為により，定期予防接種で獲得していた免疫が低下または消失し，医師から再接種が必要と判断された方に対して，免疫を再獲得するためのワクチン接種に係る費用を助成することで，再接種が必要な方及びその保護者の経済的な負担を軽減するとともに，再接種が必要な方の社会参加の促進を図る。</p>	
○扶助費	1,460千円
・がん患者ウィッグ及び胸部補整具購入費等助成金	1,140千円
・免疫消失児等任意予防接種費助成金	320 〃
【がん患者ウィッグ及び胸部補整具購入費等助成金】	
・対象者	がんの治療を受けた者又は現に受けている者で，治療に伴う脱毛又は乳房の切除により，ウィッグ又は胸部補整具を必要とする者
・助成額	①ウィッグ 上限3万円 ②胸部補整具 上限2万円
【免疫消失児等任意予防接種費助成金】	
・対象者	骨髄移植や小児がん等の治療により，免疫が低下し，又は消失し，医師から再度予防接種を受ける必要があると判断された20歳未満の者
・助成額	本市で実施する定期予防接種の額を上限に医療機関が設定する金額

事業名		30-01 公害対策事業			
部課名		環境部 環境対策課	予算書ページ	240	
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）
款	04	衛生費	基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり
項	01	保健衛生費	基本施策	04	持続可能で地球環境にやさしいまちをつくる
目	06	環境保全費	施策の方向	03	公害を防止し，生活環境を保全します。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等	成田市環境基本条例，成田市公害防止条例，成田市地下水汚染に係る浄水器設置費補助金交付規則				
H29決算額	14,981 千円	H30決算額	16,888 千円	R1決算額	15,534 千円
R2決算額	18,326 千円	R3当初予算額	12,769 千円	R4計画額	12,769 千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	18,841 千円		266		222	18,353

事業の概要等	
<p>大気汚染等の状況を的確に測定・監視するために測定機器を整備するとともに，地下水汚染箇所の浄化対策を行う。</p> <p>また，市民が所有する飲用井戸で確認された地下水汚染について，浄水器の新規設置または設置から5年を超え機能を失った機器を更新する場合に補助を行う。</p>	
○報償費	16 千円
・光化学スモッグ発令看板掲示謝礼	
○委託料	11,018 千円
・大気汚染測定局保守管理委託料	
・気象観測装置・酸性雨自動分析装置保守点検委託料	
・地下水汚染除去対策事業委託料	
・その他	
○備品購入費	4,590 千円
・ムクドリ対策用備品	
・公害測定用備品	
○負担金補助及び交付金	300 千円
・地下水汚染に係る浄水器設置費補助金	
○その他	2,917 千円
特定財源の内訳	
○県補助金	・地下水汚染防止対策事業補助金 266 千円
○雑入	・地下水汚染対策事業負担金 222 千円

事業名		60-01 環境基本計画推進事業			  	
部課名		環境部 環境計画課		予算書ページ	243	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	04	衛生費	基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり	
項	01	保健衛生費	基本施策	04	持続可能で地球環境にやさしいまちをつくる	
目	06	環境保全費	施策の方向	02	環境負荷低減への取組みを進めます。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	—
根拠法令要綱等	環境基本法，成田市環境基本条例					
H29決算額	2,413千円		H30決算額	0千円		R1決算額 0千円
R2決算額	0千円		R3当初予算額	0千円		R4計画額 5,962千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	6,102千円					6,102

事業の概要等	
<p>平成29年度に策定した第三次成田市環境基本計画について，国による2050年までにカーボンニュートラルを目指すとした宣言や，本市が表明したゼロカーボンシティ宣言など，地球温暖化を取りまく情勢は以前と大きく変化していることから，計画の中間にあたる令和4年度は，各施策の実施状況や社会経済状況，本市総合計画「NARITAみらいプラン」及び国・県などの関連計画等の内容を踏まえ，抜本的な見直しを行う。</p>	
○委託料	6,102千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画策定委託料</li> <li>・電算処理委託料</li> </ul>	
特定財源の内訳	

事業名		60-25 地球温暖化対策推進事業			  	
部課名		環境部 環境計画課		予算書ページ	243	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうまいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	04	衛生費	基本目標	03	快適でうまいのあるまちづくり	
項	01	保健衛生費	基本施策	04	持続可能で地球環境にやさしいまちをつくる	
目	06	環境保全費	施策の方向	02	環境負荷低減への取組みを進めます。	
新規・継続の別	一部新規		補助・単独の別	補助	事務事業評価	拡大
根拠法令要綱等	環境基本法，地球温暖化対策の推進に関する法律，成田市住宅用省エネルギー設備設置費補助金交付規則					
H29決算額	19,675 千円		H30決算額	28,271 千円		R1決算額 14,103 千円
R2決算額	21,198 千円		R3当初予算額	17,665 千円		R4計画額 17,665 千円



R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	22,100 千円		8,740			13,360

事業の概要等		
<p>脱炭素社会に向けて，環境への負荷の低減を図り，地球温暖化の防止等環境の保全に寄与することを目的として，住宅用省エネルギー設備等を新たに設置・購入した市民に，その設置等に要する費用の一部を補助する。令和4年度は，新たに電気自動車及び電気自動車充放電設備の購入に要する費用への補助を開始する。</p>		
○負担金補助及び交付金（住宅用省エネルギー設備設置費補助金）		22,100 千円
・太陽光発電システム	7,650 千円	
（出力1kW当たり2万円，上限額9万円）	補助件数 85件	
・燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）	2,500 千円	
（上限額10万円）	補助件数 25件	
・定置用リチウムイオン蓄電池	10,000 千円	
（上限額10万円）	補助件数 100件	
・エネルギー管理システム機器（HEMS）	200 千円	
（上限額1万円）	補助件数 20件	
・太陽熱利用システム	50 千円	
（上限額5万円）	補助件数 1件	
・地中熱利用システム	100 千円	
（上限額10万円）	補助件数 1件	
・断熱窓	400 千円	
（補助対象経費の1/4，上限額8万円）	補助件数 5件	
・電気自動車	450 千円	
（上限額15万円）	補助件数 3件	
・電気自動車充放電設備	750 千円	
（補助対象経費の1/10，上限額25万円）	補助件数 3件	
特定財源の内訳		
○県補助金	・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金	8,740 千円

事業名		10-01 八富成田斎場管理運営事業						
部課名		環境部 環境衛生課		予算書ページ	244			
予算科目			施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）			
款	04	衛生費	基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり			
項	01	保健衛生費	基本施策	03	ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める			
目	07	斎場管理費	施策の方向	02	環境衛生対策の充実を図ります。			
新規・継続の別	一部新規		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続		
根拠法令要綱等	墓地、埋葬等に関する法律、成田市斎場の設置及び管理に関する条例、八富成田斎場管理運営連絡協議会設置規則							
H29決算額	165,316千円		H30決算額	196,088千円		R1決算額	195,925千円	
R2決算額	361,242千円		R3当初予算額	208,770千円		R4計画額	231,079千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	221,830千円			23,500	134,465	63,865

事業の概要等	
<p>市民生活に不可欠な火葬設備を備えた斎場を成田、八街、富里の3市で共同設置し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。斎場の使用料及び手数料の徴収、施設の管理運営は、地元の管理組合を指定管理者とし、地元との共存を図り良好な管理運営を行う。</p> <p>令和4年度は、長寿命化計画に基づき、令和2年度から引き続き火葬炉設備改修工事を行うとともに、受変電設備改修工事実施設計を行う。また、インターネット予約に対応した斎場管理システムを新規に導入する。</p>	
○委託料	131,620千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・八富成田斎場指定管理料</li> <li>・斎場管理システム導入等委託料</li> <li>・受変電設備改修工事実施設計委託料</li> <li>・その他</li> </ul>	
○工事請負費	50,270千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬炉設備改修工事（令和2年度～4年度継続事業 総事業費 146,160千円）</li> </ul>	
○その他	39,940千円
<p>【八富成田斎場施設概要】</p> <p>所在地：吉倉124番11 供用開始：平成4年12月1日 敷地面積：約14,908.6㎡</p> <p>構造：鉄筋コンクリート造平家建、一部地下1階</p>	
特定財源の内訳	
○負担金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八富成田斎場維持管理費負担金</li> </ul> 100,311千円
○使用料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八富成田斎場使用料</li> <li>・行政財産使用料</li> </ul> 34,070 〃
○手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬証明手数料</li> <li>・分骨証明手数料</li> </ul> 1 〃
○雑入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費等実費収入</li> </ul> 1 〃
○市債	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八富成田斎場整備事業債</li> </ul> 23,500 〃

事業名		15-01 成田富里いずみ清掃工場維持管理事業			 	
部課名		環境部 クリーン推進課	予算書ページ	249		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	04	衛生費	基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり	
項	02	清掃費	基本施策	03	ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める	
目	02	塵芥処理費	施策の方向	01	ごみを減らすとともに、資源としての利用を進めます。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 成田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
H29決算額	762,925 千円	H30決算額	657,521 千円	R1決算額	764,113 千円	
R2決算額	760,107 千円	R3当初予算額	739,545 千円	R4計画額	787,694 千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	772,415 千円				582,545	189,870

事業の概要等		
<p>一般廃棄物（可燃ごみ）を適正に処理するため、成田富里いずみ清掃工場の適切な運転維持管理を行う。</p>		
○委託料		769,826 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転維持管理委託料</li> <li>・スラグ等搬出物積出し委託料</li> <li>・一般廃棄物臨時焼却委託料</li> <li>・展開検査委託料</li> <li>・その他</li> </ul>		
○公課費		1,800 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚染負荷量賦課金</li> </ul>		
○その他		789 千円
<p>【成田富里いずみ清掃工場施設概要】</p>		
所在地：小泉344番地1	処理能力：212 t/日（106 t/日×2炉）	
供用開始：平成24年10月1日	発電能力：3,000kW	
敷地面積：約36,000㎡	処理方式：ガス化溶融炉（シャフト式）	
特定財源の内訳		
○負担金	・成田富里いずみ清掃工場維持管理費負担金	171,614 千円
○手数料	・ごみ処理手数料	337,051 〃
○雑入	・成田富里いずみ清掃工場売電収入	55,936 〃
	・有価物売払収入他	17,944 〃

事業名		20-01 リサイクルプラザ維持管理運営事業			 		
部課名		環境部 クリーン推進課	予算書ページ	250			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）		
款	04	衛生費	基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり		
項	02	清掃費	基本施策	03	ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める		
目	02	塵芥処理費	施策の方向	01	ごみを減らすとともに、資源としての利用を進めます。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律，成田市リサイクルプラザの設置及び管理に関する条例						
H29決算額	305,789千円		H30決算額	344,809千円		R1決算額	372,779千円
R2決算額	375,726千円		R3当初予算額	376,364千円		R4計画額	381,153千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
	382,906千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
					130,265	252,641

事業の概要等

リサイクルプラザにおける一般廃棄物の適正な処理と廃棄物の再資源化，不燃物処理施設の維持管理を行う。また，成田富里いずみ清掃工場から排出された溶融スラグを売却するとともに，草木の再資源化処理を行い，廃棄物の有効活用を図る。

- 委託料 325,414千円
  - ・粗大ごみ等処理委託料
  - ・不用品再生施設棟維持管理委託料
  - ・ストックヤード維持管理委託料
  - ・その他
- その他 57,492千円



【リサイクルプラザ施設概要】

所在地：小泉344番1      供用開始：平成10年4月      敷地面積：約7,800㎡  
 処理形態：①粗大ごみ処理施設棟      粗大ごみの破碎及び選別，可燃・不燃残さの分別  
 ②不用品再生施設棟      不用品の再生・売却，ペットボトルの圧縮・梱包

特定財源の内訳


○負担金	・成田富里いずみ清掃工場維持管理費負担金	5,660千円
○使用料	・行政財産使用料	54 〃
○手数料	・ごみ処理手数料	39,673 〃
○雑入	・有価物売払収入	60,975 〃
	・ペットボトル売払収入	12,335 〃
	・資源物売払収入	7,236 〃
	・太陽光発電売電収入	1,368 〃
	・再生品売払収入他	2,964 〃



事業名		75-05 新清掃工場関連付帯施設整備事業			 	
部課名		環境部 環境計画課		予算書ページ	255	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	04	衛生費	基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり	
項	02	清掃費	基本施策	03	ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める	
目	02	塵芥処理費	施策の方向	01	ごみを減らすとともに、資源としての利用を進めます。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	改善・見直し
根拠法令要綱等						
H29決算額	1,397千円		H30決算額	4,776千円		R1決算額 2,826千円
R2決算額	1,300千円		R3当初予算額	11,847千円		R4計画額 32,285千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	32,285千円					32,285


事業の概要等	
<p>成田富里いずみ清掃工場から発生する余熱等を利用した付帯施設の早期整備に向けて、事業区域を変更し、新たな整備方針を策定して事業の推進を図る。</p> <p>令和4年度は、新清掃工場関連付帯施設基本設計を実施する。</p>	
○報償費	1,300千円
・小泉地区対策委員会報償費	
○委託費	30,778千円
・基本設計委託料	
○その他	207千円
特定財源の内訳	

事業名		15-05 浄化センター整備事業			  		
部課名		環境部 環境計画課		予算書ページ	257		
予算科目			施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）		
款	04	衛生費	基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり		
項	02	清掃費	基本施策	03	ごみ処理の適正化と環境衛生の向上に努める		
目	03	し尿処理費	施策の方向	01	ごみを減らすとともに、資源としての利用を進めます。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	拡大	
根拠法令要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
H29決算額	0千円		H30決算額	0千円		R1決算額	13,090千円
R2決算額	47,500千円		R3当初予算額	21,160千円		R4計画額	180千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	300千円					300

事業の概要等	
<p>成田浄化センターは、供用開始から30年以上が経過し、腐食・摩耗等の全体的な進行により、老朽化が顕著になってきている。安定的かつ効率的な施設運営を行っていくため、再整備に向けた取り組みを進め、令和4年度は、事業者選定を実施する。</p> <p>○報償費 <span style="float: right;">300千円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者選定委員会委員謝礼</li> </ul> <p><b>【継続費の設定】</b></p> <p>事項：浄化センター整備事業  期間：令和4年度から令和7年度まで  総額：4,855,400千円  令和4年度：0千円</p> <p><b>【債務負担行為の設定】</b></p> <p>事項：浄化センター運転維持管理業務  期間：令和4年度から令和22年度まで  限度額：2,974,771千円（物価変動等による増減額を加えた額の範囲内）  令和4年度：0千円</p> <p><b>【スケジュール】</b></p> <p>令和4年度 事業者選定・契約  令和5年度 建設工事（実施設計を含む）・工事監理  令和6年度 建設工事・工事監理  令和7年度 建設工事・工事監理・試運転・供用開始</p>	
特定財源の内訳	

## 第5款 労働費

事業名		10-10 雇用促進奨励金交付事業					
部課名		経済部 商工課	予算書ページ	259			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）		
款	05	労働費	基本目標	03	商工業が活力をもたらすまちづくり		
項	01	労働諸費	基本施策	02	市民が快適に働くことのできる労働環境を整える		
目	01	労働諸費	施策の方向	01	働きたい人が働くことのできる環境をつくります。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	雇用保険法施行規則，成田市雇用促進奨励金交付規則						
H29決算額	7,459千円		H30決算額	5,253千円		R1決算額	3,230千円
R2決算額	3,361千円		R3当初予算額	5,500千円		R4計画額	5,500千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	4,772千円					4,772

事業の概要等	
<p>高年齢者や障がい者，母子家庭の母等の比較的就職が困難な人の雇用機会の拡大を図るため，対象者を雇用した事業主に対し，その賃金の一部を奨励金として交付する。</p> <p>○負担金補助及び交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用促進奨励金 <span style="float: right;">4,772千円</span></li> </ul> <p><b>【雇用促進奨励金概要】</b></p> <p>交付対象 ①高年齢者（55歳～65歳未満）          ②障がい者・重度障がい者          ③母子家庭の母，父子家庭の父          ④心身障がい労働能力がない夫の配偶者          ⑤定年後再雇用者          ※①～④は職業安定所の紹介で雇用した者          ※⑤は就業規則等により，退職年齢が60歳以上である事業所で10年以上勤務した者</p> <p>交付期間 12カ月（重度障がい者は18カ月）          交付金額 17,000円／月（重度障がい者は22,000円／月）</p>	
特定財源の内訳	

## 第6款 農林水産業費

事業名		11-10 水田農業構造改革対策事業		  	
部課名		経済部 農政課		予算書ページ	265
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）
款	06	農林水産業費	基本目標	02	元気な農林水産業を育むまちづくり
項	01	農業費	基本施策	02	安定した農業経営を支援する
目	02	農業総務費	施策の方向	03	農畜産物の生産を振興し、産地化を支援します。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等	飼料用米等拡大支援事業補助金交付要綱他				
H29決算額	180,223千円	H30決算額	189,460千円	R1決算額	168,587千円
R2決算額	165,168千円	R3当初予算額	166,555千円	R4計画額	166,555千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	315,765千円		73,148		495	242,122

### 事業の概要等

食生活の変化や高齢化等により、米の消費量は年々減少傾向にあることから、米の需給と価格の安定を図るため、需要に応じた主食用米の生産を進めるとともに、生産調整により生じた余剰水田を有効活用した大豆、麦、加工用米、飼料用米などの取組に対して補助金を交付する。




○負担金補助及び交付金 315,223千円

補助金名	金額（千円）	内訳・根拠等		
水田農業構造改革対策補助金	238,420	42,414	作物別補助金	飼料作物 90,165㎡ × 15円以内/㎡
				WCS 1,361,855㎡ × 15円以内/㎡
				大豆・麦 1,071,536㎡ × 18円以内/㎡
				地域振興作物 673,036㎡ × 2円以内/㎡
	59,418	加工用米補助金	加工用米 37,136俵 × 1,600円以内	
	127,897	飼料用米補助金	主食用品種 6,769,248㎡ × 14.5円以内/㎡	
			多収品種 1,982,832㎡ × 15円以内/㎡	
2,010	米粉用米補助金	米粉用米 133,980㎡ × 15円以内/㎡		
6,681	団地化加算	大豆・麦 668,144㎡ × 10円以内/㎡		
乾田化事業補助金	3,655	対象事業費の1/2（騒音地域は3/4）		
飼料用米等拡大支援事業補助金	64,354	13,114	担い手水田利活用高度化対策型	
		51,240	飼料用米等生産支援型	
経営所得安定対策等推進事業費補助金	8,794			
合計	315,223			

○その他 542千円

### 特定財源の内訳

○県補助金	・ 飼料用米等拡大支援事業補助金	64,354千円
	・ 経営所得安定対策等推進事業費交付金	8,794 "
○雑入	・ 経営所得安定対策等推進事業費補助金	495 "

事業名		20-07 有害鳥獣駆除事業			  	
部課名		経済部 農政課	予算書ページ	266		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）	
款	06	農林水産業費	基本目標	02	元気な農林水産業を育むまちづくり	
項	01	農業費	基本施策	01	豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ	
目	02	農業総務費	施策の方向	02	森林や農村環境を保全し、多面的機能の発揮を図ります。	
新規・継続の別	一部新規		補助・単独の別	補助	事務事業評価	拡大
根拠法令要綱等	鳥獣被害防止総合対策交付金実施要領, 成田市イノシシ等防護柵設置費補助金交付規則他					
H29決算額	2,907 千円		H30決算額	3,206 千円		R1決算額 3,884 千円
R2決算額	3,616 千円		R3当初予算額	4,288 千円		R4計画額 4,373 千円

R4予算額	事業費	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	4,310 千円		1,094			3,216

事業の概要等	
<p>イノシシ・ハクビシン・カラス等の有害鳥獣による農作物被害が農業者にとって大きな問題となっており、特に最近市内においてイノシシの生息範囲が拡大し、生息数を減少させることが喫緊の課題となっている。</p> <p>令和4年度は、イノシシ等防護柵設置費補助金を新設し、防護柵を設置する農業者に対し、設置費用の一部を補助することにより、有害鳥獣による農作物被害の防止・軽減を図る。</p>	
○需用費	245 千円
・消耗品費（イノシシ用箱わな、くくりわな等）	
○委託料	3,786 千円
・有害鳥獣駆除委託料	
・バス運行委託料	
○負担金補助及び交付金	279 千円
・イノシシ等防護柵設置費補助金	
【イノシシ等防護柵設置費補助金の概要】	
市内に住所を有する農業者が、市内の圃場に防護柵を設置する際に要する経費の一部を補助する。補助金の額は、対象経費の2分の1以内とし、2万円を上限とする。	
特定財源の内訳	
○県補助金	764 千円
・野生獣管理事業補助金	
・鳥獣被害防止総合対策交付金 330 〃	

事業名		20-08 園芸振興対策推進事業		  	
部課名		経済部 農政課	予算書ページ	266	
予算科目		施策の体系			
会計	01 一般会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）	
款	06 農林水産業費	基本目標	02	元気な農林水産業を育むまちづくり	
項	01 農業費	基本施策	02	安定した農業経営を支援する	
目	02 農業総務費	施策の方向	02	農地集積の推進と効率的な農業経営を支援します。	
新規・継続の別	継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	園芸振興対策推進事業実施要領				
H29決算額	36,563千円	H30決算額	33,631千円	R1決算額	31,817千円
R2決算額	34,346千円	R3当初予算額	29,280千円	R4計画額	29,280千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源
	40,000千円				40,000

事業の概要等

農業を取り巻く環境が大きく変化する中、市内園芸出荷組合等の生産・流通活動を支援するため、経営規模の拡大・生産性の向上・経営の効率化等に資する機械施設購入費等に補助を行い、本市園芸農業の発展を図る。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による販路の縮小などに伴い、農業収入が減少した事例などを考慮し、園芸機械の導入に際し幅広く支援を行うことにより、生産コストの削減による農業所得の向上を図る。

○負担金補助及び交付金 40,000千円

・園芸振興対策推進事業補助金

補助対象者 : 園芸出荷組合等（25件）

補助対象事業費 : 80,000千円

補助金 : 40,000千円（補助対象事業費×50%以内）

特定財源の内訳

事業名		20-14 集団営農用機械施設整備事業			  	
部課名		経済部 農政課	予算書ページ	267		
予算科目		施策の体系				
会計	01 一般会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）		
款	06 農林水産業費	基本目標	02	元気な農林水産業を育むまちづくり		
項	01 農業費	基本施策	02	安定した農業経営を支援する		
目	02 農業総務費	施策の方向	02	農地集積の推進と効率的な農業経営を支援します。		
新規・継続の別	継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	集団営農用機械施設整備事業補助金交付要領					
H29決算額	31,091千円	H30決算額	48,070千円	R1決算額	39,646千円	
R2決算額	39,948千円	R3当初予算額	32,000千円	R4計画額	32,000千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	70,000千円					70,000




事業の概要等	
<p>機械施設の共同利用等を行い稲作のコスト低減を図るため、機械施設の導入について、営農集団及び認定農業者に対して補助する。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による米価の大幅な下落に伴い、農業収入が大きく減少した令和3年の事例を踏まえ、機械施設導入に際し幅広く支援を行うことにより、生産コストの削減による農業所得の向上を図ることで、水稻農家が希望・情熱を持って営農できる環境づくりを行う。</p>	
○負担金補助及び交付金	70,000千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団営農用機械施設整備事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>補助対象者 : 営農集団（10件）</li> <li>補助対象事業費 : 83,576千円</li> <li>補助金 : 41,785千円（補助対象事業費×50%以内）</li> </ul> </li> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助対象者 : 認定農業者（8件）</li> <li>補助対象事業費 : 70,545千円</li> <li>補助金 : 28,215千円（補助対象事業費×40%以内）</li> </ul> </li> </ul>	
特定財源の内訳	

事業名		25-55 森林保全事業		  	
部課名		経済部 農政課		予算書ページ 268	
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）
款	06	農林水産業費	基本目標	02	元気な農林水産業を育むまちづくり
項	01	農業費	基本施策	01	豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ
目	02	農業総務費	施策の方向	02	森林や農村環境を保全し、多面的機能の発揮を図ります。
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等 造林補助事業補助金交付基準，森林保全活動推進事業実施要領他					
H29決算額		958 千円	H30決算額		2,499 千円
R2決算額		16,615 千円	R3当初予算額		36,858 千円
			R1決算額		8,327 千円
			R4計画額		47,435 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	43,661 千円		5,783		15,981	21,897

事業の概要等	
<p>森林の有する災害防止等の公益的機能の高度発揮，木材需要の多様化等，森林に対する要請が高まっており，その重要性は益々増大していることから自然的条件に適応した森林造成を計画的，効果的に推進し，資源としての森林を整備することにより，森林の有する多面的機能の高度発揮と地域社会の健全な発展を目指す。</p> <p>令和4年度は，昨年度に引き続き，道路や電線などの重要インフラ施設付近の森林について整備を行い，台風により発生する風倒木等の被害の未然防止を図る。</p>	
○委託料	21,139 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>重要インフラ施設周辺森林現況調査委託料</li> <li>重要インフラ施設周辺森林整備委託料</li> <li>里山保全ボランティア研修委託料</li> <li>測量調査委託料</li> </ul>	
○使用料及び賃借料	83 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林クラウド回線使用料</li> </ul>	
○負担金補助及び交付金	3,334 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備事業補助金</li> <li>森林保全活動推進事業補助金</li> <li>森林・山村多面的機能発揮対策事業補助金</li> </ul>	1,009 千円 2,163 〃 162 〃
○積立金	19,044 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林環境整備基金積立金</li> </ul>	
○その他	61 千円
特定財源の内訳	
○県補助金	504 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備事業補助金</li> <li>災害に強い森づくり事業補助金</li> </ul>	504 千円 5,279 〃
○財産運用収入	1 〃
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林環境整備基金利子</li> </ul>	
○基金繰入金	15,980 〃
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林環境整備基金繰入金</li> </ul>	





事業名		25-01 農地・水保全管理事業		  	
部課名		経済部 農政課	予算書ページ	276	
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）
款	06	農林水産業費	基本目標	02	元気な農林水産業を育むまちづくり
項	01	農業費	基本施策	01	豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ
目	04	農地費	施策の方向	02	森林や農村環境を保全し、多面的機能の発揮を図ります。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律他				
H29決算額	55,538 千円		H30決算額	61,980 千円	
R2決算額	76,546 千円		R3当初予算額	79,361 千円	
R1決算額			R4計画額	72,088 千円	
				79,361 千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源 一般財源
	75,669 千円		55,563		20,106

事業の概要等	
<p>農業者や地域住民の参画を得て、資源（農地・農道・農業用水等）の適切な保全管理を行うために地域共同で行う取組に対し、交付金を交付することにより活動を促進する。</p> <p>令和4年度から、新たに1組織が事業開始予定であり、助成対象は29組織となる。</p>	
○委託料	2,638 千円
・現地確認調査委託料	
○負担金補助及び交付金	73,031 千円
・多面的機能支払交付金	
【交付単価】	
農地維持支払…農道・排水路の草刈や泥上げ等 田：3,000円/10a, 畑：2,000円/10a	
資源向上支払（共同活動）…農道・水路等の軽微な補修や植栽による景観形成等	
（5年目まで） 田：2,400円/10a, 畑：1,440円/10a	
（6年目以降または長寿命化に取り組む場合） 田：1,800円/10a, 畑：1,080円/10a	
※多面的機能の増進を図る活動に取り組めない組織は、交付単価に5/6を乗じる	
資源向上支払（長寿命化）…農道の舗装、土水路からコンクリート水路への更新等	
（基本単価） 田：4,400円/10a, 畑：2,000円/10a	
（直営施工を行わない場合） 田：3,666円/10a, 畑：1,666円/10a	
【負担割合】 国：50%（県を通じて交付）， 県：25%， 市：25%	
特定財源の内訳	
○県補助金	54,772 千円
・多面的機能支払交付金	
・多面的機能支払推進交付金	791 〃


## 第7款 商工費

事業名		15-01 中小企業等緊急支援事業		 	
部課名		経済部 商工課		予算書ページ	278
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）
款	07	商工費	基本目標	03	商工業が活力をもたらすまちづくり
項	01	商工観光費	基本施策	01	商工業の活性化を図る
目	01	商工総務費	施策の方向	02	地域経済を支える中小企業の経営を支援します。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価
—					
根拠法令要綱等					
H29決算額		0千円		H30決算額	
R2決算額		1,818,439千円		R3当初予算額	
				0千円	
				R4計画額	
				0千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	380,391千円	157,358				223,033

事業の概要等	
<p>令和2年度及び令和3年度に発行したプレミアム付商品券の第3弾として、市内での消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少している市内事業者を支援するため、地域応援プレミアム付商品券の発行を行う。</p> <p>○委託料 ・地域応援プレミアム付商品券発行業務委託料 380,391千円</p> <p><b>【地域応援プレミアム付商品券】</b>          販売価格：1冊13,000円分の商品券を1万円で販売（プレミアム率 30%）          発行総額：13億円          発行冊数：10万冊          商品券の内容：共通券10,000円（1,000円券×10枚）、小規模店専用券3,000円（500円券×6枚）          使用期間：8月～1月（予定）          購入対象者：市内在住，在勤，在学者          購入方法：事前申込み（但し，申込みが10万冊を超えた場合は抽選）</p>	
特定財源の内訳	
○国庫補助金	・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 157,358千円



事業名		15-05 中小企業資金融資事業			 	
部課名		経済部 商工課		予算書ページ	280	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）	
款	07	商工費	基本目標	03	商工業が活力をもたらすまちづくり	
項	01	商工観光費	基本施策	01	商工業の活性化を図る	
目	02	商工業振興費	施策の方向	02	地域経済を支える中小企業の経営を支援します。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等 中小企業信用保険法，成田市中小企業資金融資条例						
H29決算額		1,286,567千円	H30決算額		1,277,266千円	R1決算額 1,277,212千円
R2決算額		1,267,929千円	R3当初予算額		1,261,918千円	R4計画額 1,264,977千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	1,262,293千円				1,200,000	62,293

事業の概要等						
<p>市内で1年以上継続して事業を営んでいる中小企業者や新たに事業を行おうとする創業者に対し，中小企業信用保険法及び千葉県信用保証協会の信用保証に基づき，金融機関から資金の融資を行うとともに，制度を利用し融資を受けた中小企業者に対し，利子補給を行う。</p> <p>また，日本政策金融公庫から融資を受けた中小企業者に対し，利子補給を行う。</p>						
○負担金補助及び交付金						61,609千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業資金融資利子補給補助金</li> </ul>						
【中小企業資金融資】						
資金の種類		用途	融資限度額	融資期間	利子補給補助金見込	
一般事業資金	設備 運転	中小企業者が事業の経営上必要とする資金	3,000万円	10年以内	835件	58,965千円
			1,500万円	5年以内		
季節資金	中小企業者が季節商品の仕入れ等に要する資金	300万円	6カ月以内			
小口零細企業保証制度事業資金		小規模企業者が事業の経営上必要とする資金	2,000万円	10年以内		
環境経営支援資金	設備 運転		環境の保全に取り組む中小企業者が事業の経営上必要とする資金	1,000万円		
		3,000万円		10年以内		
事業転換資金	設備 運転	中小企業者が事業の転換又は多角化を行うために必要とする資金	1,500万円	7年以内		
			750万円	5年以内		
創業支援資金	設備 運転	創業者が事業の開始に必要な資金又は新規中小企業者が経営上必要とする資金	1,500万円	7年以内		
			750万円	5年以内		
【日本政策金融公庫融資利子補給】						
補助対象資金：小規模事業者経営改善資金（マル経融資），新創業融資制度						
利子補給補助金見込：141件 2,644千円						
○貸付金						1,200,000千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業資金融資預託金</li> </ul>						
○その他						684千円
特定財源の内訳						
○貸付金元利収入						1,200,000千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業融資貸付預託金元金収入</li> </ul>						

事業名		06-01 観光に関する経費			  	
部課名		シティプロモーション部 観光プロモーション課	予算書ページ	281		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）	
款	07	商工費	基本目標	01	地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくり	
項	01	商工観光費	基本施策	01	成田特有の観光資源の更なる活用を図る	
目	03	観光費	施策の方向	02	新たな観光資源を発掘し観光客誘致に活用します。	
新規・継続の別		一部新規	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		51,826千円	H30決算額		62,929千円	R1決算額 51,612千円
R2決算額		7,249千円	R3当初予算額		70,589千円	R4計画額 47,089千円


R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	69,516千円	4,137	804		150	64,425

事業の概要等	
<p>成田エアポートツーデーマーチ，成田伝統芸能まつり，NARITA花火大会，各観光関連団体等への負担金・補助金の交付を行い，本市の観光振興を図る。</p> <p>令和4年度は，例年9月に行われる成田伝統芸能まつりに加え，本市に関係の深い歌舞伎を活用した新たなイベントとして，成田伝統芸能まつり「春の陣」を開催するほか，成田祇園祭の開催時期に合わせ，「関東の山車人形展」等を開催し，観光客の誘致を促進する。また，令和3年度に失効期限を迎える宿泊施設バリアフリー化改修補助金を延長して，共生社会の実現を推進する。</p>	
○報償費	8,600千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>関東の山車人形展出展者等謝礼 開催予定日：6月上旬～7月上旬</li> </ul>	
○負担金補助及び交付金	53,265千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>成田エアポートツーデーマーチ負担金 3,500千円 開催予定日：5月14日～15日</li> <li>成田伝統芸能まつり開催負担金 38,000千円 開催予定日：5月28日～29日，9月17日～18日</li> <li>NARITA花火大会補助金 8,000千円 開催予定日：10月中旬</li> <li>宿泊施設バリアフリー化改修補助金 2,500千円</li> <li>その他 1,265 〃</li> </ul>	
○その他	7,651千円
特定財源の内訳	
○国庫補助金	・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4,137千円
○県委託金	・首都圏自然歩道管理委託金 804 〃
○寄附金	・観光寄附金 130 〃
○雑入	・バス利用料金 20 〃

事業名		15-05 観光PR事業			  		
部課名		シティプロモーション部 観光プロモーション課	予算書ページ	287			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）		
款	07	商工費	基本目標	01	地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくり		
項	01	商工観光費	基本施策	01	成田特有の観光資源の更なる活用を図る		
目	03	観光費	施策の方向	01	既存の観光資源の更なる活用を図ります。		
新規・継続の別	一部新規		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等							
H29決算額	19,091千円		H30決算額	26,336千円		R1決算額	29,162千円
R2決算額	17,398千円		R3当初予算額	23,418千円		R4計画額	23,428千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	23,269千円				104	23,165

事業の概要等	
<p>観光キャラクター「うなりくん」を活用し、積極的に各種イベント等で観光情報の発信を行うほか、テレビ、ラジオ広告などにより、広域的に本市のPRを実施する。</p> <p>令和4年度は、より広域に長期間、効果的なPRが可能な検索連動型広告やSNS広告などを活用するほか、ふるさと納税サイトに観光PR広告を掲載することなどにより、本市の看板イベントなどの観光資源を広くPRして誘客を推進し、経済活動の活性化を図る。</p>	
○報酬	5,472千円
・会計年度任用職員報酬	
○役務費	6,089千円
・広告料	5,990千円
WEB広告（検索連動型広告，SNS広告他）	
ふるさと納税サイトへの観光PR広告他	
・その他	99千円
○委託料	7,800千円
・観光PR委託料	
うなりくんを活用した観光PR事業他	
・観光情報掲載委託料	
・観光番組放送委託料	
○その他	3,908千円
特定財源の内訳	
○財産運用収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・著作隣接権運用収入 3千円</li> <li>・商品化権使用許諾配分金 1</li> </ul>
○雑入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光キャラクターグッズ販売料 69</li> <li>・観光キャラクターデータ使用料配分金 10</li> <li>・観光キャラクター主題歌使用料配分金 1</li> <li>・本人負担雇用保険料 20</li> </ul>

事業名		18-20 成田ブランド推進戦略事業			  	
部課名		シティプロモーション部 観光プロモーション課	予算書ページ	288		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）	
款	07	商工費	基本目標	01	空港を生かした活気あふれるまちづくり	
項	01	商工観光費	基本施策	02	空港を活用し新たな成田の魅力を発信する	
目	03	観光費	施策の方向	02	国内外での成田の知名度向上を図ります。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		79,206 千円	H30決算額		90,725 千円	R1決算額 104,962 千円
R2決算額		115,402 千円	R3当初予算額		128,023 千円	R4計画額 125,892 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
	179,196 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源 179,196

事業の概要等	
<p>令和4年度は、ふるさと寄附金（納税）制度による本市の特産品や体験型の返礼品を活用したPRを強化していくため、新たなポータルサイトを追加して運用を行うとともに、魅力ある返礼品の更なる充実を図る。</p> <p>また、「成田市御案内人市川海老蔵プロジェクト」では、市川海老蔵丈の市内大型イベントへの出演など、イベント開催との相乗効果により誘客と情報発信を強化し、成田ブランドの醸成を図るほか、観光需要の回復に向け、空港周辺自治体などと連携し、トランジット&amp;ステイプログラムの運営及びプロモーションを継続し、「観光立市なりた」として更なる知名度の向上を図る。</p>	
○委託料	153,968 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>成田ブランド推進戦略事業委託料</li> <li>成田市御案内人市川海老蔵プロジェクト委託料</li> <li>ふるさと寄附金推進業務委託料</li> </ul>	
○負担金補助及び交付金	5,000 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>トランジットツアー運営事業負担金 4,000 千円</li> <li>地域発信型成田ブランドPRイベント支援事業補助金 1,000 千円</li> </ul>	
○その他	20,228 千円
特定財源の内訳	



事業名		10-05 消費生活センター運営事業			12 つくる責任 つかう責任	
部課名		経済部 商工課	予算書ページ	290		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	07	商工費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり	
項	01	商工観光費	基本施策	02	犯罪や事故などが起こりにくいまちをつくる	
目	04	消費者行政推進費	施策の方向	02	消費生活における被害防止対策を推進します。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	消費者安全法, 消費者基本法					
H29決算額	8,003 千円		H30決算額	6,807 千円		R1決算額 8,002 千円
R2決算額	9,544 千円		R3当初予算額	11,059 千円		R4計画額 11,059 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	11,059 千円		2,260			8,799

事業の概要等	
<p>消費者を取り巻く環境は、社会のグローバル化や高度情報化、商品やサービスの多様性、少子高齢化の進行により大きく変化しており、消費者被害が年々多様化・複雑化していることから、消費生活センターに5人の消費生活相談員を配置し、各種苦情や問い合わせなどの相談に対して解決のためのあっせん等を行い、消費者被害の未然防止や拡大防止を図る。</p>	
○報酬	8,260 千円
・消費生活相談員報酬	
○職員手当等	1,648 千円
○報償費	60 千円
・講師謝礼	
○負担金補助及び交付金	19 千円
・千葉県消費生活センター連絡協議会負担金	7 千円
・消費生活相談研修負担金	12 〃
○その他	1,072 千円
【消費生活センター概要】	
相談日：月～金曜日（祝日を除く）	
相談時間：午前9時30分～午後4時30分	
特定財源の内訳	
○県補助金	2,260 千円
・消費者行政推進事業補助金	



## 第8款 土木費

事業名		20-01 建築物耐震化促進事業		 	
部課名		土木部 建築住宅課		予算書ページ	295
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）
款	08	土木費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり
項	01	土木管理費	基本施策	01	災害などに強いまちをつくる
目	02	建築指導費	施策の方向	02	自然災害対策の推進を図ります。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等	建築物の耐震改修の促進に関する法律，成田市住宅耐震診断等補助金交付規則他				
H29決算額	3,372 千円		H30決算額	1,686 千円	
R2決算額	1,148 千円		R3当初予算額	5,375 千円	
			R1決算額	2,121 千円	
			R4計画額	5,375 千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	4,975 千円	2,487	1,203			1,285

事業の概要等	
<p>既存建築物の耐震化を図り，災害に強いまちづくりを促進するため，住宅耐震相談会を実施するほか，戸建住宅の耐震診断及び改修，マンションの予備診断に対し補助する。</p> <p>また，災害に強いまちづくりを更に促進するため，引き続き，危険コンクリートブロック塀等の除却工事費に対し補助する。</p>	
○報償費	235 千円
・住宅耐震相談会相談員謝礼	
○負担金補助及び交付金	4,740 千円
・住宅耐震診断等補助金	740 千円
・住宅耐震改修補助金	3,200 〃
・危険コンクリートブロック塀等除却工事費補助金	800 〃
特定財源の内訳	
○国庫補助金	・社会資本整備総合交付金 2,487 千円
○県補助金	・住宅・建築物の耐震化サポート事業補助金 1,203 〃

事業名		10-05 道路等補修事業			 	
部課名		土木部 道路管理課		予算書ページ	299	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）	
款	08	土木費	基本目標	02	魅力ある機能的なまちづくり	
項	02	道路橋りょう費	基本施策	02	道路ネットワークと交通環境を整える	
目	02	道路維持費	施策の方向	03	道路施設の適切な維持管理に努めます。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		266,499千円	H30決算額		229,443千円	R1決算額 461,548千円
R2決算額		469,776千円	R3当初予算額		523,637千円	R4計画額 266,850千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	324,098千円	13,800		120,300		189,998

事業の概要等	
<p>生活基盤となる道路の安全を維持するため、道路施設の修繕を行う。</p> <p>令和4年度は、舗装修繕計画、法面・擁壁修繕計画等に基づき修繕工事を実施するほか、視覚障害者誘導用ブロックの設置工事を実施する。</p>	
○需用費	58,000千円
・修繕料	
○委託料	31,836千円
・舗装修繕計画見直し業務委託料	
・路面下空洞調査委託料	
・トンネル修繕工事実施設計委託料	
・廃棄物処理委託料	
○工事請負費	232,262千円
・舗装修繕工事（加良部飯仲線他）	
・法面等修繕工事	
・視覚障害者誘導用ブロック設置工事	
○原材料費	2,000千円
・補修用原材料	
特定財源の内訳	
○国庫補助金	5,000千円
・社会資本整備総合交付金	
・道路メンテナンス事業費補助金	8,800
○市債	120,300
・道路等補修事業債	

事業名		10-08 橋りょう補修事業			 	
部課名		土木部 道路管理課		予算書ページ	299	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）	
款	08	土木費	基本目標	02	魅力ある機能的なまちづくり	
項	02	道路橋りょう費	基本施策	02	道路ネットワークと交通環境を整える	
目	02	道路維持費	施策の方向	03	道路施設の適切な維持管理に努めます。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		261,245 千円	H30決算額		676,236 千円	R1決算額 303,641 千円
R2決算額		227,605 千円	R3当初予算額		166,431 千円	R4計画額 413,331 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	440,820 千円	100,100		154,800		185,920

事業の概要等	
<p>本市が管理する232橋について、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、計画的かつ予防的に修繕工事を実施するとともに、法令に基づく5年に1度の定期点検を実施する。</p>	
○委託料	291,042 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋りょう長寿命化修繕実施設計委託料（押畑橋他2橋）</li> <li>・橋りょう長寿命化修繕工事委託料（阿利耶橋他2橋）</li> <li>・橋りょう点検調査委託料（赤坂7号橋他47橋）</li> <li>・廃棄物処理委託料</li> </ul>	
○工事請負費	149,778 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋りょう長寿命化修繕工事（郷部大橋他4橋）</li> </ul>	
特定財源の内訳	
○国庫補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路メンテナンス事業費補助金 100,100 千円</li> </ul>
○市債	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋りょう整備事業債 154,800 〃</li> </ul>

事業名		10-10 生活道路整備事業			 	
部課名		土木部 土木課		予算書ページ	301	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）	
款	08	土木費	基本目標	02	魅力ある機能的なまちづくり	
項	02	道路橋りょう費	基本施策	02	道路ネットワークと交通環境を整える	
目	03	道路新設改良費	施策の方向	01	主要幹線道路及び生活道路の整備を進めます。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		949,203 千円	H30決算額		769,690 千円	R1決算額 696,531 千円
R2決算額		440,156 千円	R3当初予算額		290,810 千円	R4計画額 440,953 千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	324,869 千円			176,900		147,969

事業の概要等	
<p>日常生活で利用する生活道路について、利便性、安全性の向上を目的とした整備を行うとともに、歩道整備等による通学路の安全対策を推進する。</p> <p>令和4年度は、19路線の実施設計及び道路改良工事等を実施する。</p>	
○委託料	68,985 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計委託料，測量調査委託料（飯仲並木町2号線他3路線）</li> <li>・登記用図面作成等委託料</li> <li>・通学路安全対策工事委託料（並木町大久保台線 七栄県道踏切）</li> <li>・その他</li> </ul>	
○工事請負費	194,300 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事（台方木ノ下鳥居河岸線他12路線）</li> </ul>	
○公有財産購入費	35,499 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地購入費</li> </ul>	
○負担金補助及び交付金	16,172 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北羽鳥町田線整備事業負担金 16,170 千円</li> <li>・その他 2 〃</li> </ul>	
○補償補填及び賠償金	7,000 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物件移転等補償費</li> <li>・電気工作物移設補償費</li> </ul>	
○その他	2,913 千円
<p>【債務負担行為の設定】</p> <p>事項：北羽鳥町田線整備事業 期間：令和5年度</p> <p>限度額：4,422千円</p>	
特定財源の内訳	
○市債	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道整備事業債 176,900 千円</li> </ul>

事業名		10-20 幹線道路整備事業			 	
部課名		土木部 土木課		予算書ページ	302	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）	
款	08	土木費	基本目標	02	魅力ある機能的なまちづくり	
項	02	道路橋りょう費	基本施策	02	道路ネットワークと交通環境を整える	
目	03	道路新設改良費	施策の方向	01	主要幹線道路及び生活道路の整備を進めます。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等		成田市幹線道路網整備計画、成田市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例				
H29決算額		628,040 千円	H30決算額	408,484 千円	R1決算額	690,604 千円
R2決算額		853,306 千円	R3当初予算額	680,105 千円	R4計画額	761,773 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	585,160 千円	84,690		363,500		136,970

事業の概要等	
<p>国道、県道及び公共施設等との連結的役割を担う幹線道路について、市内外のアクセス性、利便性の向上、通学路の安全対策などを目的とし、成田市幹線道路網整備計画に基づき計画的に整備する。</p> <p>令和4年度は、11路線の実施設計及び道路改良工事等を実施するとともに、令和3年度に引き続き、自転車通行帯等の整備を行う。</p>	
○委託料	36,600 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計委託料，測量調査委託料（小泉荒海線他3路線）</li> <li>・登記用図面作成等委託料</li> <li>・草刈委託料</li> </ul>	
○工事請負費	369,925 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事（西三里塚大清水線他7路線）</li> <li>・自転車通行帯等整備工事</li> </ul>	
○公有財産購入費	130,287 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地購入費</li> </ul>	
○補償補填及び賠償金	45,343 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物件移転等補償費</li> <li>・電気工作物移設補償費</li> </ul>	
○その他	3,005 千円
特定財源の内訳	
○国庫補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本整備総合交付金 17,250 千円</li> <li>・道路交通安全施設等整備事業費補助金 66,000 〃</li> <li>・都市構造再編集中支援事業補助金 1,440 〃</li> </ul>
○市債	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道整備事業債 363,500 〃</li> </ul>

事業名	10-30 東関東自動車道スマートインターチェンジ連絡道路整備事業			  	
部課名	土木部 土木課		予算書ページ	303	
予算科目	施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）
款	08	土木費	基本目標	02	魅力ある機能的なまちづくり
項	02	道路橋りょう費	基本施策	02	道路ネットワークと交通環境を整える
目	03	道路新設改良費	施策の方向	01	主要幹線道路及び生活道路の整備を進めます。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価
根拠法令要綱等	成田市幹線道路網整備計画				
H29決算額	0千円		H30決算額	0千円	
R2決算額	0千円		R3当初予算額	80,900千円	
			R4計画額	151,750千円	



R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	137,450千円			62,200	61,100	14,150

事業の概要等	
<p>吉倉地区周辺における新たなまちづくりなどに伴う、将来の交通需要の増加に適切に対応するため、国道51号から県道成田小見川鹿島港線を連絡する市道東町吉倉線及び大学病院と構想駅方面を連絡する市道吉倉川栗2号線を整備し、円滑な交通網を確保する。</p> <p>また、東和田地先においては、市道東町吉倉線と国による設置を構想する（仮称）成田（東関東）スマートインターチェンジを連絡し、広域道路ネットワークの強化を図る。</p> <p>令和4年度は、幹線道路の整備に向けた実施設計、測量調査及び地質調査を実施するとともに、スマートインターチェンジ設置に向け、継続している国との協議に必要な設計を引き続き行う。</p>	
○委託料	137,450千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計委託料</li> <li>・測量調査委託料</li> <li>・地質調査委託料</li> </ul>	
<p>【幹線道路整備概要】</p> <p>市道東町吉倉線 延長3.0km</p> <p>市道吉倉川栗2号線 延長1.1km</p>	
特定財源の内訳	
○市債	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道整備事業債</li> </ul>
○基金繰入金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと基金繰入金</li> </ul>
	62,200千円
	61,100 "

事業名		20-01 準用河川整備事業			 	
部課名		土木部 土木課		予算書ページ	305	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	08	土木費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり	
項	03	河川費	基本施策	01	災害などに強いまちをつくる	
目	01	河川総務費	施策の方向	02	自然災害対策の推進を図ります。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		123,826 千円	H30決算額		116,481 千円	R1決算額 79,266 千円
R2決算額		93,344 千円	R3当初予算額		102,495 千円	R4計画額 128,945 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	127,591 千円			81,100		46,491




事業の概要等	
<p>水害に備えるとともに、良好な水辺環境を維持するため、準用河川（10河川）の管理を適切に行い、老朽化の進行等を踏まえて河川改修及び護岸工事を実施する。</p> <p>令和4年度は、天昌寺川2工区、長津川及び大須賀川の護岸工事等を実施するほか、江川他2河川の浚渫工事を行う。</p>	
○需用費	3,094 千円
・光熱水費	94 千円
・修繕料	3,000 〃
○委託料	28,173 千円
・実施設計委託料（天昌寺川4工区）	
・登記用図面作成委託料	
・草刈委託料	
○工事請負費	93,950 千円
・準用河川整備工事（天昌寺川2工区、長津川、大須賀川）	
・準用河川改修工事（江川、浄向川、大須賀川）	
○公有財産購入費	1,840 千円
・用地購入費	
○その他	534 千円
特定財源の内訳	
○市債	81,100 千円
・河川改修事業債	

事業名		10-01 都市計画策定事業			 	
部課名		都市部 都市計画課		予算書ページ	308	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）	
款	08	土木費	基本目標	02	魅力ある機能的なまちづくり	
項	04	都市計画費	基本施策	01	地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る	
目	01	都市計画総務費	施策の方向	01	秩序ある効率的なまちづくりを推進します。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	都市計画法					
H29決算額	503 千円		H30決算額	5,658 千円		R1決算額 5,412 千円
R2決算額	1,958 千円		R3当初予算額	7,491 千円		R4計画額 8,404 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	5,464 千円				5,178	286




事業の概要等	
<p>社会経済情勢の変化に対応し、計画的な土地利用の検討、適切な都市計画の推進を図る。</p> <p>令和4年度は、引き続き、都市の将来のあるべき姿や都市づくりの方向性を定める「成田市都市計画マスタープラン」について、千葉県が策定した「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に即して見直しを進める。</p>	
○報酬	278 千円
・都市計画審議会委員報酬12人分	
○委託料	5,178 千円
・都市計画マスタープラン見直し業務委託料	
○その他	8 千円
<p>【都市計画マスタープラン見直し業務委託概要】</p> <p>令和3年度：1,639千円、令和4年度：5,178千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間評価の実施</li> <li>・都市計画マスタープランの見直し</li> <li>・土地利用方針等の見直し</li> </ul>	
特定財源の内訳	
○基金繰入金	5,178 千円
・ふるさと基金繰入金	



事業名		45-01 (仮称) 東和田南部土地区画整理事業			  	
部課名		都市部 市街地整備課	予算書ページ	310		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）	
款	08	土木費	基本目標	02	魅力ある機能的なまちづくり	
項	04	都市計画費	基本施策	01	地域特性を生かした土地利用と快適な市街地形成を図る	
目	02	土地区画整理費	施策の方向	01	秩序ある効率的なまちづくりを推進します。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	—
根拠法令要綱等	都市計画法，土地区画整理法					
H29決算額	0 千円	H30決算額	0 千円	R1決算額	0 千円	
R2決算額	0 千円	R3当初予算額	21,934 千円	R4計画額	12,000 千円	



R4予算額	事業費	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	11,385 千円		3,000			8,385

事業の概要等	
<p>東和田地先にて設置を構想している（仮称）成田（東関道）スマートインターチェンジを活用した物流機能の強化や、空港周辺における産業促進に向けた土地利用を図るため、組合施行の土地区画整理事業により、新たな都市基盤を整備する。</p> <p>令和4年度は、空港や大学病院との近接性を活かして、物流や医療関連の企業を中心に東和田南部地区への進出見込みや企業ニーズについて調査するとともに、分析結果をもとに、組合設立準備会が検討を進める土地利用計画と整合を図りながら、造成計画や排水計画などの公共公益施設の整備方針を検討するため、産業用地可能性調査を実施する。</p>	
○委託料	11,385 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>産業用地可能性調査委託料</li> </ul>	
【産業用地可能性調査委託概要】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>調査区域の立地特性及び企業ニーズの把握・分析</li> <li>事業採算性の検証</li> <li>公共公益施設の整備方針の検討</li> </ul>	
特定財源の内訳	
○県補助金	3,000 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>立地企業補助金</li> </ul>	

事業名		10-05 都市公園管理事業			  	
部課名		都市部 公園緑地課	予算書ページ	311		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	08	土木費	基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり	
項	04	都市計画費	基本施策	01	住みやすく快適な生活環境を整える	
目	03	公園費	施策の方向	01	市民が住みやすく快適なまちづくりを進めます。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	都市公園法, 成田市都市公園条例					
H29決算額	293,678 千円		H30決算額	303,382 千円		R1決算額 307,941 千円
R2決算額	306,800 千円		R3当初予算額	437,096 千円		R4計画額 373,455 千円




R4予算額	事業費	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	378,861 千円			22,400	3,859	352,602

事業の概要等	
<p>市民にやすらぎや潤いをもたらす憩いの空間として、都市公園の適切な維持管理を行う。 令和4年度は、老朽化している坂田ヶ池総合公園の木道改修工事を実施する。</p>	
○需用費	17,068 千円
・光熱水費	2,032 千円
・修繕料	15,000 //
・その他	36 //
○委託料	331,478 千円
・都市公園指定管理料	
・坂田ヶ池総合公園指定管理料	
・都市公園管理委託料	
・その他	
○工事請負費	29,986 千円
・坂田ヶ池総合公園木道改修工事	
○その他	329 千円
特定財源の内訳	
○使用料	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園使用料 2,027 千円</li> <li>公園占用料 1,832 //</li> </ul>
○市債	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市公園整備事業債 22,400 //</li> </ul>

事業名		26-10 住区基幹公園整備事業			 	
部課名		都市部 公園緑地課	予算書ページ	313		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	08	土木費	基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり	
項	04	都市計画費	基本施策	01	住みやすく快適な生活環境を整える	
目	03	公園費	施策の方向	01	市民が住みやすく快適なまちづくりを進めます。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	都市公園法, 成田市都市公園条例					
H29決算額	82,390 千円		H30決算額	25,469 千円		R1決算額 5,030 千円
R2決算額	37,531 千円		R3当初予算額	31,596 千円		R4計画額 65,724 千円

R4予算額	事業費	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	61,072 千円	25,111		31,300		4,661

事業の概要等	
<p>市民の身近な都市公園として、住区基幹公園（街区・近隣・地区公園）が児童の遊戯、幅広い年齢層の運動、憩いの場及び地域のコミュニティの拠点として利用されるよう整備する。</p> <p>令和4年度は、グリーンウォーターパークの雨水排水設備の整備工事を行うとともに、令和3年度に撤去した公津の杜公園のアスレチック機能を有する大型複合遊具の更新工事を実施する。</p>	
○委託料	297 千円
・資材等価格調査委託料	
○工事請負費	60,775 千円
・グリーンウォーターパーク整備工事	
・公津の杜公園遊具更新工事	
特定財源の内訳	
○国庫補助金	・都市構造再編集中支援事業補助金 25,111 千円
○市債	・都市公園整備事業債 31,300 〃

事業名		15-01 市営住宅維持管理事業		  	
部課名		土木部 建築住宅課	予算書ページ	315	
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）
款	08	土木費	基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり
項	06	住宅費	基本施策	01	住みやすく快適な生活環境を整える
目	01	住宅管理費	施策の方向	01	市民が住みやすく快適なまちづくりを進めます。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等	公営住宅法，成田市営住宅条例，成田市営住宅条例施行規則				
H29決算額	25,574 千円	H30決算額	33,824 千円	R1決算額	41,799 千円
R2決算額	52,651 千円	R3当初予算額	49,787 千円	R4計画額	52,183 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	64,052 千円	10,096			34,840	19,116

事業の概要等	
<p>市営住宅への入退去や修繕など，適正な管理を行う。また，老朽化に伴い用途廃止が進む木造戸建て住宅の補填を図るため，UR賃貸住宅の借上げを行う。</p> <p>令和4年度は，用途廃止した木造戸建て住宅の解体工事を行うほか，経年による劣化が著しい空き部屋の室内大規模修繕を実施する。</p>	
○報酬	124 千円
・市営住宅入居者選考委員会委員報酬8人分	
○需用費	20,295 千円
・消耗品費等	64 千円
・修繕料	20,231 〃
○使用料及び賃貸料	27,869 千円
・公営住宅借上料	
・その他	
○工事請負費	3,861 千円
・解体工事	
○その他	11,903 千円
特定財源の内訳	
○使用料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅使用料 28,577 千円</li> <li>・市営住宅駐車場使用料 6,150 〃</li> <li>・自動車保管場所使用承諾証明手数料 3 〃</li> </ul>
○国庫補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本整備総合交付金 1,840 〃</li> <li>・公的賃貸住宅家賃対策調整補助金 8,256 〃</li> </ul>
○雑入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷金充当金 110 〃</li> </ul>

## 第9款 消防費

事業名		45-01 消防車両・装備強化整備事業				
部課名		消防本部 警防課		予算書ページ		
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	09	消防費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり	
項	01	消防費	基本施策	01	災害などに強いまちをつくる	
目	01	常備消防費	施策の方向	03	消防救急体制の充実・強化を図ります。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等		消防力の整備指針				
H29決算額		219,167千円	H30決算額		237,090千円	R1決算額 173,416千円
R2決算額		126,538千円	R3当初予算額		156,973千円	R4計画額 118,445千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	126,937千円			95,600		31,337

事業の概要等	
<p>消防車両等の維持管理のほか、消防計画に基づき消防車両等の更新を行い、消防力の強化を図る。 令和4年度は、水槽付消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車を更新する。</p>	
○委託料	3,525千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空気呼吸器保守点検委託料</li> <li>・警防用機材保守点検委託料</li> <li>・はしご車保守点検委託料</li> <li>・化学消防車保守点検委託料</li> </ul>	
○使用料及び賃借料	3,513千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁用車借上料</li> <li>・その他</li> </ul>	
○備品購入費	109,415千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤坂消防署水槽付消防ポンプ自動車 （初年度登録 平成17年3月22日，走行距離 67,336km 令和4年1月1日現在）</li> <li>・成田消防署飯岡分署高規格救急自動車 （初年度登録 平成26年12月3日，走行距離 93,570km 令和4年1月1日現在）</li> <li>・現場用備品</li> </ul>	
○公課費	1,382千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車重量税</li> </ul>	
○その他	9,102千円
特定財源の内訳	
○市債	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防車両・装備強化整備事業債</li> </ul>
	95,600千円

事業名		10-01 消防団に関する経費			 	
部課名		消防本部 消防総務課		予算書ページ	325	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	09	消防費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり	
項	01	消防費	基本施策	01	災害などに強いまちをつくる	
目	02	非常備消防費	施策の方向	03	消防救急体制の充実・強化を図ります。	
新規・継続の別		一部新規	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等		消防組織法，消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律，成田市消防団条例				
H29決算額		115,298千円	H30決算額	115,523千円	R1決算額	113,020千円
R2決算額		96,568千円	R3当初予算額	113,104千円	R4計画額	113,104千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
	141,486千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
			110			141,376

事業の概要等

地域防災の中核を担う消防団の活動を支えるため、成田市消防団条例に基づき、年額報酬や出動報酬を支給するほか、活動に必要な装備品の充実を図る。

令和4年度は、消防団員の年額報酬及び出動報酬を引き上げ、処遇改善を図る。

○報酬	88,689千円
・消防団員年額報酬1,500人分	56,747千円
・消防団員出動報酬	31,942 〃
○その他	52,797千円

【年額報酬】

職名	人数	金額
団長	1	172,000円
副団長	3	115,000円
本部付分団長	6	90,000円
地域分団長	12	85,000円
副分団長	12	69,000円
部長	95	51,000円
班長	190	37,000円
基本団員	1,138	36,500円
機能別団員	43	10,000円



【出動報酬】

出動区分		金額
災害	火災	8,000円/日 (4時間未満4,000円)
	風水害	
	地震	
業務	警戒	4,000円/日 (4時間未満2,000円)
	訓練	
	その他	

※1,300円～3,000円から、出動区分に応じ、2,000円～8,000円へ引き上げを行う。

※本部付分団長については5,000円、班長については6,000円、基本団員については9,500円の引き上げを行う。

特定財源の内訳		
○県補助金	・消防防災施設強化事業補助金	110千円

事業名		20-01 消防団拠点施設整備事業			 	
部課名		消防本部 消防総務課		予算書ページ	328	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	09	消防費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり	
項	01	消防費	基本施策	01	災害などに強いまちをつくる	
目	03	消防施設費	施策の方向	03	消防救急体制の充実・強化を図ります。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等		消防組織法，消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律，成田市消防団条例				
H29決算額		27,176 千円	H30決算額		11,780 千円	R1決算額 23,003 千円
R2決算額		37,698 千円	R3当初予算額		65,408 千円	R4計画額 32,352 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	32,901 千円			23,100		9,801

事業の概要等	
<p>消防団拠点施設整備計画に基づき，地域の防災拠点として各部の消防器具庫等を整備する。</p> <p>令和4年度は，第7分団第3部（川栗）及び第11分団第7部（新田）器具庫の新設工事を行うとともに，令和5年度の第2分団第11部（大袋），第5分団第4部（小泉）器具庫の新設工事に向けて，地質調査及び設計委託等を行う。</p>	
○委託料	4,488 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計委託料</li> <li>・測量調査委託料</li> <li>・地質調査委託料</li> <li>・アスベスト分析調査委託料</li> </ul>	
○工事請負費	28,413 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防器具庫建設工事</li> </ul>	
<p>【第7分団第3部（川栗）消防器具庫】</p> <p>所在地：成田市川栗394番地</p> <p>構造：木造平屋建</p> <p>延床面積：約29㎡</p>	<p>【第11分団第7部（新田）消防器具庫】</p> <p>所在地：成田市新田85番地</p> <p>構造：木造平屋建</p> <p>延床面積：約29㎡</p>
特定財源の内訳	
○市債	23,100 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団拠点施設整備事業債</li> </ul>	




事業名		25-01 消防水利整備事業				
部課名		消防本部 警防課		予算書ページ	328	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）	
款	09	消防費	基本目標	01	安全・安心に暮らせるまちづくり	
項	01	消防費	基本施策	01	災害などに強いまちをつくる	
目	03	消防施設費	施策の方向	03	消防救急体制の充実・強化を図ります。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等	消防法，水道法，消防水利の基準					
H29決算額	22,699 千円		H30決算額	27,951 千円		R1決算額 16,753 千円
R2決算額	27,062 千円		R3当初予算額	11,559 千円		R4計画額 25,886 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	24,826 千円			13,900	1	10,925

事業の概要等	
<p>耐震性貯水槽及び消火栓の整備と維持管理を行う。 令和4年度は、幸町地先に40 t級の耐震性貯水槽を新設する。</p>	
○需用費	5,625 千円
・修繕料	
○委託料	561 千円
・測量調査委託料	
・地質調査委託料	
○使用料及び賃借料	132 千円
・OA機器借上料	
○工事請負費	14,531 千円
・耐震性貯水槽整備工事	
40 t 1基：幸町地先	
・貯水槽取壊し工事	
○負担金補助及び交付金	3,977 千円
・消火栓設置負担金	
特定財源の内訳	
○使用料	・行政財産使用料 1 千円
○市債	・消防水利整備事業債 13,900 千円





# 第10款 教育費

事業名		40-10 学校支援地域本部事業		  	
部課名		教育部 生涯学習課	予算書ページ	338	
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり
項	01	教育総務費	基本施策	02	学校・家庭・地域が一体となった教育体制をつくる
目	03	教育研究指導費	施策の方向	01	学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育む体制づくりを推進します。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等	教育基本法，教育振興基本計画				
H29決算額	921 千円	H30決算額	1,531 千円	R1決算額	1,672 千円
R2決算額	830 千円	R3当初予算額	2,577 千円	R4計画額	2,577 千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	2,613 千円		1,741			872

事業の概要等	
<p>学校教育が多様な課題を抱える中で、地域がさまざまな形で学校を支援していくことが求められており、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることが重要であることから、これまでの地域が参画するボランティア活動を、さらに発展させて組織的なものとし、より効果的に学校の支援を図る。</p> <p>令和4年度は、実施校を現在の16校から18校へ拡大し、学校教育及び地域の教育力の更なる充実を図る。</p>	
○報償費	2,553 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援地域本部運営委員等謝礼 <ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会の設置経費（運営委員22人）</li> <li>地域コーディネーターの配置経費（18人）</li> <li>ボランティアは無償</li> </ul> </li> </ul>	
○需用費	60 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品費 <ul style="list-style-type: none"> <li>各本部運営費（18本部）</li> </ul> </li> </ul>	
特定財源の内訳	
○県補助金	1,741 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援地域本部事業費補助金</li> </ul>	

事業名		55-05 英語科研究推進事業			 	
部課名		教育部 教育指導課		予算書ページ	339	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）	
款	10	教育費	基本目標	03	国際性豊かなまちづくり	
項	01	教育総務費	基本施策	01	国際理解を促進する	
目	03	教育研究指導費	施策の方向	01	英語によるコミュニケーション能力の育成を目指します。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等		教育課程特例校制度（学校教育法施行規則第55条の2）、成田市会計年度任用短時間勤務職員の報酬及び期末手当の支給に関する規則				
H29決算額		180,777千円	H30決算額		181,972千円	R1決算額 178,697千円
R2決算額		204,623千円	R3当初予算額		202,451千円	R4計画額 202,451千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	198,418千円				506	197,912

事業の概要等	
<p>全小学校を教育課程特例校として英語科を設置し、1～4学年においては20分の英語科授業を週2回、5～6学年においては20分週2回の授業に加え、45分の授業を週1回実施し、児童の英語によるコミュニケーション能力の基礎の育成を目指す。</p> <p>中学校では、同じく全校を教育課程特例校として、標準では年間140時間の英語科授業を、155時間（1学年）～158時間（2～3学年）に拡充し、生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成及び国際教育の推進を図る。</p> <p>また、義務教育学校2校の前期課程及び後期課程においても上記と同様の授業を実施する。</p> <p>令和4年度は、外国人英語講師45人を全小中学校及び義務教育学校に配置する。</p>	
○報酬	137,351千円
・主任外国人英語講師報酬 週5日勤務 2人（前年度比増減なし）	8,267千円
・外国人英語講師報酬 週3～5日勤務 45人（前年度比増減なし）	129,084千円
○職員手当等	27,436千円
○共済費	28,999千円
○旅費	4,000千円
○その他	632千円
特定財源の内訳	
○雑入	・本人負担雇用保険料 506千円

事業名		10-01 小学校就学援助費支給事業		  	
部課名		教育部 学務課		予算書ページ	346
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり
項	02	小学校費	基本施策	01	成田の未来をつくる教育を推進する
目	02	教育振興費	施策の方向	03	よりよい学校教育環境づくりを推進します。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等	学校教育法、就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律、成田市就学援助費支給規則				
H29決算額	38,562千円		H30決算額	37,366千円	
R2決算額	39,365千円		R3当初予算額	46,238千円	
			R1決算額	38,922千円	
			R4計画額	49,341千円	



R4予算額	事業費	財源内訳（千円）			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源 一般財源
	45,966千円	34			45,932

事業の概要等	
<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者からの申請を受け、援助が必要な児童を認定し、学校生活に必要な物品や給食費等を支給することで、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>就学援助費の支給対象者は、要保護児童（生活保護法による被保護者）と準要保護児童（成田市に住民票があつて居住しており、かつ、定められた要件を満たす者）の保護者となる。</p> <p>令和4年度の支給対象者は、要保護児童が3人、準要保護児童が525人見込まれる。</p>	
○役務費（手数料）	32千円
○扶助費	45,934 〃
<ul style="list-style-type: none"> <li>要保護及び準要保護児童援助費（内訳） <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食費 525人 25,195千円</li> <li>・新入学児童学用品費 36 〃 1,946 〃 (R4.4.1単価引き上げ)</li> <li>・入学準備学用品費 50 〃 2,703 〃 (R4.4.1単価引き上げ)</li> <li>・入学準備学用品費（追加支給） 56 〃 168 〃</li> <li>・学用品費・通学用品費 525 〃 6,407 〃</li> <li>・校外活動費（泊なし） 424 〃 679 〃</li> <li>・校外活動費（泊あり） 101 〃 373 〃</li> <li>・修学旅行費 92 〃 2,088 〃</li> <li>・通学費 1 〃 11 〃</li> <li>・クラブ活動費 287 〃 95 〃</li> <li>・PTA会費 525 〃 1,637 〃</li> <li>・生徒会費 30 〃 72 〃</li> <li>・卒業アルバム代等 89 〃 979 〃</li> <li>・オンライン学習通信費 282 〃 3,581 〃 (R4.4.1単価引き上げ)</li> </ul> </li> </ul>	
特定財源の内訳	
○国庫補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童援助費補助金 34千円</li> </ul>

事業名		55-01 小中学校教育情報化推進事業 10-01		 	
部課名		教育部 教育指導課		予算書ページ	347, 353
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり
項	02 03	小学校費 中学校費	基本施策	01	成田の未来をつくる教育を推進する
目	02	教育振興費	施策の方向	02	教育環境の充実を図るための施設整備を推進します。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価
事務事業評価					
—					
根拠法令要綱等					
H29決算額					
0 千円		H30決算額		0 千円	
R2決算額		R3当初予算額		R4計画額	
0 千円		302, 067 千円		292, 271 千円	



R4予算額	事業費	財源内訳（千円）			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源
	268, 373 千円				一般財源
					268, 373

事業の概要等	
<p>学習指導要領に基づき、児童生徒の情報活用能力を育成するため、学校内の情報通信ネットワークを活用し、情報通信技術（ICT）教育を推進する。</p> <p>令和4年度は、児童生徒1人1台の学習用端末を、授業や家庭学習で効果的に活用するとともに、教員が授業を円滑に行うためのサポートと負担軽減を図るため、指導主事や専門的な知識を有するICT支援員による学校支援を行う。</p>	
○需用費	7, 720 千円
・消耗品費	220 千円
・修繕費	7, 500 〃
○役務費	5, 736 千円
・通信運搬費	
○委託料	80, 623 千円
・ICT支援委託料	
・コンピュータ装置保守点検委託料	
・電算処理委託料	
○使用料及び賃借料	174, 294 千円
・学習用ソフトウェア利用料	
・著作物教育利用料	
・コンピュータ装置借上料	
・OA機器借上料	
特定財源の内訳	

事業名		70-01 小学校スクールバス運行事業			 	
部課名		教育部 教育指導課		予算書ページ	347	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）	
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり	
項	02	小学校費	基本施策	01	成田の未来をつくる教育を推進する	
目	02	教育振興費	施策の方向	03	よりよい学校教育環境づくりを推進します。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		85,427 千円	H30決算額		85,069 千円	R1決算額 78,289 千円
R2決算額		86,817 千円	R3当初予算額		199,122 千円	R4計画額 199,122 千円


R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	207,098 千円	25,911				181,187

事業の概要等	
<p>学校適正配置による小学校の統合に伴い、遠距離通学となる児童に対して、通学時の安全と利便性を確保するため、スクールバスを運行する。</p> <p>車両はマイクロバス及び大型バスを使用し、登下校時に各2便を運行する。</p> <p>また、休業日等の臨時登校や緊急時の対応のため、ジャンボタクシー等の運行も行う。</p>	
○委託料	206,943 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス運行委託料 <ul style="list-style-type: none"> <li>遠山小学校 9人 1ルート</li> <li>久住小学校 30人 2ルート</li> <li>美郷台小学校 28人 2ルート</li> <li>下総みどり学園 220人 8ルート</li> <li>大栄みらい学園 341人 13ルート</li> </ul> </li> </ul>	
○使用料及び賃借料	155 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・車借上料</li> </ul>	
<p><b>【運行経路等見直しの概要】</b></p> <p>令和3年度に実施した通学路の安全点検により、運行経路等の一部見直しを行った。</p> <p>下総みどり学園：経路変更（4カ所），ルート追加（2カ所）</p> <p>大栄みらい学園：バス停変更（1カ所），ルート追加（1カ所）</p>	
特定財源の内訳	
○国庫補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・へき地児童援助費等補助金</li> </ul>
	25,911 千円

事業名		30-20 小学校長寿命化改良事業			 		
部課名		教育部 学校施設課	予算書ページ	349			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）		
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり		
項	02	小学校費	基本施策	01	成田の未来をつくる教育を推進する		
目	03	学校建設費	施策の方向	02	教育環境の充実を図るための施設整備を推進します。		
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等							
H29決算額		0 千円	H30決算額		0 千円	R1決算額	11,330 千円
R2決算額		6,454 千円	R3当初予算額		55,544 千円	R4計画額	1,613,872 千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	1,388,991 千円	192,758		768,100		428,133

事業の概要等	
<p>建築後40年以上経過した建物について、構造体の長寿命化やライフラインの更新などにより耐久性を高めるとともに、省エネルギー化や多様な学習内容・学習形態による活動が可能となる教育環境の提供など、社会的要請に応じた学校施設の長寿命化を図る。</p> <p>令和4年度と令和5年度で、玉造小学校及び中台小学校の長寿命化改修工事を行うとともに、併せて太陽光発電設備及び蓄電池設備の整備を行う。また、代替え校舎となる仮設校舎の借上げを行うほか、老朽化が進んでいる成田小学校の校舎改築基本計画の策定を行う。</p> <p>令和4年度～令和5年度継続事業（玉造小学校総事業費1,147,067千円） （中台小学校総事業費1,114,061千円）</p>	
○委託料	46,414 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田小学校改築基本計画策定委託料（継続費外）</li> <li>・玉造小学校長寿命化改修工事監理委託料</li> <li>・中台小学校長寿命化改修工事監理委託料</li> <li>・備品運搬委託料</li> <li>・電算処理委託料（継続費外）</li> </ul>	
○使用料及び賃借料	204,262 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉造小学校仮設校舎借上料（継続費外）</li> <li>・中台小学校仮設校舎借上料（継続費外）</li> </ul>	
○工事請負費	1,138,315 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉造小学校長寿命化改修工事</li> <li>・中台小学校長寿命化改修工事</li> </ul>	
特定財源の内訳	
○国庫補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設環境改善交付金</li> </ul> 192,758 千円
○市債	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校長寿命化改良事業債</li> </ul> 768,100 〃

事業名		60-01 小学校仮設校舎整備事業					
部課名		教育部 学校施設課	予算書ページ	349			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）		
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり		
項	02	小学校費	基本施策	01	成田の未来をつくる教育を推進する		
目	03	学校建設費	施策の方向	02	教育環境の充実を図るための施設整備を推進します。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等							
H29決算額	55,504 千円		H30決算額	35,329 千円		R1決算額	34,602 千円
R2決算額	20,295 千円		R3当初予算額	7,748 千円		R4計画額	800 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	384 千円					384

事業の概要等	
<p>久住小学校区の児童数の増加による一時的な教室不足に対応するため、仮設校舎を借り上げる。 令和4年度は、仮設校舎の整備にかかる地質調査を行う。</p> <p>○委託料 <span style="float: right;">384 千円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久住小学校地質調査委託料</li> </ul> <p>【債務負担行為の設定】</p> <p>事項：久住小学校仮設校舎借上料  期間：令和4年度から令和14年度まで  限度額：95,860千円  令和4年度：0千円</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>令和4年度：地質調査、仮設校舎整備及び既存校舎改修  令和5年度：供用開始</p>	
特定財源の内訳	

事業名		60-30 本城小学校増築事業			  	
部課名		教育部 学校施設課	予算書ページ	350		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）	
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり	
項	02	小学校費	基本施策	01	成田の未来をつくる教育を推進する	
目	03	学校建設費	施策の方向	02	教育環境の充実を図るための施設整備を推進します。	
新規・継続の別	新規		補助・単独の別	単独	事務事業評価	—
根拠法令要綱等						
H29決算額	28,245 千円		H30決算額	329,814 千円		R1決算額 14,980 千円
R2決算額	0 千円		R3当初予算額	0 千円		R4計画額 31,102 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	30,852 千円			19,100		11,752




事業の概要等	
<p>本城小学校区の児童数の増加による教室不足に対応するため、校舎の増築を行う。 令和4年度は、校舎増築の基本・実施設計及び地質調査等を行う。</p> <p>○役務費 <span style="float:right">156 千円</span> ・手数料</p> <p>○委託料 <span style="float:right">30,696 千円</span> ・基本・実施設計委託料 ・地質調査委託料</p> <p>【施設概要（予定）】 構 造：鉄筋コンクリート造，2階建 延床面積：約600㎡ 施 設：特別教室2室等 既存改修：特別教室等を普通教室に改造する他，エレベーター，スロープ，多目的トイレ等の整備 供用開始：令和6年度</p>	
特定財源の内訳	
○市債	・本城小学校増築事業債 <span style="float:right">19,100 千円</span>



事業名		60-35 平成小学校増築事業			  		
部課名		教育部 学校施設課	予算書ページ	350			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）		
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり		
項	02	小学校費	基本施策	01	成田の未来をつくる教育を推進する		
目	03	学校建設費	施策の方向	02	教育環境の充実を図るための施設整備を推進します。		
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等							
H29決算額		0 千円	H30決算額		0 千円	R1決算額	0 千円
R2決算額		10,590 千円	R3当初予算額		152,493 千円	R4計画額	867,771 千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	701,169 千円	37,039		455,900		208,230

事業の概要等		
<p>平成小学校区の児童数の増加による教室不足に対応するため、校舎の増築を行う。</p> <p>令和4年度は、令和3年度に引き続き校舎の増築工事を進めるとともに、防火水槽の整備及び既存仮設校舎解体工事の設計を行う。</p> <p>令和3年度～令和5年度継続事業（総事業費 849,691千円）</p>		
○委託料		21,499 千円
・仮設校舎解体工事実施設計委託料		
・工事監理委託料		
・備品運搬委託料		
○工事請負費		677,820 千円
・校舎増築工事		
○備品購入費		1,850 千円
・初度備品（継続費外）		
【施設概要】		
構 造：鉄筋コンクリート造，3階建		
延床面積：約1,735㎡		
施 設：普通教室12教室他		
供用開始：令和5年度		
特定財源の内訳		
○国庫負担金	・公立学校施設整備費負担金	32,992 千円
○国庫補助金	・学校施設環境改善交付金	4,047 千円
○市債	・平成小学校増築事業債	455,900 千円

事業名		65-05 大栄地区小中一体型校舎建設事業			  	
部課名		教育部 学校施設課	予算書ページ	350, 356		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）	
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり	
項	02 03	小学校費 中学校費	基本施策	01	成田の未来をつくる教育を推進する	
目	03	学校建設費	施策の方向	02	教育環境の充実を図るための施設整備を推進します。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額	288, 952 千円		H30決算額	149, 810 千円		R1決算額 566, 582 千円
R2決算額	2, 006, 123 千円		R3当初予算額	509, 468 千円		R4計画額 504, 708 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	194, 689 千円	18, 275		134, 100		42, 314

事業の概要等	
<p>学校規模の適正化を図るため地区内の小学校5校を統合するとともに、中学校との一体型校舎として建設する。</p> <p>令和4年度は、令和3年度に引き続き旧大栄中学校校舎及び体育館の解体工事を進めるとともに、テニスコート及び防火水槽2基の整備を行う。また、多目的グラウンドの整備に着手する。</p> <p>平成29年度～令和5年度継続事業  （小学校費3, 658, 785千円、中学校費3, 043, 281千円、総事業費6, 702, 066千円）</p>	
○委託料	301 千円
・物件調査委託料（継続費外）	
○工事請負費	194, 388 千円
・整備工事	
特定財源の内訳	
○国庫補助金	・学校施設環境改善交付金 18, 275 千円
○市債	・大栄地区小中一体型校舎建設事業債 134, 100 〃

事業名		15-01 中学校就学援助費支給事業		  	
部課名		教育部 学務課		予算書ページ	354
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり
項	03	中学校費	基本施策	01	成田の未来をつくる教育を推進する
目	02	教育振興費	施策の方向	03	よりよい学校教育環境づくりを推進します。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等	学校教育法，就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律，成田市就学援助費支給規則				
H29決算額	40,866 千円		H30決算額	40,252 千円	
R2決算額	39,160 千円		R3当初予算額	53,694 千円	
			R1決算額	39,590 千円	
			R4計画額	55,949 千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源 一般財源
	49,143 千円	91			49,052

事業の概要等	
<p>経済的理由により就学が困難な生徒の保護者からの申請を受け、援助が必要な生徒を認定し、学校生活に必要な物品や給食費等を支給することで、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>就学援助費の支給対象者は、要保護生徒（生活保護法による被保護者）と準要保護生徒（成田市に住民票があって居住しており、かつ、定められた要件を満たす者）の保護者となる。</p> <p>令和4年度の支給対象者は、要保護生徒が3人、準要保護生徒が300人見込まれる。</p>	
○役務費	
・手数料	17 千円
○扶助費	
・要保護及び準要保護生徒援助費	49,126 千円
(内訳)	
・学校給食費	300 人 16,933 千円
・新入学児童学用品費	19 " 1,140 "
・入学準備学用品費	90 " 5,400 "
・学用品費・通学用品費	300 " 6,813 "
・校外活動費（泊なし）	290 " 670 "
・校外活動費（泊あり）	10 " 62 "
・修学旅行費	93 " 5,665 "
・通学費	1 " 11 "
・クラブ活動費	300 " 6,060 "
・PTA会費	300 " 1,199 "
・生徒会費	300 " 816 "
・卒業アルバム代等	90 " 792 "
・オンライン学習通信費	270 " 3,565 " (R4.4.1単価引き上げ)
特定財源の内訳	
○国庫補助金	・要保護生徒援助費補助金 91 千円

事業名		13-01 私立幼稚園幼児教育振興事業			 		
部課名		健康こども部 保育課	予算書ページ	357			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）		
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり		
項	04	幼稚園費	基本施策	03	幼児教育を推進する		
目	01	幼稚園費	施策の方向	02	私立幼稚園における幼児教育の振興を図ります。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	成田市私立幼稚園幼児教育振興費補助金交付規則						
H29決算額	29,224千円		H30決算額	28,369千円		R1決算額	25,113千円
R2決算額	24,467千円		R3当初予算額	19,927千円		R4計画額	19,927千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	19,803千円					19,803



事業の概要等	
<p>市内私立幼稚園の設置者に対して、教育環境の整備及び幼児教育の振興に資するため費用の一部を補助する。また、私立幼稚園間の連携協力体制の確立に寄与することを目的に、市内私立幼稚園で組織する私立幼稚園協会が行う事業等に要する経費の一部を補助する。</p>	
○負担金補助及び交付金	19,803千円
・私立幼稚園幼児教育振興費補助金	19,213千円
・私立幼稚園協会補助金	590 〃
(私立幼稚園幼児教育振興費補助金・内訳)	
・教材の購入に要する費用（施設分）	600千円 施設：6園分
・教材の購入に要する費用（園児分）	5,796 〃 園児：828人分（6園分）
・教員の研修に要する費用	250 〃 教員：50人分（6園分）
・園児の傷害保険に要する費用	244 〃 園児：828人分（6園分）
・障がい児の教育に要する費用	7,040 〃 園児：32人分
・施設設備等に要する費用	5,283 〃 施設：4園分（限度額1,600千円/園）
特定財源の内訳	

事業名		30-01 大栄幼稚園管理運営事業			 		
部課名		健康こども部 保育課	予算書ページ	358			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）		
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり		
項	04	幼稚園費	基本施策	03	幼児教育を推進する		
目	01	幼稚園費	施策の方向	01	公立幼稚園の運営の充実を図ります。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	成田市立大栄幼稚園の設置及び管理に関する条例						
H29決算額	53,440 千円		H30決算額	50,381 千円		R1決算額	51,916 千円
R2決算額	53,371 千円		R3当初予算額	63,624 千円		R4計画額	117,037 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	201,690 千円	606	606	53,900	78,091	68,487



事業の概要等	
<p>大栄幼稚園の管理運営及び幼児の教育振興に必要な事業の推進を図る。 令和4年度は、施設の適正な維持管理に資するため、耐用年数を経過した空調設備の改修工事を行う。</p>	
○報酬	23,299 千円
・幼稚園教諭報酬	7,020 千円
・養護補助員報酬	8,997 〃
・保育士報酬	4,088 〃
・その他	3,194 〃
○委託料	15,087 千円
・空調設備更新工事監理委託料	
・その他	
○工事請負費	144,320 千円
・空調設備更新工事	
○その他	18,984 千円
【令和4年度園児数（見込）】	
年長組1クラス25人、年中組1クラス25人、年少組1クラス25人 合計75人	

特定財源の内訳	
○使用料	715 千円
・預かり保育料	715 千円
・送迎バス使用料	989 〃
・行政財産使用料	2 〃
○国庫補助金	606 〃
・子ども・子育て支援交付金	606 〃
○県補助金	606 〃
・子ども・子育て支援補助金	606 〃
○雑入	76,308 〃
・教育施設等騒音防止対策事業費助成金	76,308 〃
・本人負担雇用保険料	77 〃
○市債	53,900 〃
・幼稚園空調設備整備事業債	53,900 〃

事業名		15-01 公民館施設維持管理事業		 	
部課名		教育部 公民館	予算書ページ	370	
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）
款	10	教育費	基本目標	02	学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり
項	05	社会教育費	基本施策	01	市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する
目	03	公民館費	施策の方向	03	生涯学習施設を充実します。
新規・継続の別	一部新規		補助・単独の別	単独	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等	社会教育法、成田市公民館の設置及び管理に関する条例				
H29決算額	225,907 千円	H30決算額	202,028 千円	R1決算額	222,443 千円
R2決算額	214,203 千円	R3当初予算額	205,859 千円	R4計画額	215,225 千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	221,730 千円				2,419	219,311

事業の概要等	
<p>公民館施設を安全・快適に利用できるよう維持・管理を行う。</p> <p>令和4年度は、遠山公民館のサークル室・第1・第2会議室の空調設備改修工事を行うとともに、大栄公民館の受変電設備の改修工事実施設計を行う。また、受益者負担の適正化等の観点から、新たに既設の印刷機（4館）の有料化を行うとともに、有料コピー機を既設の中央公民館を除く12館に設置する。</p>	
○報酬	49,173 千円
・会計年度任用職員報酬	
○委託料	87,899 千円
・管理委託料	
・複写機移設委託料	
・複写機コインベンダー設置委託料	
・大栄公民館受変電設備改修工事実施設計委託料	
・その他	
○工事請負費	7,898 千円
・遠山公民館空調設備改修工事	
○備品購入費	4,787 千円
・複写機コインベンダー	
・電話機器	
○その他	71,973 千円
特定財源の内訳	
○使用料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館使用料 279 千円</li> <li>・行政財産使用料 84 〃</li> </ul>
○雑入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人負担雇用保険料 142 〃</li> <li>・コピー料 1,271 〃</li> <li>・光熱水費等実費収入 643 〃</li> </ul>

事業名		10-01 図書館施設維持管理事業			 		
部課名		教育部 図書館	予算書ページ	374			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）		
款	10	教育費	基本目標	02	学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり		
項	05	社会教育費	基本施策	01	市民が学び成果を生かすまちづくりを推進する		
目	04	図書館費	施策の方向	03	生涯学習施設を充実します。		
新規・継続の別	一部新規		補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続	
根拠法令要綱等	成田市立図書館設置条例，成田市立図書館の管理及び運営に関する規則						
H29決算額	126,384千円		H30決算額	60,652千円		R1決算額	38,061千円
R2決算額	41,287千円		R3当初予算額	47,502千円		R4計画額	84,512千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
	110,511千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
				47,500		63,011




事業の概要等	
<p>図書館を安全で快適に利用できるように、適切な維持管理を行う。また、開館以来38年が経過し、施設の老朽化が進行している状況であるため、計画的に修繕・改修を行う。</p> <p>令和4年度は、本館の空調設備改修工事及び雨水排水管改修工事を行うほか、昇降機改修工事に向けた実施設計を行う。</p>	
○需用費	19,820千円
・消耗品費	854千円
・光熱水費	17,106 〃
・修繕料	1,860 〃
○委託料	24,279千円
・昇降機改修工事実施設計業務委託	
・その他	
○工事請負費	66,040千円
・空調設備改修工事	
・雨水排水管改修工事	
○その他	372千円
特定財源の内訳	
○地方債	47,500千円
・図書館施設改修事業債	

事業名		25-30 文化財保存展示施設管理運営事業			  		
部課名		教育部 生涯学習課	予算書ページ	380			
予算科目		施策の体系					
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）		
款	10	教育費	基本目標	02	学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり		
項	05	社会教育費	基本施策	02	成田の地域文化や伝統を学ぶ		
目	05	文化財保護費	施策の方向	02	成田にある伝統文化を国内外に周知・啓発します。		
新規・継続の別		新規	補助・単独の別	単独	事務事業評価	—	
根拠法令要綱等		成田市滑河文化財保存展示施設の設置及び管理に関する条例					
H29決算額		0千円	H30決算額		0千円	R1決算額	0千円
R2決算額		0千円	R3当初予算額		0千円	R4計画額	6,270千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	6,107千円				4	6,103


事業の概要等	
<p>平成26年3月末に閉校となった旧滑河小学校及び旧高岡小学校の校舎を活用し、埋蔵文化財資料や民俗資料等の文化財を集約して保管する。</p> <p>令和4年度は、旧滑河小学校を滑河文化財保存展示施設として供用を開始し、文化財資料の保存のほか、閉校となった下総地区4小学校の歴史や文化財資料の展示などを行う。</p>	
○報酬	2,984千円
・施設保守員報酬	
○職員手当等	583千円
○共済費	10〃
○旅費	99〃
○需用費	1,080〃
・光熱水費	870千円
・修繕料	100〃
・その他	110〃
○委託料	1,107千円
・設備保守点検等委託料	
・草刈委託料	
・植栽管理委託料	
・その他	
○その他	244千円
<b>【施設概要】</b>	
滑河文化財保存展示施設（1階）	: 展示室・多目的室(受付, 事務室), 文化財収蔵庫
（2階）	: 文化財収蔵庫
旧高岡小学校校舎（1・2階）	: 文化財収蔵庫 ※整備工事は、令和5年度以後に実施予定
特定財源の内訳	
○使用料	○滑河文化財保存展示施設使用料 4千円



事業名		35-01 国際文化会館施設整備事業			  	
部課名		シティプロモーション部 文化国際課	予算書ページ	384		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）	
款	10	教育費	基本目標	02	学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり	
項	05	社会教育費	基本施策	02	成田の地域文化や伝統を学ぶ	
目	06	文化振興費	施策の方向	01	文化芸術活動を実践しやすい環境づくりに努めます。	
新規・継続の別		一部新規	補助・単独の別	単独	事務事業評価	拡大
根拠法令要綱等		成田国際文化会館の設置及び管理に関する条例				
H29決算額		66,513千円	H30決算額		6,923千円	R1決算額 8,267千円
R2決算額		31,753千円	R3当初予算額		15,457千円	R4計画額 423,067千円



R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	481,764千円			369,800		111,964

事業の概要等	
<p>国際文化会館は供用開始から46年が経過し、施設の老朽化の進行と、構造上の問題によるバリアフリー対応への困難性が認められることから、将来的な再整備を検討する一方、緊急性が高い設備等の改修工事を実施することにより、施設の機能維持を図る。</p> <p>令和4年度は、利用者へ快適で安全な施設環境を提供するため、空調設備や大ホールの特定天井等の改修工事を実施するとともに、将来的な再整備に向けた基礎調査を実施する。</p> <p>令和4年度～令和5年度継続事業（総事業費 751,519千円）</p>	
○旅費	41千円
○委託料	24,788千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備等改修工事監理委託料</li> <li>・再整備基礎調査委託料（継続費外）</li> </ul>	
○工事請負費	456,935千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備等改修工事</li> </ul>	
※工期と休館施設	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 令和4年7月から令和5年5月末まで</li> <li>・休館施設 大ホール。その他の会議室等は、条件付きで貸出し可能な期間あり</li> </ul>	
【施設概要】	
建築時期：昭和50年3月	
構造：鉄筋コンクリート造（一部屋根部分鉄骨併用）	
面積：33,443㎡（敷地面積），7,060㎡（延床面積）	
特定財源の内訳	
○市債	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際文化会館施設整備事業債 369,800千円</li> </ul>

事業名		40-01 文化芸術センター管理運営事業			 	
部課名		シティプロモーション部 文化国際課	予算書ページ	384		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）	
款	10	教育費	基本目標	02	学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり	
項	05	社会教育費	基本施策	02	成田の地域文化や伝統を学ぶ	
目	06	文化振興費	施策の方向	01	文化芸術活動を実践しやすい環境づくりに努めます。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等		成田市文化芸術センターの設置及び管理に関する条例				
H29決算額		128,083千円	H30決算額	124,259千円	R1決算額	116,386千円
R2決算額		92,262千円	R3当初予算額	118,478千円	R4計画額	127,933千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
	120,741千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
					16,107	104,634

事業の概要等	
<p>文化芸術の拠点施設である「文化芸術センター」の管理を行うとともに、優れた芸術や地域の特色を生かした伝統文化等に親しむ機会を幅広く提供し、魅力ある鑑賞事業を展開することで、本市の文化芸術の振興を図る。</p>	
○委託料	62,325千円
・ 興行実施委託料	
・ 受付・舞台機器操作委託料	
・ その他	
○負担金補助及び交付金	40,719千円
・ 全国公立文化施設協会負担金	28千円
・ 千葉県公立文化施設協議会負担金	6
・ 共益費等負担金	40,685
○その他	17,697千円
【施設概要】	
3階 ホール	301席
4階 ギャラリー	219.4㎡
音楽室	72.0
会議室	39.0
事務室	
5階 ギャラリー	116.9㎡, 219.4㎡
特定財源の内訳	
○使用料	・ 文化芸術センター使用料 7,497千円
○雑入	・ 文化芸術センター入場料 8,050
	・ 日本非核宣言自治体協議会助成金 50
	・ 施設命名権料 500
	・ コピー料 10

事業名		25-01 各種競技大会誘致事業			 	
部課名		シティプロモーション部 スポーツ振興課	予算書ページ	386		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	04	空港の機能を最大限に生かし、魅力的な活気あふれる都市をつくる（空港・都市基盤）	
款	10	教育費	基本目標	01	空港を生かした活気あふれるまちづくり	
項	06	保健体育費	基本施策	02	空港を活用し新たな成田の魅力を発信する	
目	01	保健体育総務費	施策の方向	01	スポーツツーリズムを推進します。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等		成田市スポーツ大会誘致事業負担金交付要綱				
H29決算額		2,612 千円	H30決算額	13,811 千円	R1決算額	11,339 千円
R2決算額		4 千円	R3当初予算額	17,600 千円	R4計画額	6,450 千円




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	8,015 千円					8,015

事業の概要等	
<p>観るスポーツを推奨する観点から、トップレベルの各種競技大会などを誘致し、スポーツに対する意識の高揚を図る。</p> <p>令和4年度は、「宝くじスポーツフェア ドリームベースボール」を開催し、プロ野球界を代表する往年の名選手で構成されるドリームチームと本市選抜チームとの親善試合や少年少女野球教室などを行うほか、初めて誘致する全日本女子硬式クラブ野球選手権大会の開催に際し、市内店舗で利用できる地域クーポン券を発行し、大会関係者等の市内回遊の促進と消費の活性化を図る。</p> <p>また、障がい者立位テニス世界大会の運営を支援するなど、スポーツを通じた共生社会を実現するための取組を推進する。</p>	
○印刷製本費	150 千円
○委託料	3,915 〃
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東高等学校柔道大会会場設営委託料</li> <li>・ 宝くじスポーツフェア運営委託料</li> </ul>	
○負担金補助及び交付金	3,950 千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バスケットボール日本リーグ成田大会負担金</li> <li>・ 千葉県小学生相撲選手権大会負担金</li> <li>・ プロ野球イースタンリーグ負担金</li> <li>・ ラグビーフェスティバル負担金</li> <li>・ 障がい者立位テニス世界大会負担金</li> <li>・ 全日本女子硬式クラブ野球選手権大会負担金</li> <li>・ 関東還暦軟式野球大会負担金</li> </ul>	550 千円 100 〃 1,500 〃 1,000 〃 300 〃 300 〃 200 〃
特定財源の内訳	

事業名		20-05 運動公園等整備事業		  	
部課名		都市部 公園緑地課	予算書ページ	394	
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）
款	10	教育費	基本目標	02	学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり
項	06	保健体育費	基本施策	03	スポーツに親しめる環境をつくる
目	02	施設管理費	施策の方向	03	スポーツ施設の充実を図ります。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等	成田市都市公園条例				
H29決算額	372,393 千円		H30決算額	330,767 千円	
R2決算額	1,055,554 千円		R3当初予算額	74,484 千円	
			R1決算額	1,208,997 千円	
			R4計画額	145,853 千円	




R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	137,412 千円			103,000		34,412

事業の概要等	
<p>スポーツ施設の充実を図るため、運動公園その他の運動施設の整備を行う。</p> <p>令和4年度は、令和5年5月に期限を迎える中台運動公園陸上競技場の第3種の公認更新のため、現行の規格に適合する走路幅への変更など必要となる改修工事を実施する。</p> <p>○工事請負費 137,412 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中台運動公園陸上競技場改修工事</li> </ul> <p><b>【改修工事概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>走路幅の改修（1.25mから1.22mへ）</li> <li>棒高跳び突箱の改修（6箇所）</li> <li>走路ウレタン舗装オーバーレイ（5,055㎡） 他</li> </ul> <p>※なお、中台運動公園陸上競技場の公認更新にあたり、運動公園管理事業において、フィニッシュコーダー等の備品を購入する。</p>	
特定財源の内訳	
○市債	・運動施設整備事業債 103,000 千円

事業名		36-05 東小学校跡地パークゴルフ場・複合施設整備事業			  	
部課名		都市部 公園緑地課		予算書ページ	394	
予算科目			施策の体系			
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）	
款	10	教育費	基本目標	02	学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり	
項	06	保健体育費	基本施策	03	スポーツに親しめる環境をつくる	
目	02	施設管理費	施策の方向	03	スポーツ施設の充実を図ります。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	維持継続
根拠法令要綱等						
H29決算額		0 千円	H30決算額		17,550 千円	R1決算額 0 千円
R2決算額		92,175 千円	R3当初予算額		20,539 千円	R4計画額 822,650 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	405,185 千円			301,700		103,485

事業の概要等	
<p>スポーツツーリズムの推進及び市民の健康増進を図るため、東小学校跡地等を活用し、公益社団法人日本パークゴルフ協会が公認するパークゴルフ場の整備を行う。また、複合施設として、クラブハウスのほか、体育館、会議室、コミュニティスペース及び防災倉庫など、地域の集会施設や運動施設、避難所の機能を有する施設を一体的に整備する。</p> <p>令和4年度は、複合施設建設工事及び雨水貯留槽築造工事に着手する。</p> <p>令和4年度～令和6年度継続事業（総事業費 2,162,230千円）</p>	
○委託料	2,784 千円
・複合施設建設工事監理委託料	
・草刈委託料（継続費外）	
○使用料及び賃借料	1,301 千円
・仮設事務所借上料（継続費外）	
○工事請負費	401,100 千円
・複合施設建設工事	
・雨水貯留槽築造工事	
【施設概要】	
所在地：十余三地先	
敷地面積：約58,000㎡	
主な施設：パークゴルフ場（約32,200㎡）、複合施設（1,456.05㎡）	
特定財源の内訳	
○市債	301,700 千円
・パークゴルフ場・複合施設整備事業債	

事業名		10-01 学校給食事業		  	
部課名		教育部 学校給食センター	予算書ページ	398	
予算科目			施策の体系		
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり
項	06	保健体育費	基本施策	01	成田の未来をつくる教育を推進する
目	04	学校給食費	施策の方向	04	健やかな心と体力の増進を図ります。
新規・継続の別		一部新規	補助・単独の別	単独	事務事業評価 維持継続
根拠法令要綱等 学校給食法、成田市学校給食センターの設置及び管理に関する条例、成田市学校給食センター管理運営規則					
H29決算額		1,221,539千円	H30決算額		1,239,000千円
R2決算額		1,218,942千円	R3当初予算額		1,311,681千円
			R1決算額		1,253,362千円
			R4計画額		1,311,830千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	1,366,900千円				617,449	749,451

事業の概要等

バランスのとれた栄養豊かな食事の提供と、安全衛生を重視した学校給食の運営に関する事業を実施する。

令和4年度からは、多子世帯における子育てに対する経済的負担の軽減を図るため、22歳以下である子を3人以上扶養し、かつ就学させている保護者を対象に、成田市立小中義務教育学校に通う第3子以降の学校給食を無料とする。

○需用費 773,737千円

- ・賄材料費 663,735千円
- ・その他 110,002 〃

○委託料 579,574千円

- ・調理等業務委託料他

○使用料及び賃借料 3,975千円

○その他 9,614 〃

年間給食日数：192日 給食費（月額）：小学校4,780円、中学校5,500円、幼稚園3,340円

【本所及び玉造分所】 食数：小学校2,282食、中学校2,201食  
 主食回数：ごはん145回、パン39回、めん8回




【下総分所】 食数：小学校246食、中学校137食  
 主食回数：ごはん154回、パン21回、めん17回

【大栄分所】 食数：小学校364食、中学校215食、幼稚園75食  
 主食回数：ごはん156回、パン21回、めん15回

【共同調理場（5カ所）】 食数：小学校3,992食、中学校1,034食  
 主食回数：ごはん154～162回、パン20～26回、めん11～15回

特定財源の内訳

○使用料	・行政財産使用料	1千円
○雑入	・学校給食費負担金	617,184 〃
	・再生品売払収入他	264 〃

事業名		15-01 学校給食施設整備事業			  	
部課名		教育部 学校給食センター	予算書ページ	400		
予算科目		施策の体系				
会計	01	一般会計	基本方向	03	地域文化を生かし、未来を担う心豊かな人材を育む（教育・文化）	
款	10	教育費	基本目標	01	心豊かな人を育むまちづくり	
項	06	保健体育費	基本施策	01	成田の未来をつくる教育を推進する	
目	04	学校給食費	施策の方向	02	教育環境の充実を図るための施設整備を推進します。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	拡大
根拠法令要綱等		学校給食施設整備実施計画変更計画				
H29決算額		10,657千円	H30決算額		33,972千円	R1決算額 932,899千円
R2決算額		50,551千円	R3当初予算額		1,116,361千円	R4計画額 70,048千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	70,048千円			44,100		25,948

事業の概要等	
<p>現在の学校給食センターは、本所が建築後47年、玉造分所が建築後42年を経過し、老朽化が進んでいることから、学校給食施設整備計画及び学校給食センター本所・玉造分所再整備基本計画に基づき、本所を愛光園跡地へ移転・再整備するとともに、玉造分所の屋上屋根防水等の改修及び耐震補強工事を実施するため、基本及び実施設計等を実施する。</p>	
○委託料	70,048千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食センター本所及び玉造分所再整備基本・実施設計委託料</li> <li>・学校給食センター本所整備用地測量調査委託料</li> <li>・学校給食センター本所整備用地地質調査委託料</li> </ul>	
【新給食センター本所の施設概要】	
構造：鉄骨造	
延床面積：約2,000㎡	
機能：調理開始時 約2,500食（最大調理能力 約2,400食）	
（給食を供給する学校：成田中，久住中，西中，中台中，吾妻中，玉造中）	
その他：特別調理室（アレルギー対応食）の設置	
特定財源の内訳	
○市債	・学校給食施設整備事業債 44,100千円

# 《国民健康保険特別会計(事業勘定)》


事業名		国民健康保険(事業勘定)に関する経費		  	
部課名	市民生活部 保険年金課 財政部 納税課	予算書ページ	444		
予算科目		施策の体系			
会計	03 国民健康保険特別会計(事業勘定)	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)	
款		基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり	
項		基本施策	05	社会保険制度を安定的に運用する	
目		施策の方向	01	国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の健全で安定した運営を図ります。	
新規・継続の別	継続	補助・単独の別	補助・単独	事務事業評価	—
根拠法令要綱等	国民健康保険法, 成田市国民健康保険条例, 高齢者の医療の確保に関する法律他				
H29決算額	14,702,343 千円	H30決算額	12,913,891 千円	R1決算額	12,829,076 千円
R2決算額	12,612,046 千円	R3当初予算額	12,589,990 千円	R4計画額	12,735,570 千円

R4予算額	事業費	財源内訳(千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	12,802,343 千円	2	8,781,890		1	4,020,450

事業の概要等	
被保険者の疾病, 負傷等に対する医療給付等を行う。	
○総務費	83,653 千円
○保険給付費	8,690,781 千円
・一般被保険者療養給付費	7,474,000 千円
・一般被保険者高額療養費	1,091,900 〃
・その他	124,881 〃
○国民健康保険事業費納付金	3,864,979 千円
○保健事業費	118,660 千円
○その他	44,270 千円


特定財源の内訳	
○国庫補助金	・医療保険給付諸費 1 千円 ・介護保険制度運営推進費 1 〃
○県補助金	・普通交付金 8,641,712 〃 ・保険者努力支援制度分 46,377 〃 ・特別調整交付金分 1,865 〃 ・県繰入金分 67,379 〃 ・特定健康診査等負担金分 24,557 〃
○財産運用収入	・国民健康保険財政調整基金(事業勘定)利子 1 〃



事業名		10-01 一般被保険者療養給付費				
部課名		市民生活部 保険年金課	予算書ページ	447		
予算科目		施策の体系				
会計	03	国民健康保険特別会計（事業勘定）	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）	
款	02	保険給付費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり	
項	01	療養諸費	基本施策	05	社会保険制度を安定的に運用する	
目	01	一般被保険者療養給付費	施策の方向	01	国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の健全で安定した運営を図ります。	
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価	—
根拠法令要綱等	国民健康保険法					
H29決算額	7,549,823	千円	H30決算額	7,437,863	R1決算額	7,474,760
R2決算額	7,345,225	千円	R3当初予算額	7,271,355	R4計画額	7,386,013

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）					
	7,474,000	千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
				7,474,000			


事業の概要等	
<p>一般被保険者の疾病，負傷に対して医療給付を行う。</p> <p>○負担金補助及び交付金 <span style="float: right;">7,474,000 千円</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療報酬 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度見込数</li> <li>世帯数 <span style="margin-left: 20px;">17,793世帯</span></li> <li>被保険者数 <span style="margin-left: 20px;">27,611人</span></li> </ul> </li> </ul>	
特定財源の内訳	
○県補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通交付金 <span style="float: right;">7,474,000 千円</span></li> </ul>

事業名		10-01 保健衛生普及費						
部課名		市民生活部 保険年金課	予算書ページ	457				
予算科目		施策の体系						
会計	03	国民健康保険特別会計（事業勘定）	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）			
款	05	保健事業費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり			
項	02	保健事業費	基本施策	05	社会保険制度を安定的に運用する			
目	01	保健衛生普及費	施策の方向	01	国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の健全で安定した運営を図ります。			
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	補助	事務事業評価	—		
根拠法令要綱等		国民健康保険法，成田市国民健康保険人間ドック受検費助成規則						
H29決算額	42,644 千円		H30決算額	41,215 千円		R1決算額	41,863 千円	
R2決算額	37,375 千円		R3当初予算額	41,201 千円		R4計画額	41,321 千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	48,199 千円		2,660			45,539

事業の概要等	
<p>国民健康保険加入者の疾病の予防，早期発見及び早期治療に役立て，健康の保持増進を図るため，人間ドック受検費用の一部を助成する。</p> <p>医療費適正化の取組として，ジェネリック医薬品の普及促進を図るための差額通知の送付や，糖尿病が重症化するリスクの高い被保険者に向けた，合併症の発生や人工透析への移行を防止するための保健指導を実施する。</p> <p>また，柔道整復施術療養費について，申請書の内容点検及び受診照会等を行い，療養費請求の適正化を図る。</p>	
○報償費	120 千円
・講師謝礼	
○需用費	32 千円
・消耗品費	
○役務費	3,784 千円
・通信運搬費	
○委託料	3,053 千円
・ジェネリック医薬品差額通知作成等委託料	
・柔道整復施術療養費支給申請書内容点検等委託料	
・生活習慣病等保健指導委託料	
○負担金補助及び交付金	41,210 千円
・人間ドック助成金	
助成額：人間ドック 検査費用の7割（上限35,000円）	
脳ドック 20,000円	
特定財源の内訳	
○県補助金	1,344 千円
・保険者努力支援制度分	
・特別調整交付金分	1,316 〃


# 《国民健康保険特別会計(施設勘定)》

事業名		国民健康保険(施設勘定)に関する経費				
部課名		市民生活部 保険年金課 企画政策部 人事課	予算書ページ	475		
予算科目		施策の体系				
会計	04	国民健康保険特別会計(施設勘定)	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる(保健・医療・福祉)	
款			基本目標	03	健康で笑顔あふれるまちづくり	
項			基本施策	02	地域医療体制の充実を図る	
目			施策の方向	01	地域医療サービスと救急医療体制の充実を図ります。	
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	—
根拠法令要綱等	成田市国民健康保険直営診療所の設置及び管理に関する条例					
H29決算額	148,049千円	H30決算額	100,580千円	R1決算額	106,363千円	
R2決算額	114,750千円	R3当初予算額	113,634千円	R4計画額	112,680千円	

R4予算額	事業費	財源内訳(千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	107,269千円				513	106,756




事業の概要等	
<p>国保大栄診療所において、国民健康保険等の被保険者に対し診療を行う。</p> <p>診療件数見込 8,043件</p>	
○総務費	62,899千円
・職員人件費	37,036千円
・一般管理に関する経費	25,812 〃
・研究研修費他	51 〃
○医業費	42,370千円
・医療器具費	2,164千円
・医療用消耗器材費	576 〃
・薬品衛生材料費	38,078 〃
・検査委託費	1,552 〃
○予備費	2,000千円
特定財源の内訳	
○使用料	・行政財産使用料 131千円
○手数料	・文書料 240 〃
○財産運用収入	・国民健康保険財政調整基金(施設勘定)利子 1 〃
○雑入	・看護職賠償責任保険料実費収入 7 〃
	・消耗品等実費収入 60 〃
	・光熱水費等実費収入 60 〃
	・本人負担雇用保険料 14 〃

# 《公設地方卸売市場特別会計》

事業名		公設地方卸売市場事業に関する経費		  	
部課名		経済部 卸売市場 企画政策部 人事課	予算書ページ	496	
予算科目		施策の体系			
会計	06	公設地方卸売市場特別会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）
款			基本目標	03	商工業が活力をもたらすまちづくり
項			基本施策	01	商工業の活性化を図る
目			施策の方向	05	卸売市場の機能強化を図ります。
新規・継続の別		一部新規	補助・単独の別	単独	事務事業評価
					—
根拠法令要綱等	成田市公設地方卸売市場の設置及び業務に関する条例				
H29決算額	791,486千円	H30決算額	502,499千円	R1決算額	2,166,551千円
R2決算額	5,674,188千円	R3当初予算額	724,988千円	R4計画額	1,497,824千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	913,764千円			229,700	167,598	516,466

事業の概要等	
<p>市民への生鮮食料品等の安定供給といった従来の市場機能に加え、衛生管理の整った加工施設や農水産物の効率的な輸出を可能とするワンストップ輸出拠点機能を備えた新生成田市場の運営を行うとともに、市場を活用した農水産物の輸出拡大を図るため、輸出向け展示商談会への出展やP R動画の制作等を行う。</p>	
○職員人件費	99,777千円
○一般管理に関する経費	442,720 〃
○市場管理運営に関する経費	31,772 〃
○施設整備事業	256,140 〃
○輸出促進事業	6,216 〃
・委託料	2,009千円
輸出向け展示商談会出展業務支援委託料	
卸売市場P R動画制作委託料	
・使用料及び賃借料	2,126千円
輸出向け展示商談会出展料	
その他	
・その他	2,081千円
○市債償還元金	12,994千円
○市債償還利子	54,145 〃
○予備費	10,000 〃
特定財源の内訳	
○使用料	・行政財産使用料 351千円
○財産運用収入	・公設地方卸売市場財政調整基金利子 2 〃
○雑入	・シャトルバス乗車料金 4,745 〃
	・光熱水費等実費収入 162,500 〃
○市債	・卸売市場施設整備事業債 229,700 〃

事業名		05-01 一般管理に関する経費			  	
部課名		経済部 卸売市場		予算書ページ	496	
予算科目			施策の体系			
会計	06	公設地方卸売市場特別会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）	
款	01	市場費	基本目標	03	商工業が活力をもたらすまちづくり	
項	01	市場費	基本施策	01	商工業の活性化を図る	
目	01	市場費	施策の方向	05	卸売市場の機能強化を図ります。	
新規・継続の別	一部新規		補助・単独の別	単独	事務事業評価	—
根拠法令要綱等	成田市公設地方卸売市場の設置及び業務に関する条例					
H29決算額	107,951 千円		H30決算額	116,785 千円		R1決算額 108,381 千円
R2決算額	202,664 千円		R3当初予算額	335,750 千円		R4計画額 951,422 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	442,720 千円				167,598	275,122

事業の概要等	
<p>設備の保守点検等を実施し、適正な施設の維持管理に努めるとともに、市場に通う従業員や観光客等の市場への交通手段を確保するため、新生成田市場と成田空港を結ぶシャトルバスの運行を行う。</p>	
○需用費	252,893 千円
・光熱水費	250,000 千円
・その他	2,893 〃
○委託料	170,684 千円
・清掃委託料	
・設備保守点検等委託料	
・守衛業務委託料	
・シャトルバス運行委託料	
・樹木剪定委託料	
・その他	
○使用料及び賃借料	17,970 千円
・清掃用具借上料	
・自動体外式除細動器借上料	
・その他	
○その他	1,173 千円
特定財源の内訳	
○使用料	・行政財産使用料 351 千円
○財産運用収入	・公設地方卸売市場財政調整基金利子 2 〃
○雑入	・シャトルバス乗車料金 4,745 〃
	・光熱水費等実費収入 162,500 〃

事業名		10-01 施設整備事業			  		
部課名		経済部 卸売市場		予算書ページ	498		
予算科目			施策の体系				
会計	06	公設地方卸売市場特別会計	基本方向	05	活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）		
款	01	市場費	基本目標	03	商工業が活力をもたらすまちづくり		
項	01	市場費	基本施策	01	商工業の活性化を図る		
目	01	市場費	施策の方向	05	卸売市場の機能強化を図ります。		
新規・継続の別	一部新規		補助・単独の別	単独	事務事業評価	—	
根拠法令要綱等							
H29決算額	565,076千円		H30決算額	251,326千円		R1決算額	1,914,102千円
R2決算額	5,324,508千円		R3当初予算額	162,736千円		R4計画額	316,084千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	256,140千円			229,700		26,440




事業の概要等	
<p>旧市場における青果棟・管理事務所等の解体工事実施設計及び水産棟・水産物仲卸協同組合事務所棟等の解体工事を行う。</p> <p>また、関連食品棟の整備にかかる外構工事を行うとともに、関連食品棟の借上げを行う。</p> <p>卸売市場整備事業に係る継続費 平成29年度～令和4年度（総事業費 13,770,674千円）</p> <p>卸売市場既存施設解体事業に係る継続費 令和3年度～令和4年度（総事業費 205,364千円）</p>	
○委託料	18,692千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>旧青果棟等解体工事実施設計委託料</li> <li>旧水産棟等解体工事監理委託料（卸売市場既存施設解体事業に係る継続費）</li> <li>旧卸売市場土壌分析委託料</li> </ul>	
○使用料及び賃借料	23,430千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>関連食品棟借上料</li> </ul>	
○工事請負費	214,018千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>卸売市場整備工事（卸売市場整備事業に係る継続費）</li> <li>旧水産棟等解体工事（卸売市場既存施設解体事業に係る継続費）</li> </ul>	
特定財源の内訳	
○市債	229,700千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>卸売市場施設整備事業債</li> </ul>	

# 《介護保険特別会計》

事業名		介護保険に関する経費		  	
部課名	福祉部 高齢者福祉課, 福祉部 介護保険課 健康こども部 健康増進課	予算書ページ	522		
予算科目		施策の体系			
会計	08 介護保険特別会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ, 共に支え合う社会をつくる (保健・医療・福祉)	
款		基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり	
項		基本施策	02	高齢者が安心して生活できる体制を整える	
目		施策の方向	02	高齢者の多様な生活支援ニーズに対応したサービスを提供します。	
新規・継続の別	継続	補助・単独の別	補助・単独	事務事業評価	—
根拠法令要綱等	介護保険法				
H29決算額	6,489,487 千円	H30決算額	6,899,177 千円	R1決算額	7,254,729 千円
R2決算額	7,232,582 千円	R3当初予算額	7,599,354 千円	R4計画額	7,924,113 千円

R4予算額	事業費	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	7,904,330 千円	1,541,695	1,151,706		3,204,984	2,005,945

事業の概要等	
<p>介護保険被保険者証の発行, 保険料の賦課・徴収, 保険給付費の支払い, 要介護認定等, 介護保険全般に関する事務を行う。</p>	
○保険給付費	7,351,791 千円
○地域支援事業費	421,417 千円
○その他	131,122 千円
特定財源の内訳	
○国庫負担金	・介護給付費負担金 1,303,517 千円
○国庫補助金	・調整交付金 86,505 〃
	・包括的支援事業・任意事業交付金他 151,673 〃
○支払基金交付金	・介護給付費交付金 1,984,983 〃
	・地域支援事業支援交付金 60,877 〃
○県負担金	・介護給付費負担金 1,085,814 〃
○県補助金	・包括的支援事業・任意事業交付金 28,472 〃
	・地域支援事業交付金 (介護予防・日常生活支援総合事業) 他 37,420 千円
○財産運用収入	・介護保険財政調整基金利子 14 〃
○一般会計繰入金	・介護給付費繰入金 918,974 〃
	・包括的支援事業・任意事業繰入金 28,472 〃
	・地域支援事業繰入金 (介護予防・日常生活支援総合事業) 他 37,420 千円
○基金繰入金	・介護保険財政調整基金繰入金 174,165 〃
○雑入	・本人負担雇用保険料 79 〃

事業名		10-01 介護サービス給付費		  	
部課名		福祉部 介護保険課	予算書ページ	526	
予算科目		施策の体系			
会計	08	介護保険特別会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）
款	02	保険給付費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり
項	01	介護サービス等諸費	基本施策	02	高齢者が安心して生活できる体制を整える
目	01	介護サービス給付費	施策の方向	02	高齢者の多様な生活支援ニーズに対応したサービスを提供します。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価
根拠法令要綱等	介護保険法				
H29決算額	5,516,647千円	H30決算額	5,716,746千円	R1決算額	6,053,752千円
R2決算額	6,180,807千円	R3当初予算額	6,475,987千円	R4計画額	6,814,997千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	6,803,997千円	1,284,976	1,004,501		2,861,744	1,652,776

事業の概要等	
<p>要介護認定を受けた高齢者等の居宅介護サービス及び施設介護サービスの利用に対して、支給限度額の範囲内で介護サービス費の7割から9割の給付を行う。</p> <p>介護サービス給付費給付見込件数 102,357件</p>	
○負担金補助及び交付金	6,803,997千円
・居宅介護サービス給付費	2,542,709千円
・施設介護サービス給付費	2,773,488 〃
・居宅介護福祉用具購入給付費	11,577 〃
・居宅介護住宅改修給付費	12,342 〃
・居宅介護サービス計画給付費	352,529 〃
・地域密着型介護サービス給付費	1,111,352 〃
特定財源の内訳	
○国庫負担金	・介護給付費負担金 1,206,797千円
○国庫補助金	・介護保険調整交付金 78,179 〃
○支払基金交付金	・介護給付費交付金 1,837,080 〃
○県負担金	・介護給付費負担金 1,004,501 〃
○一般会計繰入金	・介護給付費繰入金 850,499 〃
○基金繰入金	・介護保険財政調整基金繰入金 174,165 〃






事業名		10-01 介護予防サービス給付費			
部課名		福祉部 介護保険課	予算書ページ	526	
予算科目			施策の体系		
会計	08	介護保険特別会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）
款	02	保険給付費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり
項	02	介護予防サービス等諸費	基本施策	02	高齢者が安心して生活できる体制を整える
目	01	介護予防サービス給付費	施策の方向	02	高齢者の多様な生活支援ニーズに対応したサービスを提供します。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価
根拠法令要綱等	介護保険法				
H29決算額	66,438 千円	H30決算額	74,373 千円	R1決算額	84,869 千円
R2決算額	86,503 千円	R3当初予算額	96,015 千円	R4計画額	103,373 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	103,373 千円	20,632	14,152		40,832	27,757

事業の概要等	
<p>要支援認定を受けた高齢者等の介護予防サービスの利用に対して、支給限度額の範囲内で介護予防サービス費の7割から9割の給付を行う。</p> <p>介護予防サービス給付費給付見込件数 8,559件</p>	
○負担金補助及び交付金	103,373 千円
・介護予防サービス給付費	61,275 千円
・介護予防福祉用具購入給付費	1,480 〃
・介護予防住宅改修給付費	3,073 〃
・介護予防サービス計画給付費	16,319 〃
・地域密着型介護予防サービス給付費	21,226 〃

特定財源の内訳		
○国庫負担金	・介護給付費負担金	19,444 千円
○国庫補助金	・介護保険調整交付金	1,188 〃
○支払基金交付金	・介護給付費交付金	27,910 〃
○県負担金	・介護給付費負担金	14,152 〃
○一般会計繰入金	・介護給付費繰入金	12,922 〃

事業名		05-01 包括的支援に関する経費		  	
部課名		福祉部 介護保険課	予算書ページ	530	
予算科目			施策の体系		
会計	08	介護保険特別会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）
款	03	地域支援事業費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり
項	01	包括的支援事業費・任意事業費	基本施策	02	高齢者が安心して生活できる体制を整える
目	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	施策の方向	01	地域に住む高齢者が気軽に相談できる環境を整えます。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価
根拠法令要綱等	介護保険法				
H29決算額	100,287千円	H30決算額	110,556千円	R1決算額	123,580千円
R2決算額	129,770千円	R3当初予算額	134,018千円	R4計画額	134,018千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	136,953千円	52,730	26,364		26,364	31,495

### 事業の概要等

介護や福祉全般に関する総合相談に応じ、各種サービスが受けられるよう関係機関等との連絡調整を担う機関として、市内に5カ所の地域包括支援センター及び2カ所の支所を設置・運営する。

- 報償費 155千円
  - ・地域包括支援センター等運営協議会委員謝礼
- 委託料 134,597千円
  - ・地域包括支援センター運営委託料
  - ・機械警備委託料（西部北地域包括支援センター）
- その他 2,201千円

【概要】 ※高齢者人口は令和3年3月末現在の65歳以上人口

名称	担当地区	高齢者人口
西部北地域包括支援センター	ニュータウン(はなのき台を含む)	8,792人
西部北地域包括支援センター 押畑支所	豊住, 八生	1,946人
西部南地域包括支援センター	成田, 中郷	4,742人
西部西地域包括支援センター	公津(はなのき台を除く)	5,051人
南部地域包括支援センター	遠山	3,497人
東部地域包括支援センター	久住, 下総	3,534人
東部地域包括支援センター 大栄支所	大栄	3,595人
合計		31,157人

### 特定財源の内訳

- 国庫補助金 52,730千円
  - ・包括的支援事業・任意事業交付金
- 県補助金 26,364人
  - ・
- 一般会計繰入金 26,364人
  - ・包括的支援事業・任意事業繰入金

事業名		10-01 介護予防普及啓発事業			
部課名		福祉部 介護保険課	予算書ページ	535	
予算科目			施策の体系		
会計	08	介護保険特別会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）
款	03	地域支援事業費	基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり
項	03	一般介護予防事業費	基本施策	02	高齢者が安心して生活できる体制を整える
目	01	一般介護予防事業費	施策の方向	02	高齢者の多様な生活支援ニーズに対応したサービスを提供します。
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	補助	事務事業評価
根拠法令要綱等	介護保険法				
H29決算額	5,930 千円	H30決算額	5,129 千円	R1決算額	5,216 千円
R2決算額	5,380 千円	R3当初予算額	5,465 千円	R4計画額	5,478 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	5,465 千円	1,145	684		2,159	1,477

### 事業の概要等

高齢者の健康寿命を延ばし、生活の質を高めるため、認知症、フレイル（虚弱）、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を予防する総合的なプログラムを取り入れた新たな介護予防教室を開催するとともに、効果検証を行い、介護予防の取組を一層充実させる。

また、精神科医師によるもの忘れ相談を実施し、認知症の早期発見と早期治療及び適切な支援につなげる。

○報償費 300 千円  
 ・ 医師謝礼

○委託料 5,165 千円  
 ・ 介護予防教室運営委託料

#### 【新たな介護予防教室の概要】

認知症専門医の監修により、タブレット端末などを用いた脳トレのほか、美術などの創作活動、認知機能の向上のための筋力トレーニングやエクササイズなどを取り入れたプログラムを主な内容とする新たな介護予防教室「人生カッコよくプロジェクト」を開催する。

### 特定財源の内訳

○ 国庫補助金	・ 総合事業調整交付金	52 千円
	・ 地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）	1,093 〃
○ 支払基金交付金	・ 地域支援事業支援交付金	1,475 〃
○ 県補助金	・ 地域支援事業交付金（介護予防・日常生活支援総合事業）	684 〃
○ 一般会計繰入金	・ 地域支援事業繰入金（介護予防・日常生活支援総合事業）	684 〃

# 《農業集落排水事業特別会計》

事業名		農業集落排水事業に関する経費		  	
部課名		経済部 農政課 企画政策部 人事課	予算書ページ	551	
予算科目		施策の体系			
会計	09	農業集落排水事業特別会計	基本方向	01	安全・安心でうるおいのある生活環境をつくる（住環境）
款			基本目標	03	快適でうるおいのあるまちづくり
項			基本施策	02	水の安定供給と汚水処理の適正化を図る
目			施策の方向	02	下水道整備などの汚水処理対策を推進します。
新規・継続の別		継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価
					—
根拠法令要綱等	成田市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例，浄化槽法				
H29決算額	169,165 千円	H30決算額	174,699 千円	R1決算額	197,546 千円
R2決算額	182,415 千円	R3当初予算額	217,889 千円	R4計画額	216,439 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源
	208,683 千円			13,200	195,483

## 事業の概要等

名古屋，成井・地蔵原新田，横山・馬乗里，奈土・津富浦，堀籠，新田の6地区において，農業用水の水質改善と生活改善を図るため，農業集落排水事業の健全な運営を行うとともに，汚水処理場，マンホールポンプ場及び管路施設等の適正な運転と維持管理を行う。




○事業費		98,152 千円
・職員人件費	18,214 千円	
・一般管理に関する経費	1,031 千円	
・維持管理費	78,907 千円	
○公債費		105,531 千円
・元金	88,806 千円	
・利子	16,725 千円	
○予備費		5,000 千円

### 【農業集落排水処理施設】

施設名称	マンホールポンプ場数	処理場数
1 名古屋地区	26カ所	1カ所
2 成井・地蔵原新田地区	8カ所	1カ所
3 横山・馬乗里地区	12カ所	1カ所
4 奈土・津富浦地区	18カ所	1カ所
5 堀籠地区	4カ所	
6 新田地区	10カ所	1カ所
合計	78カ所	5カ所

## 特定財源の内訳

○市債	・地方公営企業会計移行業務債	13,200 千円
-----	----------------	-----------

事業名		05-10 維持管理費			  		
部課名		経済部 農政課		予算書ページ	552		
予算科目			施策の体系				
会計	09	農業集落排水事業特別会計	基本方向	01	安全・安心でうおいのある生活環境をつくる（住環境）		
款	01	事業費	基本目標	03	快適でうおいのあるまちづくり		
項	01	農業集落排水事業費	基本施策	02	水の安定供給と汚水処理の適正化を図る		
目	01	一般管理費	施策の方向	02	下水道整備などの汚水処理対策を推進します。		
新規・継続の別	継続		補助・単独の別	単独	事務事業評価	—	
根拠法令要綱等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律他						
H29決算額	45,983 千円		H30決算額	46,937 千円		R1決算額	72,242 千円
R2決算額	59,045 千円		R3当初予算額	88,910 千円		R4計画額	87,494 千円

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	78,907 千円			13,200		65,707

事業の概要等	
<p>農業集落排水処理施設の適正な運転と維持管理を行う。</p> <p>令和4年度は、令和元年度に行った施設の機能診断調査結果に基づき、横山・馬乗里地区の排水処理施設の機能強化事業計画の策定を行う。</p>	
○需用費	29,230 千円
・消耗品費	367 千円
・光熱水費	11,912 〃
・修繕料	16,951 〃
○委託料	46,824 千円
・清掃委託料	
・設備保守点検等委託料	
・口座振替業務委託料	
・処理施設除草等管理委託料	
・遠方監視システム管理等委託料	
・機能強化事業計画策定等委託料	
○その他	2,853 千円
特定財源の内訳	
○市債	・地方公営企業会計移行業務債 13,200 千円

# 《後期高齢者医療特別会計》

事業名		後期高齢者医療に関する経費			  	
部課名		市民生活部 保険年金課	予算書ページ	569		
予算科目		施策の体系				
会計	12 後期高齢者医療特別会計	基本方向	02	健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）		
款		基本目標	02	やさしさと思いやりに満ちた支え合いのまちづくり		
項		基本施策	05	社会保険制度を安定的に運用する		
目		施策の方向	01	国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の健全で安定した運営を図ります。		
新規・継続の別	継続	補助・単独の別	単独	事務事業評価	—	
根拠法令要綱等	高齢者の医療の確保に関する法律、千葉県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例他					
H29決算額	973,875 千円	H30決算額	1,076,781 千円	R1決算額	1,141,054 千円	
R2決算額	1,278,660 千円	R3当初予算額	1,305,188 千円	R4計画額	1,429,933 千円	

R4予算額	事業費	財源内訳（千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他財源	一般財源
	1,396,496 千円				2,556	1,393,940

事業の概要等	
後期高齢者医療の円滑な運営を図る。	
令和4年度被保険者数見込 14,725人	
○総務費	21,123 千円
・一般管理費	2,409 千円
・徴収費	18,714 〃
○後期高齢者医療広域連合納付金	1,372,373 千円
○諸支出費	2,000 千円
・保険料還付金	
○予備費	1,000 千円
特定財源の内訳	
○雑入	・後期高齢者医療広域連合賦課徴収票作成等受託収入 2,556 千円











# 5 空港周辺対策事業一覧

(単位：千円)

区分	事業名	事業費	特定財源	一般財源		
				空港周辺対策交付金	航空機燃料譲与税	その他一般財源
民家防音関係	航空機騒音地域補助金	175,351		159,271		16,080
	防音施設維持管理費補助事業	28,651		28,651		
	空気調和機器更新工事補助事業	31,616		31,616		
	住宅改築併行防音工事補助事業	7,799		7,799		
	都市計画決定日後住宅空気調和機器設置工事補助事業	604		604		
	民家防音家屋等維持管理費補助金	720,034		496,823		223,211
	放送受信料減免負担金交付事業	1,823		1,823		
	民家防音工事資金利子補給事業	3	1	2		
	告示日後住宅空気調和機器設置工事等補助事業	12,137		12,137		
	カーフェリーの弾力的運用の特例分配金に係る配分金	990	990			
	A滑走路における夜間飛行制限の変更に伴う配分金	2,400		2,400		
小計	981,408	991	741,126		239,291	
公施設関係	共同利用施設等維持管理事業	91,863	16	91,847		
	共同利用施設整備事業	4,814		4,814		
	防音校舎等維持管理費	86,421		86,421		
	防音校舎整備	84,339	59,585		24,754	
	大栄幼稚園管理運営事業	148,261	130,208	18,053		
	公民館施設維持管理事業	7,898		7,898		
	小計	423,596	189,809	209,033	24,754	
農道関係	市単農道舗装及び排水路整備	104,145		32,371	71,774	
	土地改良区負担金及び補助金	49,990		49,990		
	小計	154,135		82,361	71,774	
道路関係	市道整備	566,413	440,150	54,489	71,774	
	側溝・排水整備	38,000		38,000		
	小計	604,413	440,150	92,489	71,774	
消防関係	騒音地域消防施設整備	170,030	143,789	16,909	9,332	
	騒音地域消防施設維持管理費	18,391				18,391
	小計	188,421	143,789	16,909	9,332	18,391
公債費	公債費	863,879	1,735			862,144
その他	成田空港騒音対策地域連絡協議会補助金	4,600				4,600
	芝山鉄道補助事業	60,000		45,000		15,000
	成田空港周辺環境整備推進事業	2,643				2,643
	集会施設電気・電話料金等補助事業	2,880		2,880		
	騒音地域集会所補助事業	2,757		2,757		
	地上デジタル共聴施設維持管理費補助事業	4,786		4,786		
	航空機騒音測定システム事業	21,643	149	21,494		
	共生プラザ維持管理事業	9,921		9,921		
	騒音地域ケーブルテレビ普及促進補助事業	3,000	3,000			
	成田空港周辺地域共生財団支援事業	32,093	32,093			
	新清掃工場関連付帯施設整備事業	32,285		30,778		1,507
	補助金の騒音地域特例	34,617		34,617		
	準用河川整備事業	97,550	73,150	24,400		
	東小学校跡地パークゴルフ場・複合施設整備事業	405,185	301,700	51,449		52,036
	小計	713,960	410,092	228,082		75,786
合計	3,929,812	1,186,566	1,370,000	177,634	1,195,612	

## 6 地方消費税交付金（社会保障財源化分）充前一覧

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位：千円)

科 目	事業費	財 源 内 訳						
		特 定 財 源				一 般 財 源		
		国 庫 支出金	県支出金	地方債	その他 財 源	地方消費税 交付金 充当分	その他	
社会福祉	社会福祉総務費	233,062	102,720	2,716		22	26,019	101,585
	障害者福祉費	3,458,904	1,319,876	772,677		2,212	278,156	1,085,983
	老人福祉費	435,181		5,137		105,614	66,153	258,277
	保健福祉館管理費	69,554				1,058	13,967	54,529
	社会福祉施設費	57,827	4,011	2,005		8,307	8,871	34,633
	児童福祉総務費	1,427,671	433,803	312,291		578	138,860	542,139
	児童措置費	4,131,585	2,359,190	776,183		128,608	176,910	690,694
	母子・父子福祉費	605,862	184,032	33,541			79,174	309,115
	保育所費	917,478	61,158	116,155		138,231	122,738	479,196
	児童福祉施設費	31,127		1,018		20,812	1,896	7,401
	生活保護総務費	24,270	8,599				3,195	12,476
	生活保護扶助費	2,330,616	1,747,961	120,638			94,208	367,809
	幼稚園費	41,682	606			1,068	8,158	31,850
小 計	13,764,819	6,221,956	2,142,361		406,510	1,018,305	3,975,687	
社会保険	国民健康保険	1,446,634	97,848	271,976			219,568	857,242
	介護保険	1,070,353	42,743	21,372			205,178	801,060
	後期高齢者医療	225,875		169,406			11,514	44,955
	小 計	2,742,862	140,591	462,754			436,260	1,703,257
保健衛生	保健衛生総務費	447,823		1,056			91,099	355,668
	予防費	679,185	8,801	3,832		30,312	129,733	506,507
	保健衛生普及費	164,490	7,335	4,078		2,036	30,798	120,243
	急病診療所費	26,261				25,258	205	798
	小 計	1,317,759	16,136	8,966		57,606	251,835	983,216
合 計	17,825,440	6,378,683	2,614,081		464,116	1,706,400	6,662,160	

## 7 目的税（入湯税・都市計画税）充当一覧

### 1. 入湯税

(単位：千円)

区分	事業名	事業費	当該事業の財源内訳					
			支出金		地方債	その他 特定財源	一般財源等	
			国庫	県			入湯税	その他
消防施設 等の整備	消防車両・装備強化整備事業	126,937			95,600		2,426	28,911
	消防団車両・装備強化整備事業	44,922		2,689	25,400		1,303	15,530
	消防団拠点施設整備事業	32,901			23,100		758	9,043
	消防水利整備事業	24,826			13,900	1	845	10,080
	小計	229,586		2,689	158,000	1	5,332	63,564
観光施設 の整備	花の回廊整備事業	5,800					449	5,351
	小計	5,800					449	5,351
観光 振興	観光PR事業	23,269				104	1,792	21,373
	観光協会支援事業	10,800					836	9,964
	小計	34,069				104	2,628	31,337
合	計	269,455		2,689	158,000	105	8,409	100,252

### 2. 都市計画税

(単位：千円)

区分	事業名	事業費	当該事業の財源内訳					
			支出金		地方債	その他 特定財源	一般財源等	
			国庫	県			都市計画税	その他
公設地方 卸売市場	公設地方卸売市場特別会計繰出金（卸売市場施設整備事業償還金分）	42,458					6,654	35,804
	小計	42,458					6,654	35,804
下水道	下水道事業会計出資金	85,960				82,222	586	3,152
	小計	85,960				82,222	586	3,152
地方債 償還金	都市計画債	559,656					87,714	471,942
	いずみ聖地公園整備事業債	28,339					4,442	23,897
	新清掃工場整備事業債	305,785					47,925	257,860
	新高速鉄道整備事業債	424,046					66,460	357,586
	小計	1,317,826					206,541	1,111,285
合	計	1,446,244				82,222	213,781	1,150,241

# 《参考》

## ◎SDGsの推進

SDGs（持続可能な開発目標）は、平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された国際目標であり、「誰一人取り残さない」をスローガンに、貧困、健康と福祉、気候変動など17のゴールを掲げ、令和12（2030）年の目標達成に向けて国際社会全体で取り組んでいるものです。



### ～持続可能な開発目標～

目標 1	貧困をなくそう	目標 10	人や国の不平等をなくそう
目標 2	飢餓をゼロに	目標 11	住み続けられるまちづくりを
目標 3	すべての人に健康と福祉を	目標 12	つくる責任 つかう責任
目標 4	質の高い教育をみんなに	目標 13	気候変動に具体的な対策を
目標 5	ジェンダー平等を実現しよう	目標 14	海の豊かさを守ろう
目標 6	安全な水とトイレを世界中に	目標 15	陸の豊かさも守ろう
目標 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	目標 16	平和と公正をすべての人に
目標 8	働きがいも経済成長も	目標 17	パートナーシップで目標を達成 しよう
目標 9	産業と技術革新の基盤をつく ろう		

令和4年度  
当初予算の概要  
発行成田市  
編集財政課  
〒286-8585  
成田市花崎町760番地 TEL22-1111  
発行日 2022・2  
登録番号 成財21-042